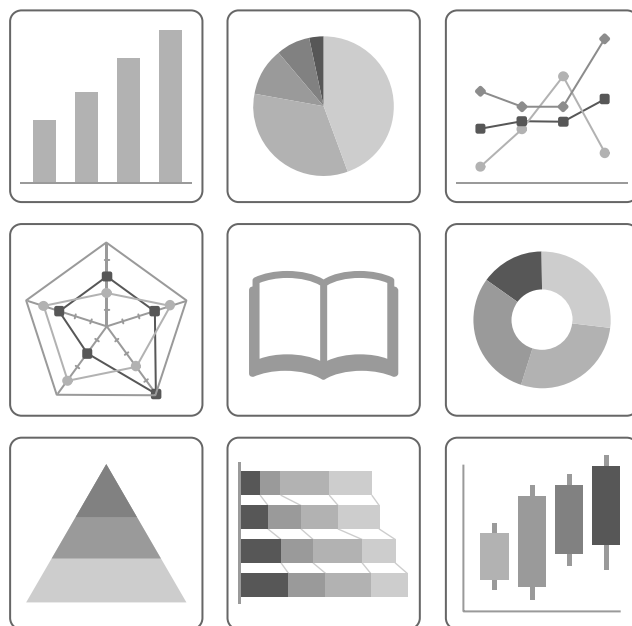


豊橋市  
男女共同参画に関する市民意識調査  
調査結果報告書



令和4年3月

豊橋市



# 目次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b>	<b>1</b>
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
7	標本誤差	2
<b>II</b>	<b>調査結果</b>	<b>4</b>
1	回答者属性	4
A	性別	4
B	年代（年齢）	4
C	職業	5
D	配偶者の有無	9
D-1	共働きについて	9
E	家族構成	10
2	男女の平等感について	11
(1)	社会全体の男女の地位評価（問1）	11
(2)	各場面および分野の男女の地位評価（問2）	14
3	男女の意思決定について	30
(1)	政策などの決定の場への女性の参画状況が低い理由（問3）	30
4	家庭・仕事・地域活動のバランスについて	33
(1)	平日・休日の活動時間（問4）	33
(2)	望ましい家庭・仕事・地域・個人の活動の関係（問5）	37
(3)	現状における家庭・仕事・地域・個人の活動の関係（問6）	41

5	男女の働き方について	46
	(1) 性別役割分担意識 (問 7)	46
	(2) 性別役割分担意識についてそう思う理由 (問 7-1)	50
	(3) 男性が育児や介護で休みをとることについての考え方 (問 8)	54
	(4) 男性の育児や介護での休みについてそう思う理由 (問 8-1)	58
	(5) 女性が仕事をするについて (問 9)	61
	(6) 女性が働き続けるために必要と思うこと (問 10)	64
	(7) 離職した女性が再就職を考えたときに基準にすること (問 11)	67
	(8) 女性が理工系分野の職業を目指すことについて (問 12)	70
	(9) 女性が理工系分野の職業を目指すことについてそう思う理由 (問 12-1)	72
	(10) 豊橋市から大都市圏への流出について (問 13)	75
6	生活について	78
	(1) 新型コロナウイルス感染拡大後の生活について (問 14)	78
7	子どもへの男女共同参画教育について	79
	(1) 子育てについての考え方 (問 15)	95
	(2) 男女平等のための学校教育のあり方 (問 16)	99
8	配偶者等からの暴力について	104
	(1) 配偶者や交際相手から暴力を受けた経験 (問 17)	104
	(2) 暴力行為 (DV) についての相談相手 (問 17-1)	109
	(3) 相談をしなかった理由 (問 17-2)	114
	(4) 男女間における暴力 (DV) を防止するために必要なこと (問 18)	117
	(5) 豊橋市 DV 相談の認知度 (問 19)	122
9	豊橋市男女共同参画センター「パルモ」について	125
	(1) 男女共同参画センター「パルモ」の利用の有無 (問 20)	125
	(2) 充実してほしい内容 (問 20-1)	127
10	男女共同参画社会について	129
	(1) 用語の認知度 (問 21)	129
	(2) 男女共同参画社会実現のために行政に望むこと (問 22)	139



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

「豊橋市男女共同参画行動計画」の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

## 2 調査対象

豊橋市在住の16歳以上を無作為抽出（16～19歳への調査は今回が初）

## 3 調査期間

令和3年8月1日から令和3年8月31日

## 4 調査方法

郵送による配布・回収

## 5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
市民	3000通	839通	27.9%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

## 7 標本誤差

標本誤差については、下記算出式より算出する。

$$\sigma = \kappa \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

$\sigma$  : 標本誤差  
 $N$  : 母集団  
 $n$  : 標本数  
 $p$  : 回答比率  
 $\kappa$  : 信頼率による変数

標本数は、令和3年4月1日現在の市内在住満16歳以上の男女(全体)321,557人、男性160,918人、女性160,639人で算出する。

信頼率による変数 $\kappa$ は、信頼率95%では1.96、信頼率99%では2.58と定義されており、今回の市民意識調査における信頼率を95%とすると、各回答比率別の標本誤差は以下のとおりとなる。

標本数	回答比率 (%)				
	10% or 90%	20% or 80%	30% or 70%	40% or 60%	50%
全体 839	±2.03%	±2.70%	±3.10%	±3.31%	±3.38%
女性 446	±2.78%	±3.71%	±4.25%	±4.54%	±4.63%
男性 390	±2.97%	±3.97%	±4.54%	±4.86%	±4.96%

これは、ある質問において「A」という回答の割合が50%であれば、16歳以上の豊橋市民に同じ質問をしても、統計学的には「A」という回答の割合は、95%の確率で±3.38%の範囲内(3.38%～-3.38%)にあることを示す。

<各比較調査の詳細>

調査主体	調査名	調査時期
国（内閣府）	男女共同参画社会に関する世論調査	令和元年9月
愛知県	男女共同参画意識に関する調査	令和元年8月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	令和3年8月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	令和元年8月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成28年8月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成26年9月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成23年6月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成20年5月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成17年5月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成13年8月

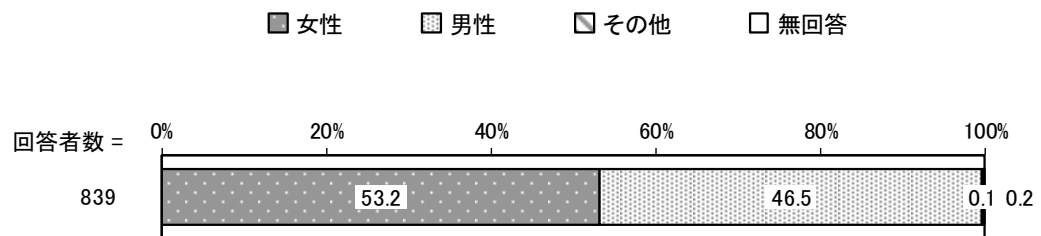
No.	調査項目	国	県	市
問1	社会全体の男女の地位評価	○	○	○
問2	各場面および分野の男女の地位評価	○	○	○
問3	政策などの決定の場への女性の参画状況が低い理由			○
問4	平日・休日の活動時間			○
問5	望ましい家庭・仕事・地域・個人の活動の関係	○	○	○
問6	現状における家庭・仕事・地域・個人の活動の関係	○	○	○
問7	性別役割分担意識	○	○	○
問7-1	性別役割分担意識についてそう思う理由			○
問8	男性が育児や介護で休みをとることについての考え方			○
問8-1	男性の育児や介護での休みについてそう思う理由			○
問9	女性が仕事をするについて			○
問10	女性が働き続けるために必要と思うこと			○
問11	離職した女性が、再就職を考えたときに基準にすること			○
問12	女性が理工系分野の職業を目指すことについて			○
問12-1	女性の理工系分野について思うこと			○
問13	豊橋市から大都市圏への流出について			○
問14	新型コロナウイルス感染拡大後の生活について			○
問15	子育てについての考え方			○
問16	男女平等のための学校教育のあり方			○
問17	配偶者や交際相手から暴力を受けた経験			○
問17-1	暴力行為についての相談相手			○
問17-2	相談をしなかった理由			○
問18	男女間における暴力を防止するために必要なこと			○
問19	豊橋市DV相談窓口の認知度			○
問20	男女共同参画センター「パルモ」の利用の有無			○
問20-1	充実してほしい内容			○
問21	用語の認知度			○
問22	男女共同参画社会実現のために行政に望むこと			○



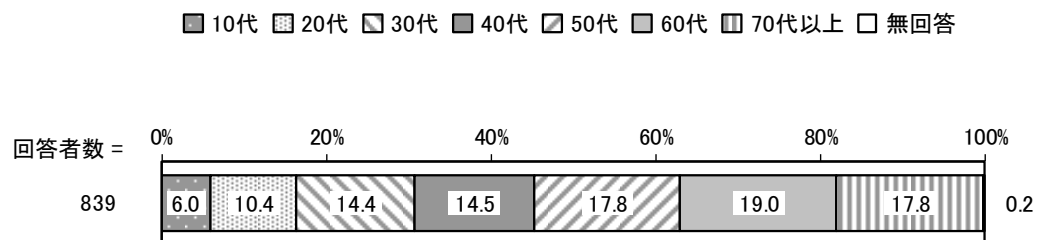
## II 調査結果

### 1 回答者属性

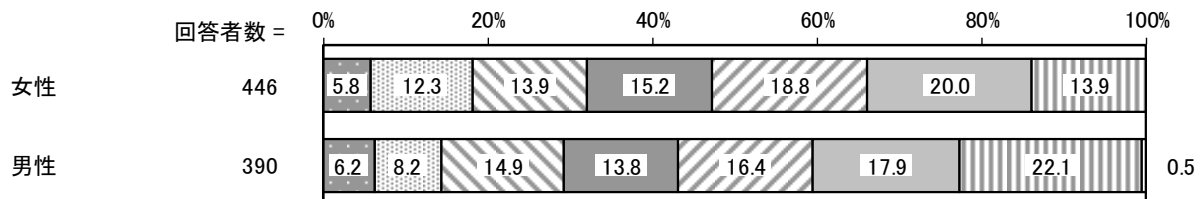
#### A 性別



#### B 年代 (年齢)

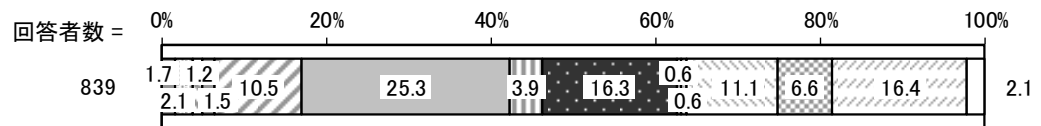


#### 【性別】



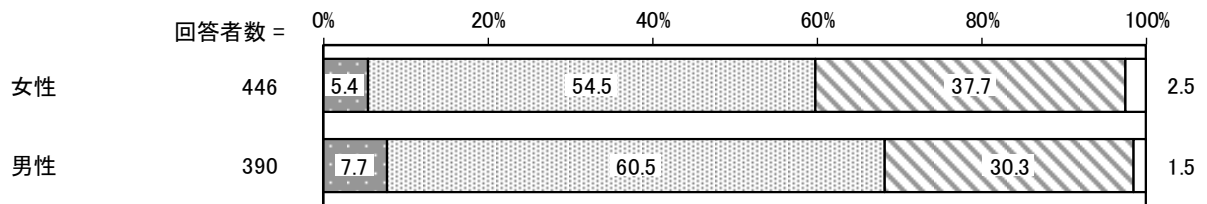
## C 職業

- 農林漁業
- 自由業(作家、芸術家など)
- 正社員・正職員(管理職)
- 派遣・契約社員
- 内職
- 専業主婦・専業主夫
- その他(年金生活者、失業中の方など)
- 商・工・サービスの自営業主
- 上記「1～3」の家族従業者
- 正社員・正職員(管理職以外)
- パートタイム・アルバイト
- その他
- 学生
- 無回答



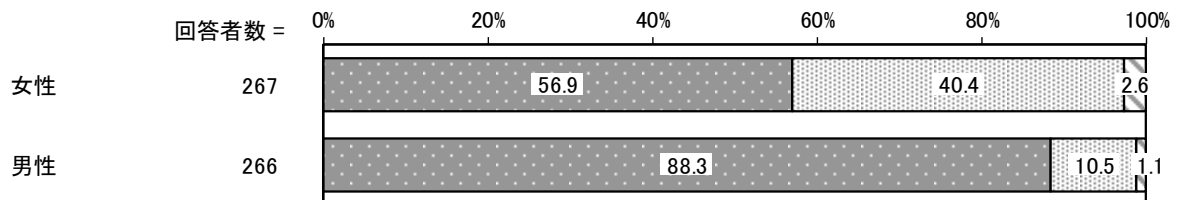
### 【性別】

- 自営業・自由業
- 会社・組織への勤務
- 無職・学生
- 無回答

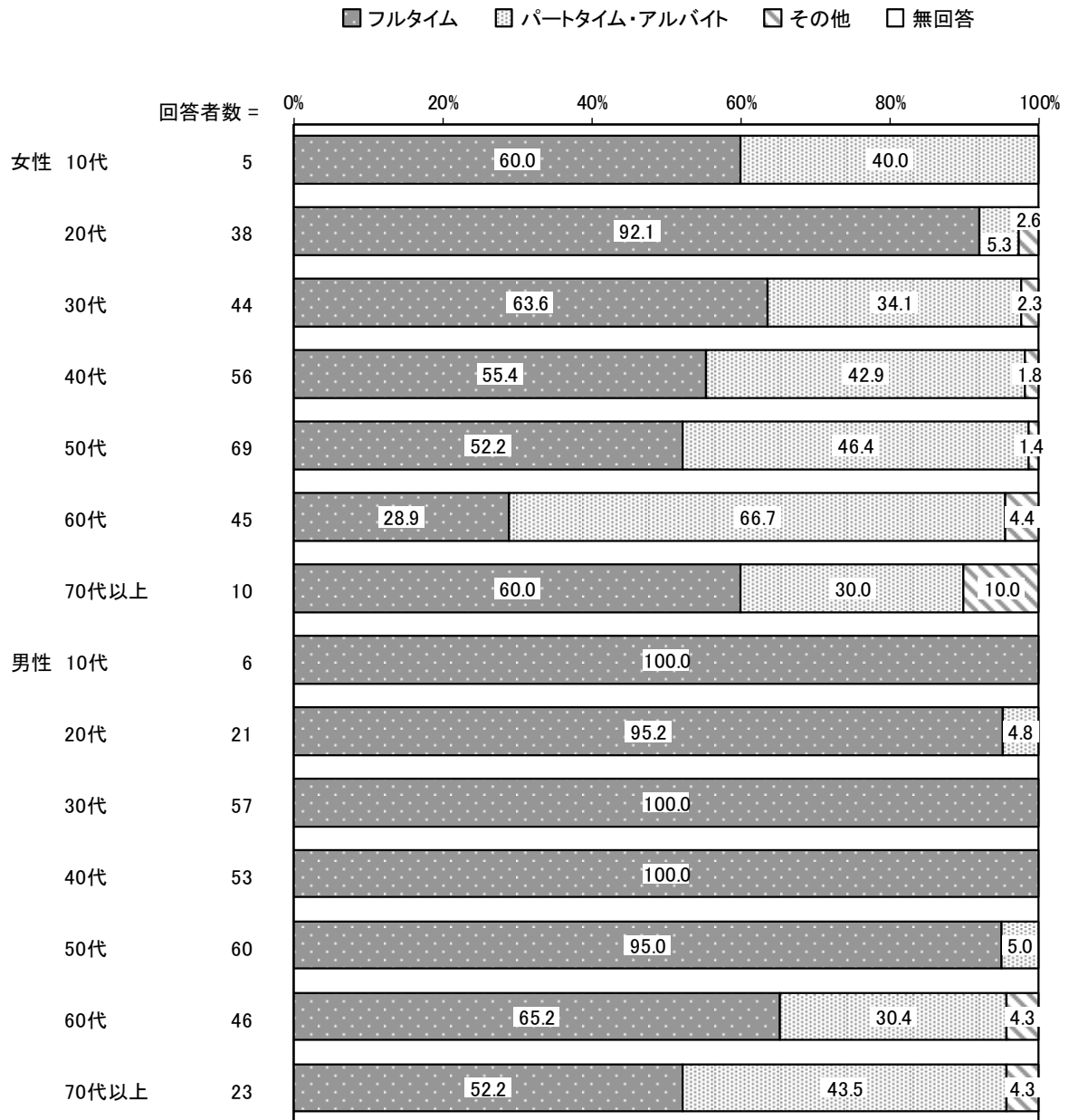


### 【就労形態】

- フルタイム
- パートタイム・アルバイト
- その他
- 無回答

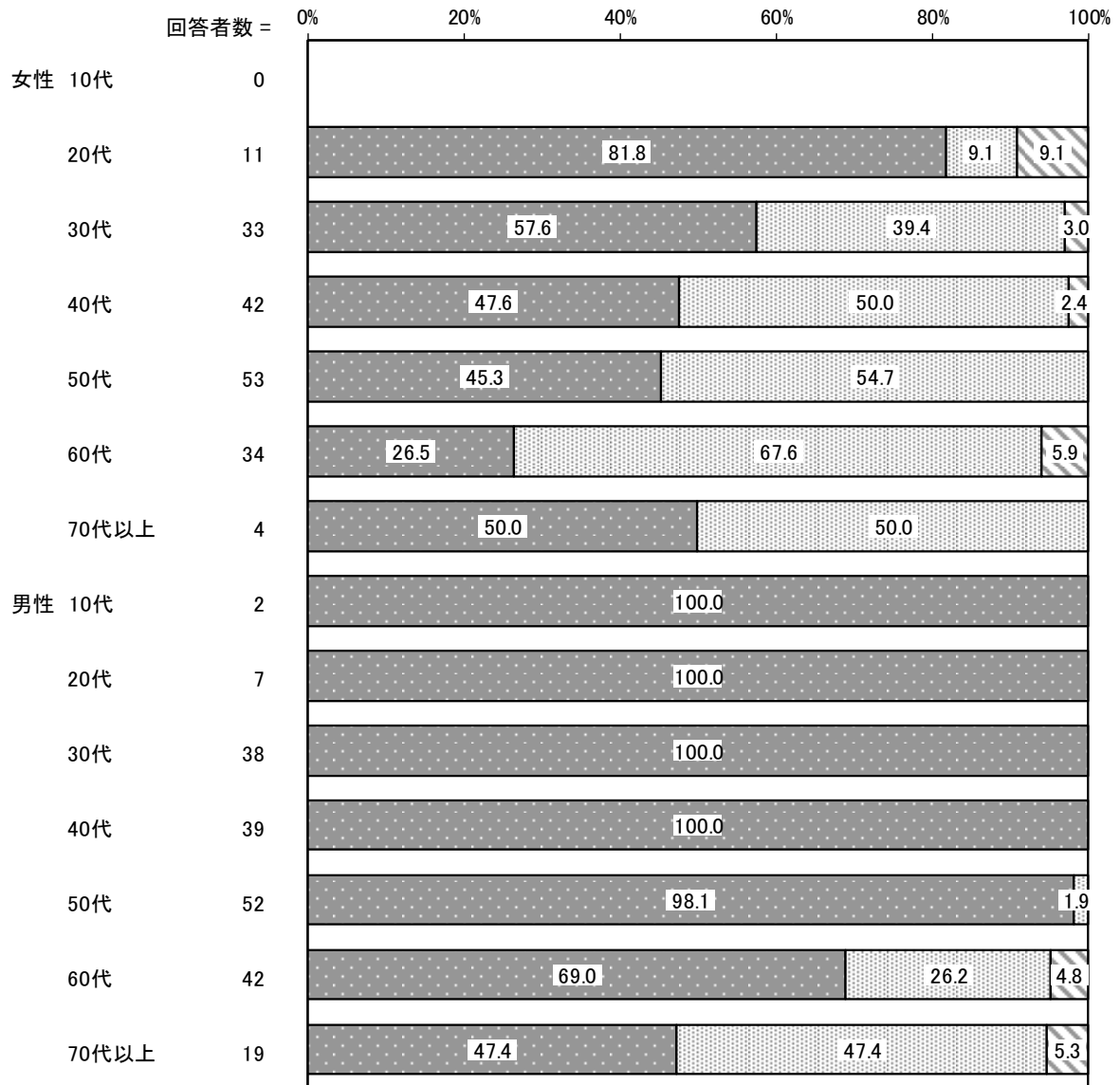


【性・年代別】

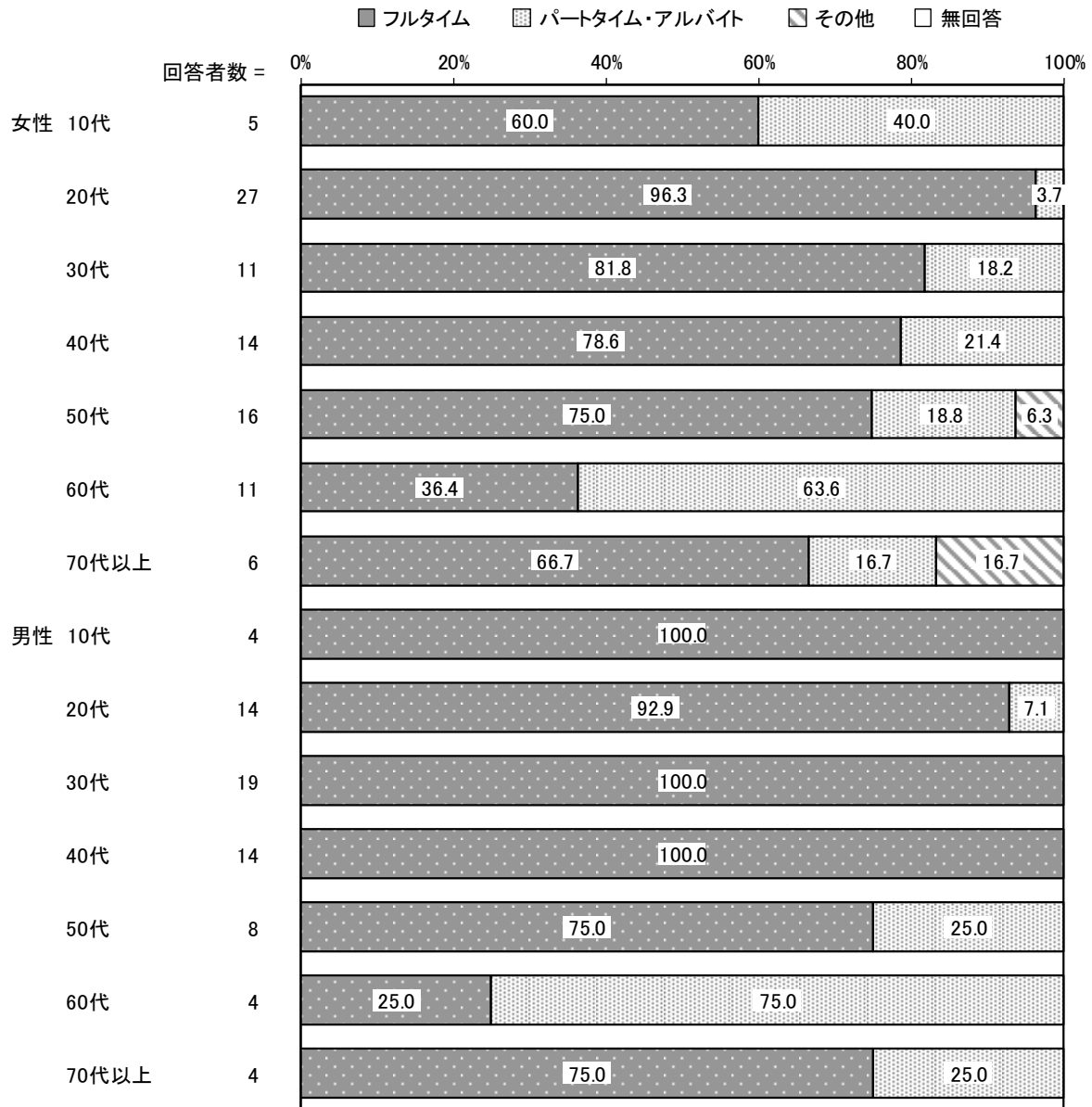


【配偶者の有無別（婚姻中）】

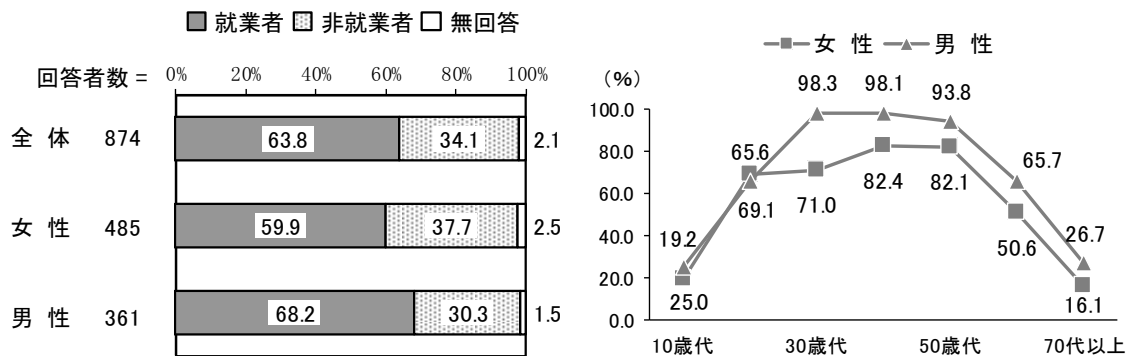
■ フルタイム    ■ パートタイム・アルバイト    ■ その他    □ 無回答



【配偶者の有無別（独身）】

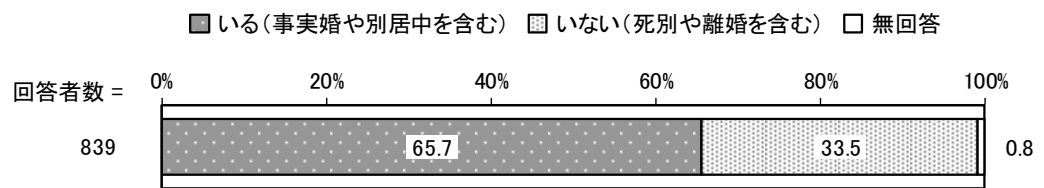


【就労の有無】

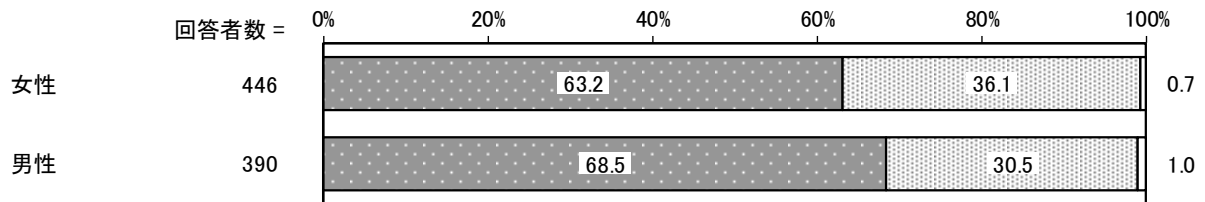


就労の有無について性別で見ると、女性に比べ、男性で「就業者」の割合が高くなっている。性・年代別で見ると、30歳代以上では、女性に比べ、男性で「就業者」の割合が高く、特に30歳代では約27ポイントの差がみられる。

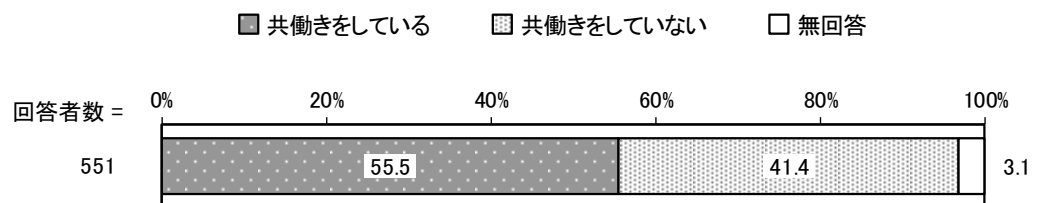
## D 配偶者の有無



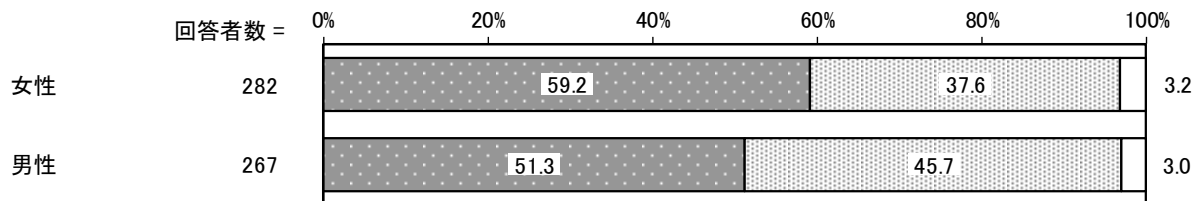
### 【性別】



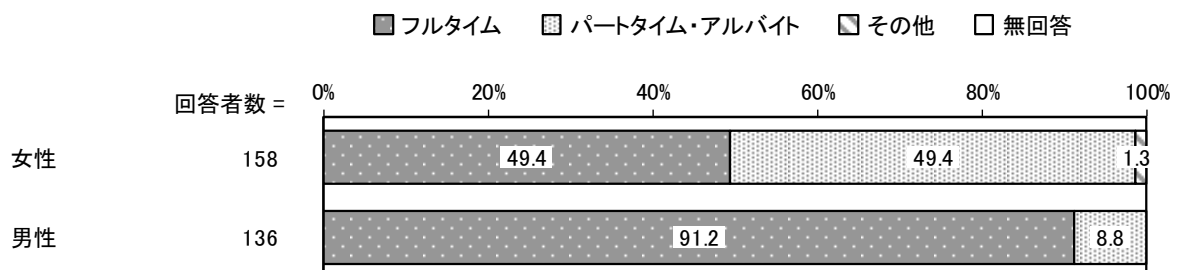
## D-1 共働きについて



### 【性別】

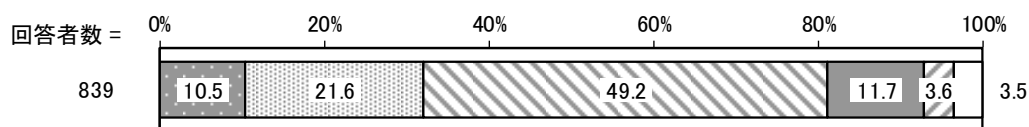


### 【就労形態 (共働きをしている人)】

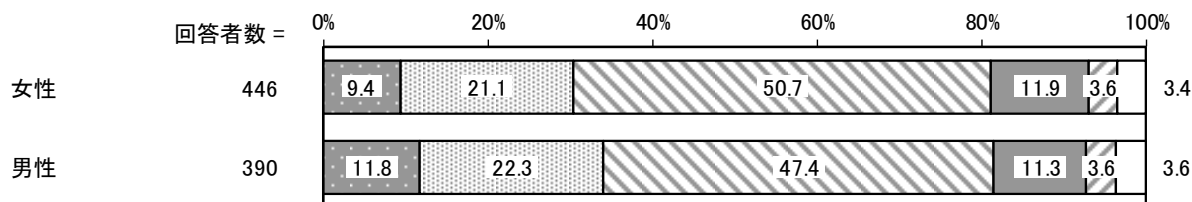


## E 家族構成

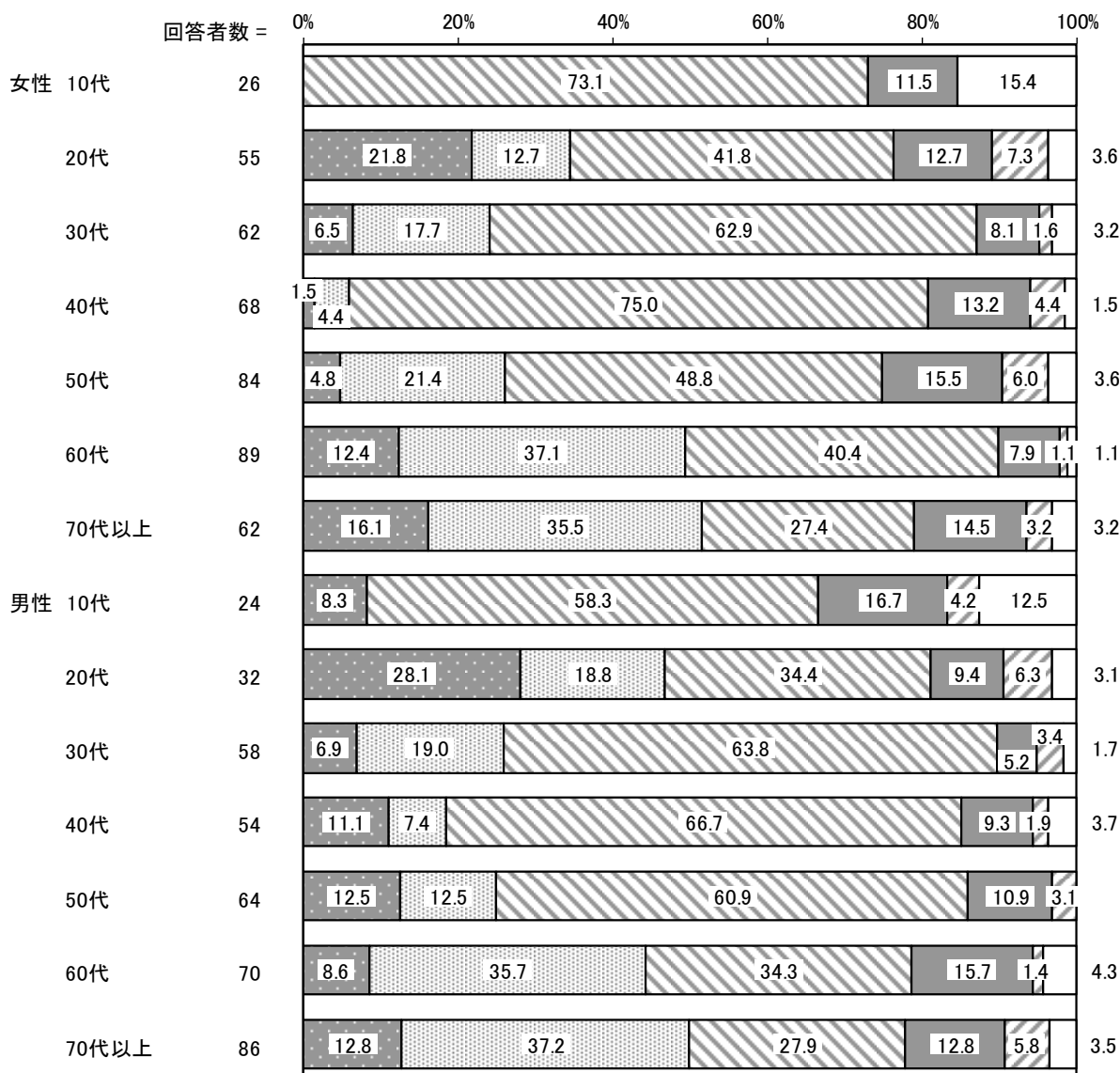
一人暮らし
  夫婦のみ(一世代家族)
  親と子(二世世代家族)
  親と子と孫(三世世代家族)
  その他
  無回答



### 【性別】



### 【性・年代別】



## 2 男女の平等感について

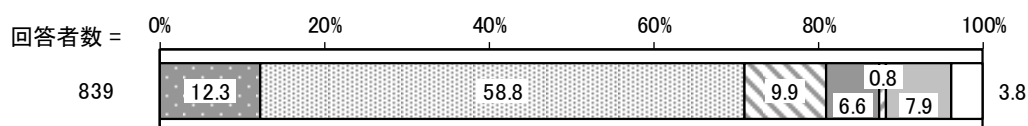
### (1) 社会全体の男女の地位評価

問1. 社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

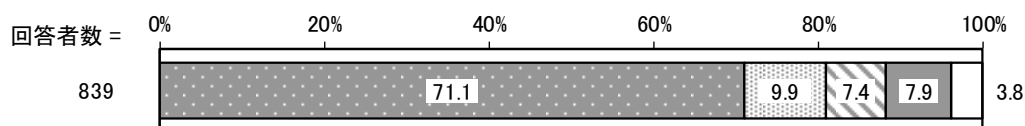
“男性の方が優遇されている（※1）”の割合が71.1%、「平等である」の割合が9.9%、“女性の方が優遇されている（※2）”の割合が7.4%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で“男性の方が優遇されている（※1）”の割合が高い。

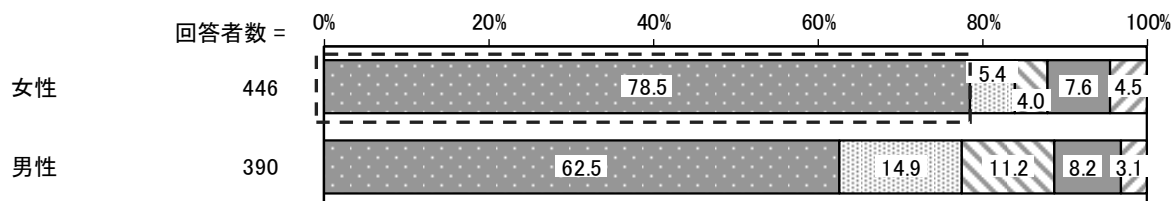
- 男性の方が非常に優遇されている
- 平等である
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- わからない



- 男性の方が優遇されている(※1)
- 女性の方が優遇されている(※2)
- 無回答
- 平等である
- わからない



#### 【性別】



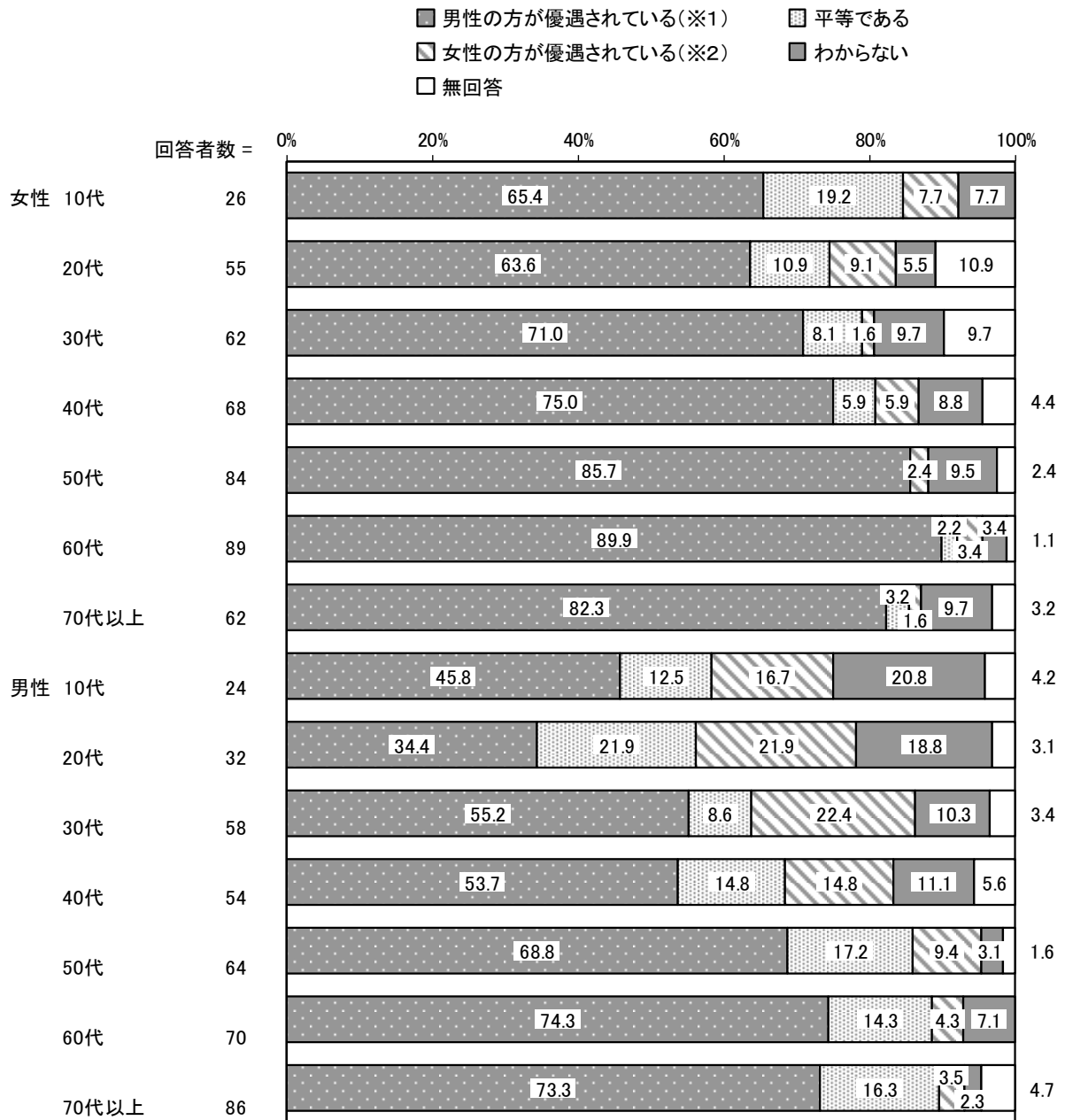
※1 : 「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計  
 ※2 : 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計



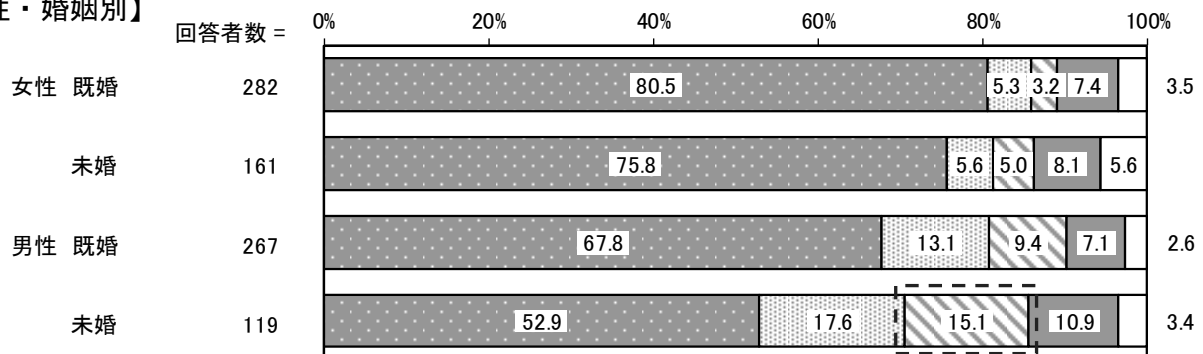
性・年代別でみると、男性、女性ともに、年代が上がるにつれ“男性の方が優遇されている（※1）”の割合が高くなる傾向がみられる。

性・婚姻別でみると、他に比べ、未婚男性で“女性の方が優遇されている（※2）”の割合が高い。

【性・年代別】



【性・婚姻別】



国・愛知県との比較でみると、“女性の方が優遇されている（※2）”の割合は、国・愛知県より高い数値となっている。

豊橋市の過去の調査との比較でみると、令和元年と比べて“女性の方が優遇されている（※2）”の割合が増加している。

【国・愛知県との比較・経年比較】

単位：％

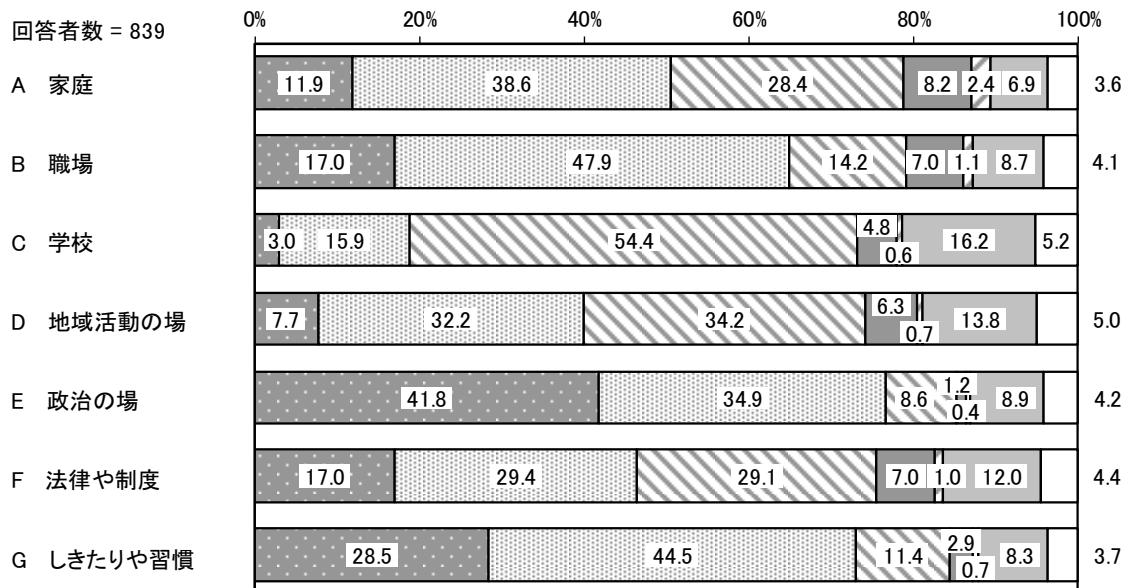
	男性の方が非常に優遇されている（A）	どちらかといえば男性の方が優遇されている（B）	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている（C）	女性の方が非常に優遇されている（D）	わからない（H13調査はどちらともいえない）	無回答	男性の方が優遇されている（A+B）	女性の方が優遇されている（C+D）
国（R01.9）	11.3	62.8	21.2	2.8	0.3	1.6	—	74.2	3.0
女性	13.1	64.4	18.4	1.7	0.2	13.1	—	79.2	2.0
男性	9.2	61	24.5	4	0.3	9.2	—	68.2	4.4
愛知県（R01.8）	16.2	56.5	12.9	3.0	1.2	6.1	4.1	72.7	4.2
女性	22.8	56.6	9.4	1.6	0.3	5.9	3.4	79.4	1.9
男性	8.5	58.1	17.1	4.6	2.4	5.9	3.3	66.6	7.0
豊橋市（R03.8）	12.3	58.8	9.9	6.6	0.8	7.9	3.8	71.1	7.4
女性	14.6	63.9	5.4	3.8	0.2	7.6	4.5	78.5	4.0
男性	9.2	53.3	14.9	9.7	1.5	8.2	3.1	62.5	11.2
豊橋市（R01.8）	10.8	63.7	9.6	3.2	1.1	8.6	3.0	74.5	4.3
女性	14.0	66.8	5.8	1.4	0.2	8.9	2.9	80.8	1.6
男性	5.5	60.1	15.5	5.8	2.5	7.8	2.8	65.6	8.3
豊橋市（H28.8）	8.4	64.8	13.4	5.7	0.2	6.0	1.5	73.2	5.9
女性	10.8	68.3	8.8	2.9	0.2	7.6	1.4	79.1	3.1
男性	5.3	60.0	19.6	9.3	0.2	3.8	1.7	65.3	9.5
豊橋市（H26.9）	8.6	60.2	11.3	6.1	0.9	7.4	5.6	68.8	7.0
女性	11.3	61.9	7.0	4.5	0.3	9.3	5.8	73.2	4.8
男性	5.0	58.1	16.5	8.2	1.6	5.2	5.4	63.1	9.8
豊橋市（H23.6）	8.1	59.3	15.0	6.8	0.5	9.0	1.3	67.4	7.3
女性	10.9	63.3	9.6	4.3	0.3	10.1	1.3	74.2	4.6
男性	4.1	54.2	22.0	10.4	0.6	7.6	1.1	58.3	11.0
豊橋市（H20.5）	10.5	62.3	12.1	5.4	0.7	7.1	2.0	72.8	6.0
女性	11.4	66.0	8.3	3.7	0.5	8.7	1.4	77.4	4.2
男性	9.5	57.9	17.3	7.3	1.0	5.6	1.4	67.5	8.3
豊橋市（H17.5）	10.6	60.6	11.1	7.1	0.6	8.8	1.3	71.2	7.7
女性	13.5	64.5	6.2	3.6	0.2	10.6	1.5	78.0	3.7
男性	6.8	54.9	18.0	11.9	1.2	6.3	0.9	61.7	13.1
豊橋市（H13.8）	19.8	55.4	7.7	4.3	0.4	10.9	1.4	75.2	4.7
女性	25.6	55.4	3.9	4.1	0.0	9.7	1.2	81.0	4.1
男性	12.4	56.1	12.7	4.4	1.0	12.1	1.3	68.5	5.4

## (2) 各場面および分野の男女の地位評価

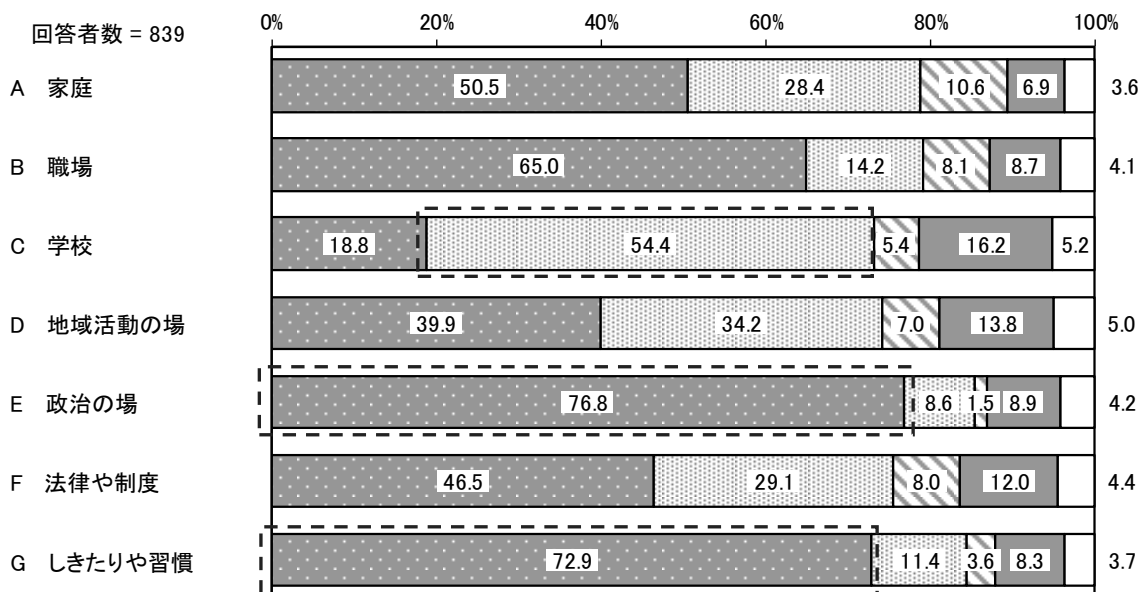
問2. 次の各場面および分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。  
A～Gの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

『E 政治の場』、『G しきたりや習慣』において、“男性の方が優遇されている（※1）”の割合が高い。また、『C 学校』において「平等である」の割合が高く、5割台半ばとなっている。

- 男性の方が非常に優遇されている
- 平等である
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- わからない



- 男性の方が優遇されている(※1)
- 女性の方が優遇されている(※2)
- 無回答
- 平等である
- わからない



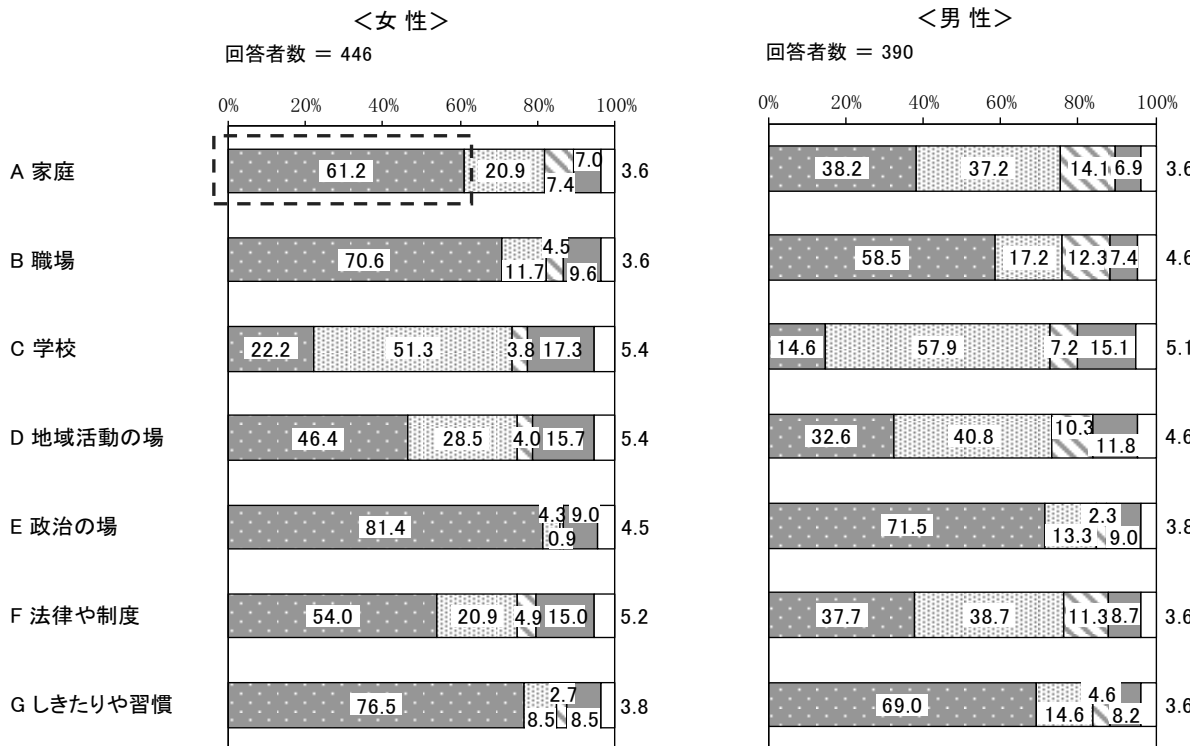
※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

【性別】

性別で見ると、いずれの項目においても、男性に比べ、女性で“男性の方が優遇されている（※1）”の割合が高く、特に『A 家庭』では23ポイント高い。

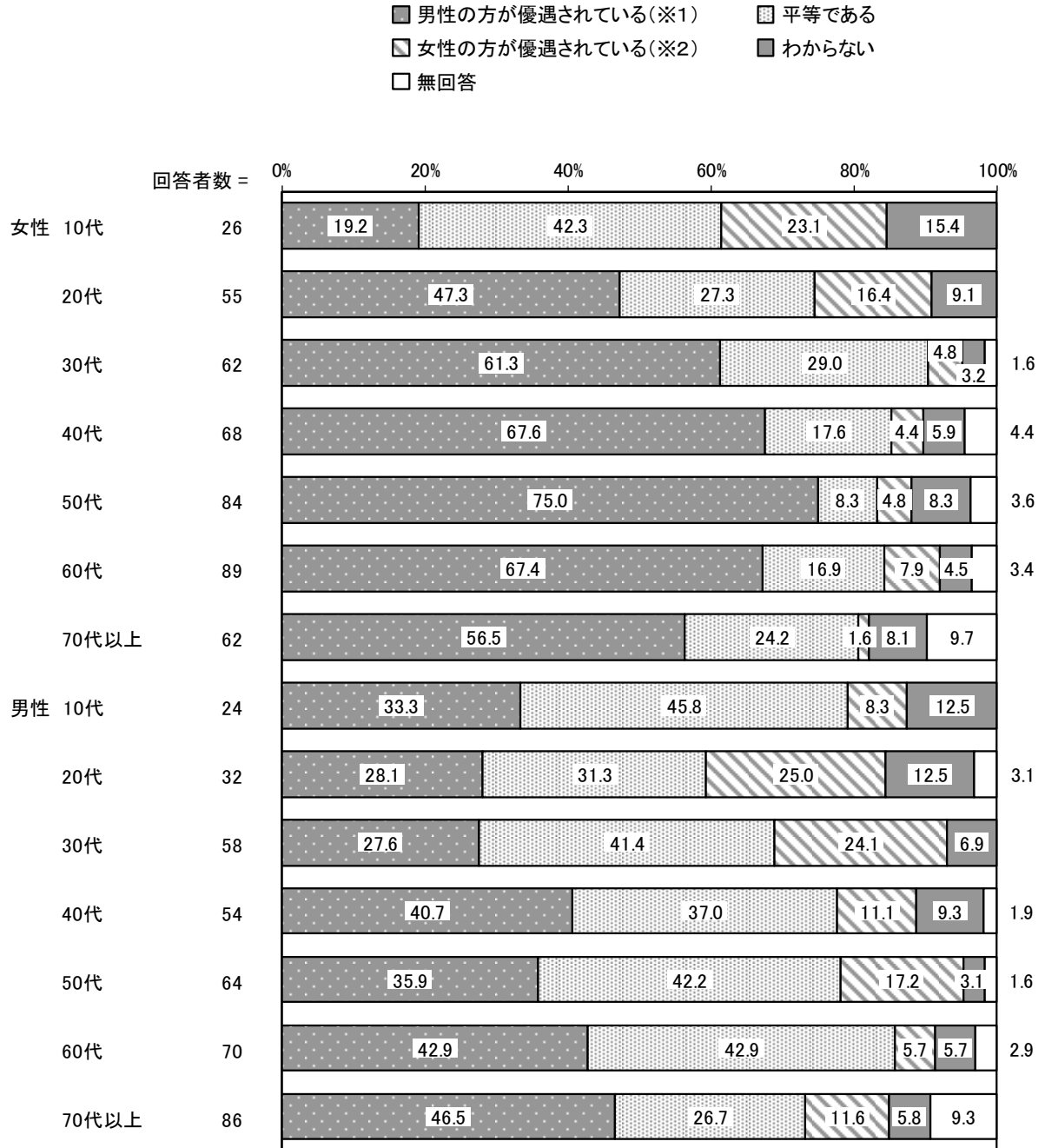
- 男性の方が優遇されている(※1)
- 平等である
- 女性の方が優遇されている(※2)
- わからない
- 無回答



※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計  
 ※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

A 家庭

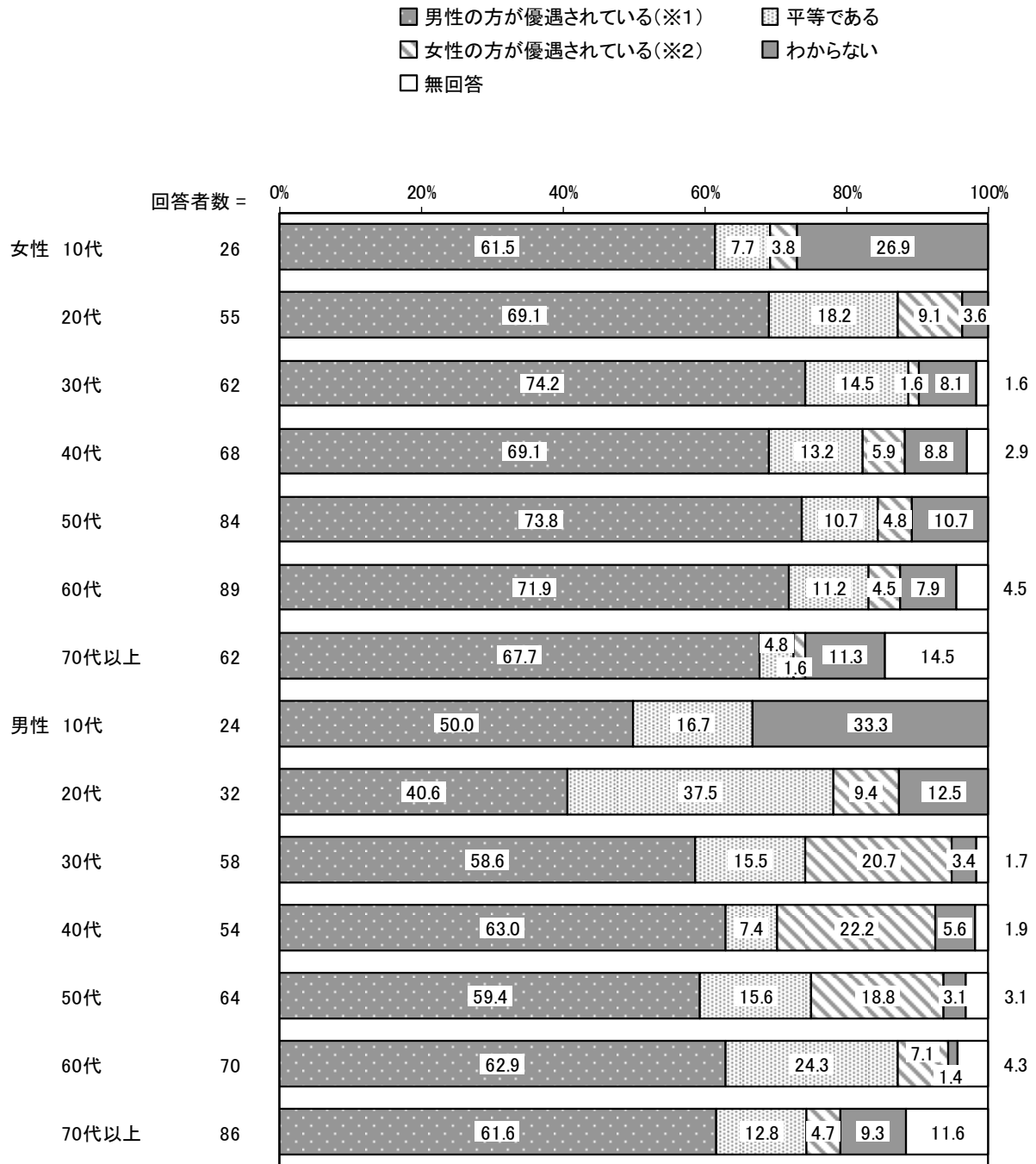
【性・年代別】



※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計  
 ※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

## B 職場

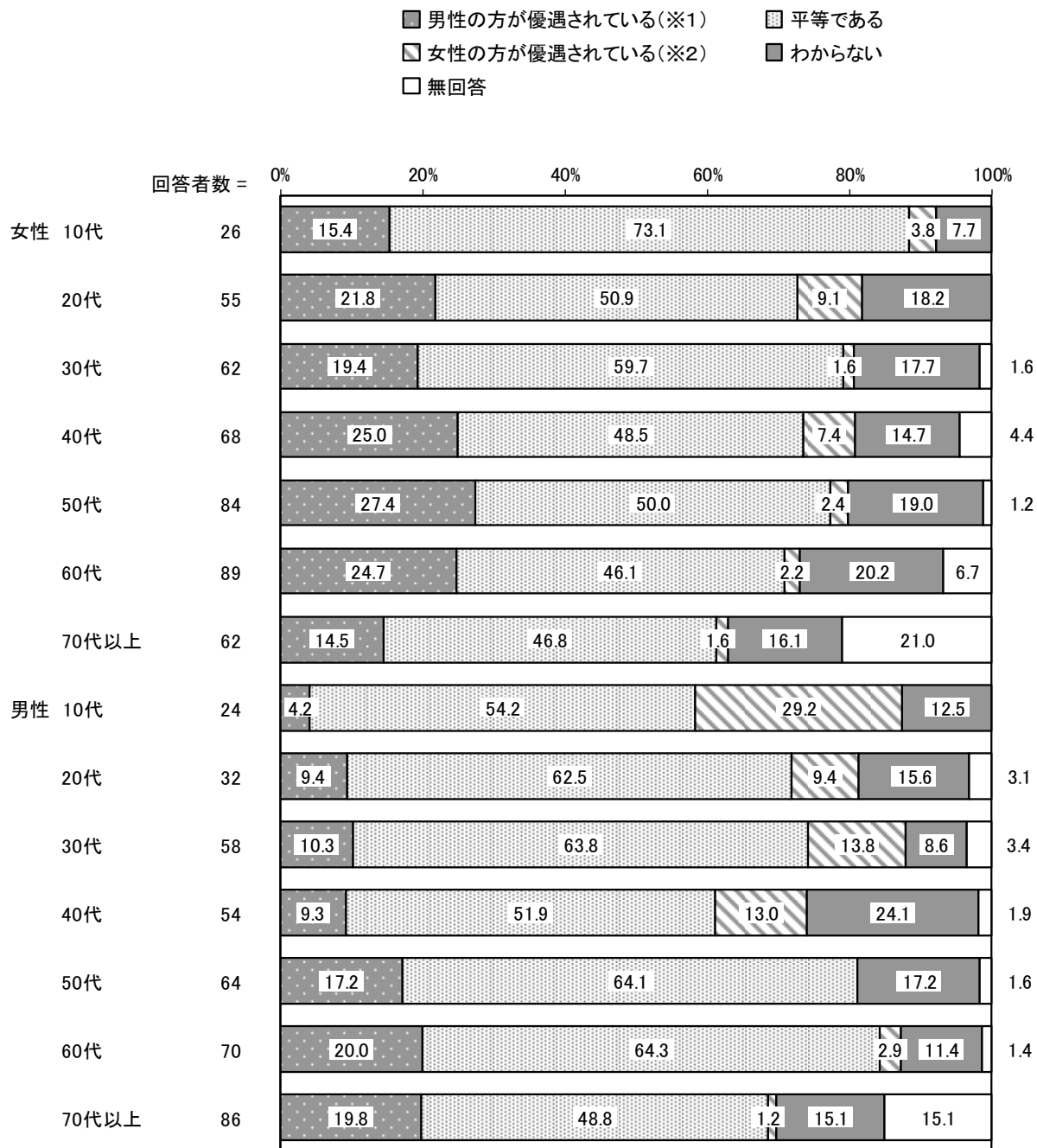
### 【性・年代別】



※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計  
 ※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

C 学校

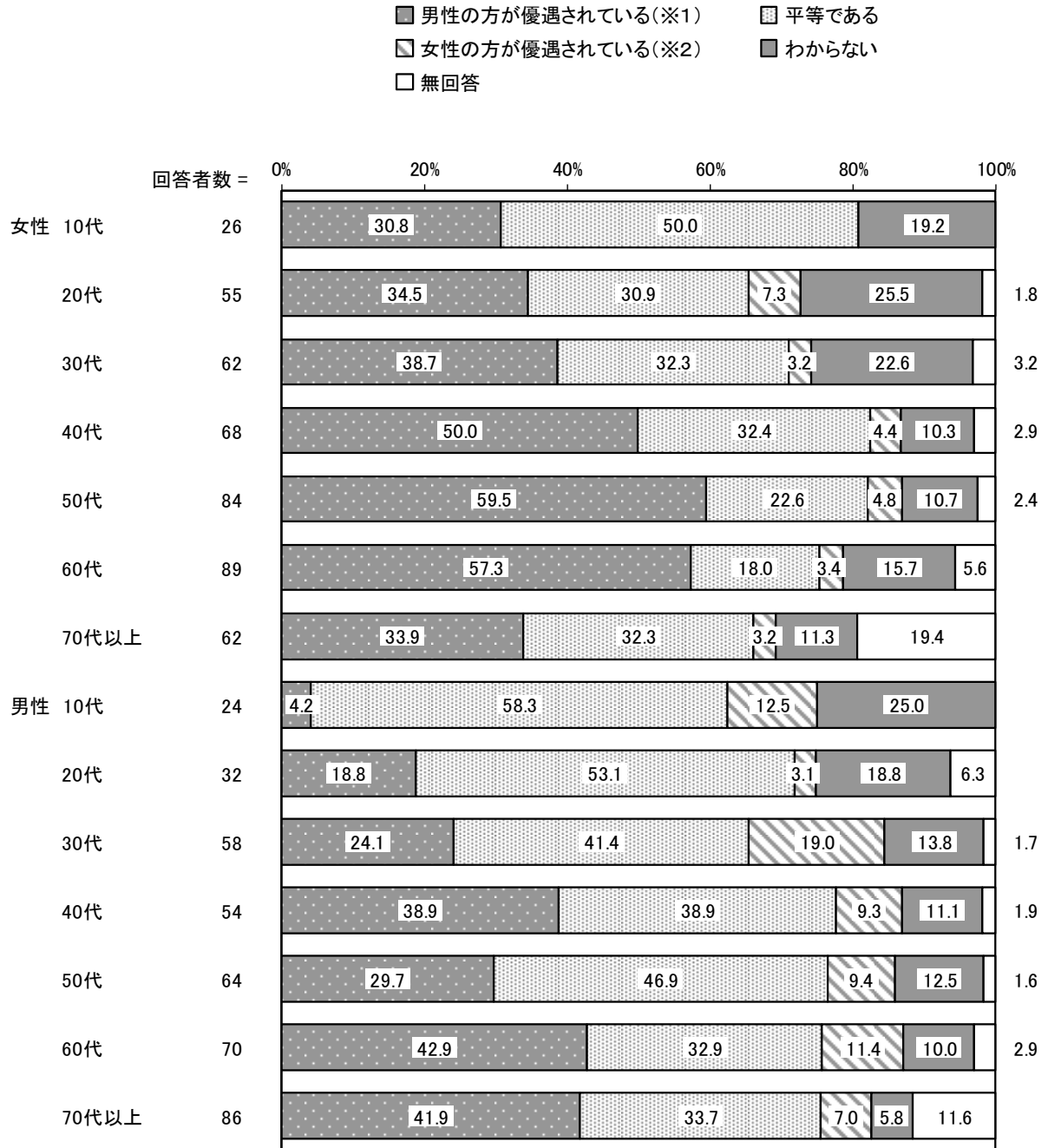
【性・年代別】



※1 : 「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計  
 ※2 : 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

D 地域活動の場

【性・年代別】

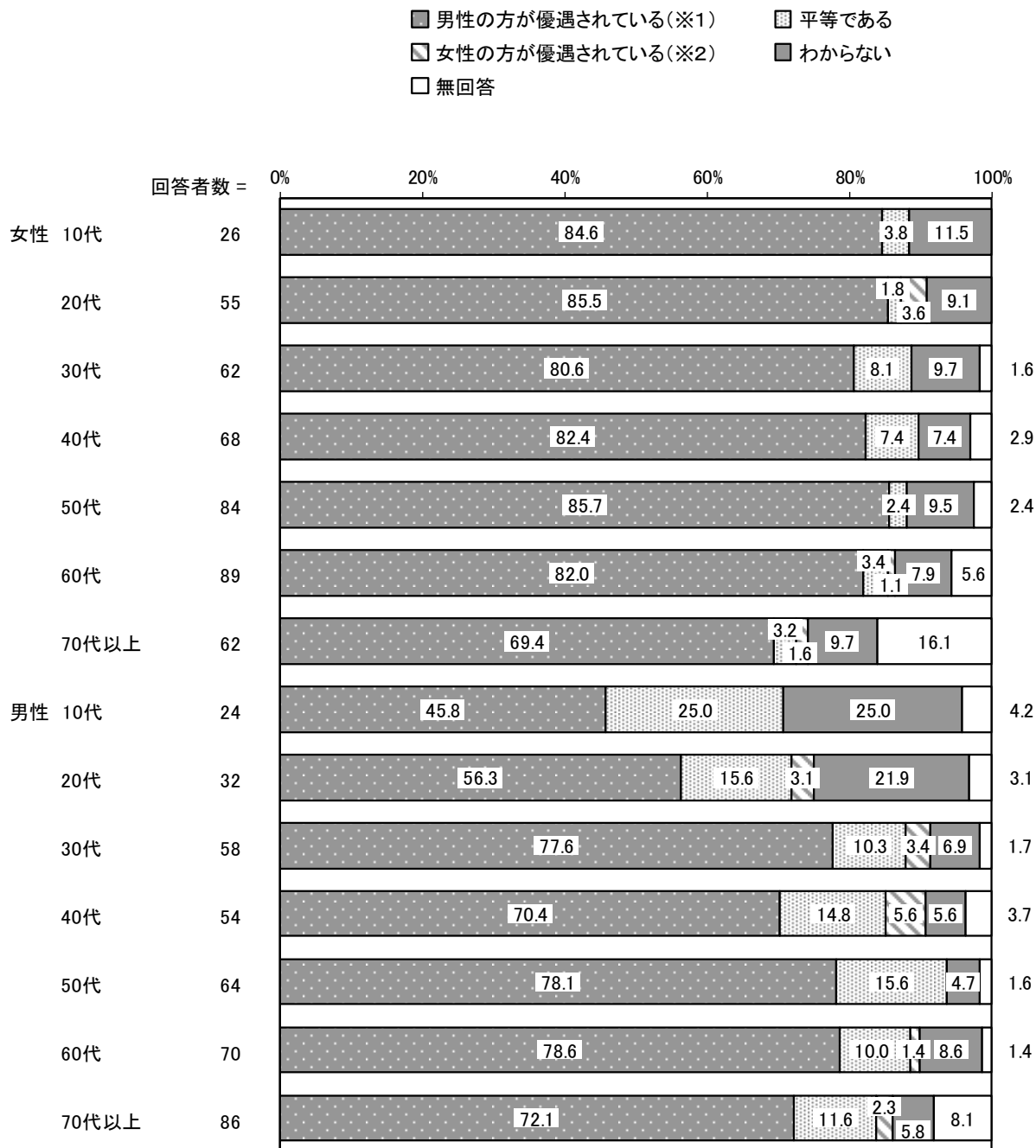


※1 : 「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計  
 ※2 : 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計



E 政治の場

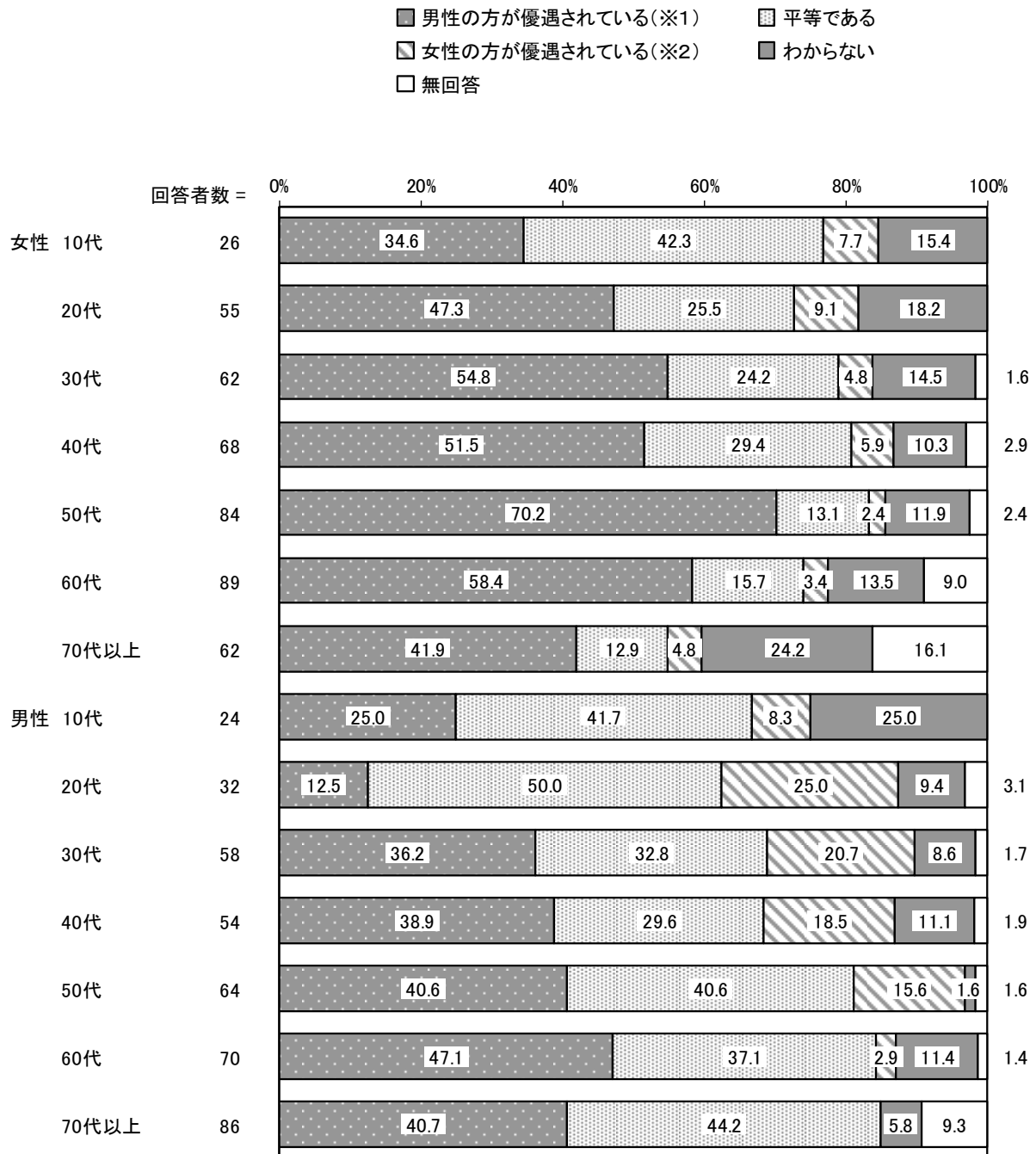
【性・年代別】



※1 : 「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計  
 ※2 : 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

F 法律や制度

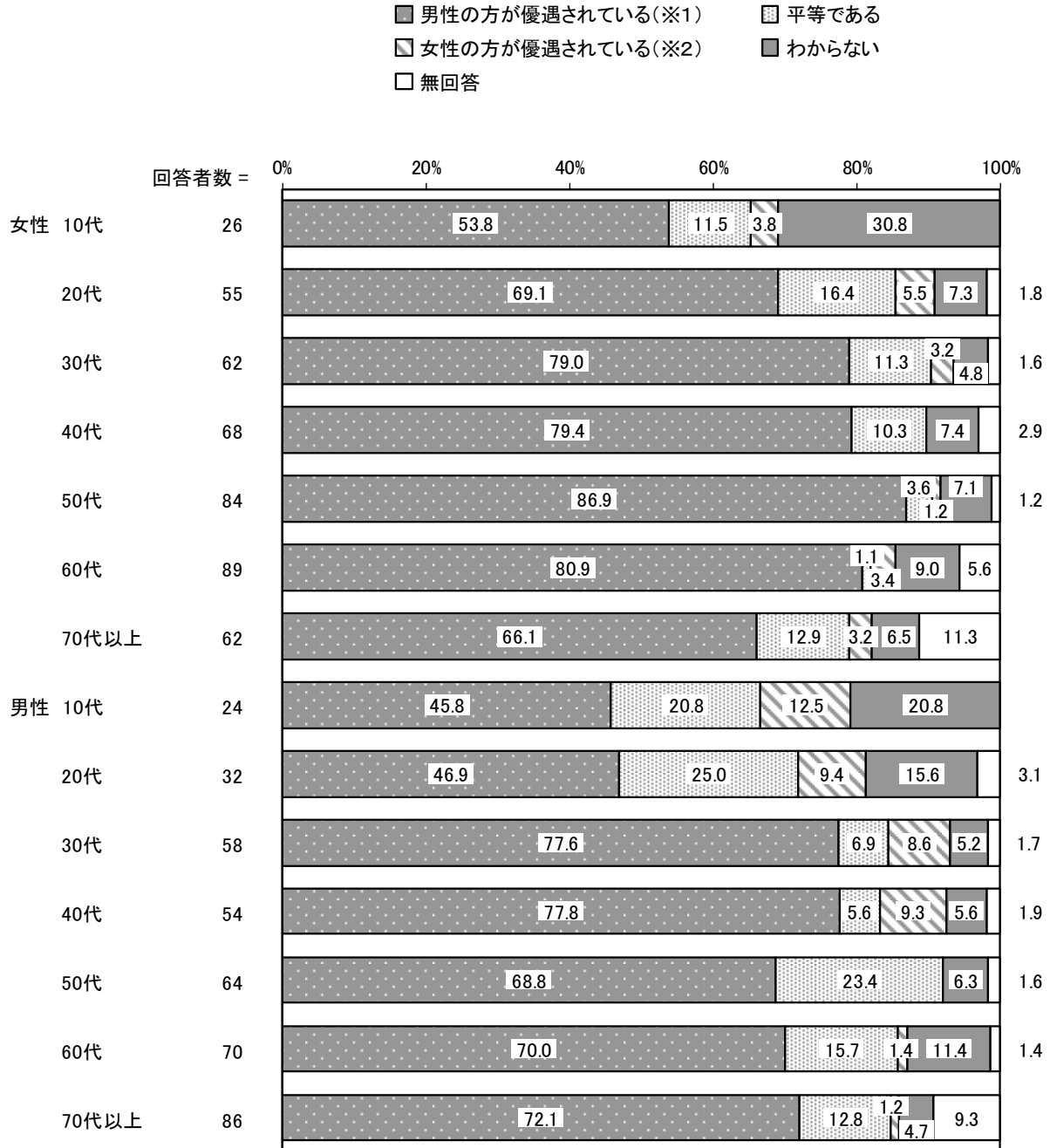
【性・年代別】



※1 : 「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計  
 ※2 : 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

G しきたりや習慣

【性・年代別】



※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計  
 ※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

国・愛知県との比較でみると、「平等である」の割合は、各項目で愛知県と同程度の数値となっているが、国より低い数値となっている。

豊橋市の過去の調査との比較でみると、令和元年と比べて『C 学校』、『D 地域活動の場』、『G しきたりや習慣』で“男性の方が優遇されている”の割合が増加している。

【国・愛知県との比較・経年比較】

A 家庭

単位：%

	男性の方が非常に優遇されている(A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている(B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている(C)	女性の方が非常に優遇されている(D)	わからない(H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている(A+B)	女性の方が優遇されている(C+D)
国 (R01.9)	9.3	35.6	45.5	6.5	0.7	2.4	—	43.5	6.7
女性	11.7	39.9	39.1	5.8	0.7	2.8	—	50.3	5.4
男性	6.5	30.8	52.7	7.3	0.7	1.9	—	35.4	8.5
愛知県 (R01.8)	16.0	40.1	25.3	7.5	1.9	5.5	3.8	56.1	9.4
女性	24.0	42.1	19.3	6.1	0.8	4.2	3.4	66.1	6.9
男性	6.9	37.7	33.2	9.3	3.3	7.1	2.6	44.6	12.6
豊橋市 (R03.8)	11.9	38.6	28.4	8.2	2.4	6.9	3.6	50.5	10.6
女性	15.9	45.3	20.9	6.1	1.3	7.0	3.6	61.2	7.4
男性	7.2	31.0	37.2	10.5	3.6	6.9	3.6	38.2	14.1
豊橋市 (R01.8)	10.5	43.7	25.9	8.1	1.5	6.4	3.9	54.2	9.6
女性	14.2	49.1	18.1	7.0	1.6	6.6	3.3	63.3	8.6
男性	5.3	36.3	36.8	9.4	1.4	6.4	4.4	41.6	10.8
豊橋市 (H28.8)	9.3	40.0	32.0	8.7	1.3	4.6	4.1	49.3	10.0
女性	12.8	45.9	24.3	6.8	1.4	4.5	4.1	58.7	8.2
男性	5.0	31.3	42.3	11.2	1.2	4.8	4.1	36.3	12.4
豊橋市 (H26.9)	9.4	41.0	31.3	7.3	1.5	5.9	3.5	50.4	8.8
女性	13.6	44.4	23.4	6.5	1.2	6.8	4.1	58.0	7.7
男性	4.5	36.7	40.6	8.3	1.9	5.0	2.9	41.2	10.2
豊橋市 (H23.6)	9.7	41.4	30.4	9.3	1.5	5.1	2.5	51.1	10.8
女性	13.1	47.3	23.2	8.6	1.2	4.3	2.3	60.4	9.8
男性	5.2	34.1	39.3	10.6	1.9	6.3	2.6	39.3	12.5
豊橋市 (H20.5)	14.5	42.8	27.9	7.8	0.9	4.6	1.6	57.2	8.7
女性	18.6	47.3	21.7	5.5	0.6	5.0	1.4	65.8	6.1
男性	9.7	36.9	36.1	10.9	1.2	4.0	1.2	46.6	12.1
豊橋市 (H17.5)	14.2	47.0	23.3	6.2	0.5	4.4	4.4	61.2	6.7
女性	20.0	48.4	18.1	4.9	0.5	4.2	3.9	68.4	5.4
男性	5.6	45.1	31.3	7.9	0.5	4.7	4.9	50.7	8.4
豊橋市 (H13.8)	22.2	38.4	21.6	5.5	1.8	7.7	2.7	60.6	7.3
女性	28.4	37.3	17.0	4.5	1.4	8.5	3.0	65.7	5.9
男性	15.2	40.6	28.2	5.7	2.3	6.2	1.8	55.8	8.0

B 職場

単位：%

	男性の方が非常に優遇されている(A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている(B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている(C)	女性の方が非常に優遇されている(D)	わからない(H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている(A+B)	女性の方が優遇されている(C+D)
国 (R01.9)	13.6	39.8	30.7	4.5	0.5	10.9	—	56.6	4.7
女性	14.4	39.7	28.4	4.3	0.4	12.8	—	57.7	3.4
男性	12.8	40.0	33.3	4.8	0.5	8.7	—	55.3	6.2
愛知県 (R01.8)	22.4	42.9	15.2	5.6	2.1	7.0	4.9	65.3	7.7
女性	28.7	41.0	12.9	4.4	0.6	8.0	4.4	69.7	5.0
男性	15.0	45.8	18.6	7.2	4.1	5.4	3.9	60.8	11.3
豊橋市 (R03.8)	17.0	47.9	14.2	7.0	1.1	8.7	4.1	64.9	8.1
女性	20.6	50.0	11.7	4.3	0.2	9.6	3.6	70.6	4.5
男性	12.6	45.9	17.2	10.3	2.1	7.4	4.6	58.5	12.4
豊橋市 (R01.8)	16.4	50.6	14.5	4.8	0.8	7.1	5.8	67.0	5.6
女性	19.8	51.1	13.0	2.5	0.2	8.0	5.4	70.9	2.7
男性	10.8	50.1	17.2	7.8	1.7	5.8	6.6	60.9	9.5
豊橋市 (H28.8)	15.9	44.0	19.2	6.4	1.2	7.2	6.2	59.9	7.6
女性	18.9	43.6	17.8	4.1	0.7	8.1	6.7	62.5	4.8
男性	12.0	44.5	21.1	9.6	1.9	6.0	5.0	56.5	11.5
豊橋市 (H26.9)	16.0	44.5	17.4	5.8	1.6	8.8	5.9	60.5	7.4
女性	20.2	43.3	13.8	3.8	0.7	11.9	6.3	63.5	4.5
男性	11.1	45.8	21.7	8.0	2.7	5.2	5.4	56.9	10.7
豊橋市 (H23.6)	14.6	50.1	17.7	6.5	0.4	7.2	3.5	64.7	6.9
女性	18.7	51.6	13.8	4.5	0.0	8.1	3.3	70.3	4.5
男性	9.1	48.6	22.9	9.1	0.9	6.3	3.2	57.7	10.0
豊橋市 (H20.5)	16.5	52.7	14.7	5.3	0.5	6.9	3.4	69.2	5.8
女性	19.5	52.0	12.0	3.4	0.5	9.4	3.3	71.5	3.9
男性	13.1	53.4	18.5	7.3	0.6	4.2	3.0	66.5	7.9
豊橋市 (H17.5)	15.9	50.3	13.5	5.1	0.6	7.0	7.7	66.2	5.7
女性	19.4	51.6	9.8	3.3	0.0	9.0	7.0	71.0	3.3
男性	11.2	48.6	19.2	7.7	1.2	4.2	7.9	59.8	8.9
豊橋市 (H13.8)	26.6	43.3	12.2	3.5	1.4	6.2	6.8	69.9	4.9
女性	32.3	43.0	9.1	2.2	1.4	6.3	5.7	75.3	3.6
男性	19.1	44.4	16.8	4.9	1.6	5.7	7.5	63.5	6.5

C 学校

単位：%

	男性の方が非常に優遇されている (A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている (B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている (C)	女性の方が非常に優遇されている (D)	わからない (H13 調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている (A+B)	女性の方が優遇されている (C+D)
国 (R01.9)	3.3	15.2	61.2	2.3	0.3	17.7	—	16.0	3.2
女性	3.8	16.0	59.8	2.0	0.4	18.1	—	18.7	2.9
男性	2.7	14.3	62.8	2.6	0.3	17.3	—	12.6	3.5
愛知県 (R01.8)	5.2	15.2	52.8	4.3	0.5	16.3	5.7	20.4	4.8
女性	8.0	16.8	50.7	4.1	0.0	15.1	5.3	24.8	4.1
男性	2.0	13.4	57.3	4.8	1.1	17.1	4.3	15.4	5.9
豊橋市 (R03.8)	3.0	15.9	54.4	4.8	0.6	16.2	5.2	18.9	5.4
女性	4.0	18.2	51.3	3.8	0.0	17.3	5.4	22.2	3.8
男性	1.5	13.1	57.9	5.9	1.3	15.1	5.1	14.6	7.2
豊橋市 (R01.8)	2.2	15.8	53.9	3.0	0.7	17.4	7.1	18.0	3.7
女性	2.3	19.6	52.8	1.6	0.2	17.7	5.8	21.9	1.8
男性	1.7	10.5	55.1	4.7	1.4	17.7	8.9	12.2	6.1
豊橋市 (H28.8)	1.8	13.8	53.0	3.6	0.6	18.1	9.1	15.6	4.2
女性	2.0	16.9	52.3	1.8	0.2	16.6	10.3	18.9	2.0
男性	1.7	9.3	54.3	6.2	1.2	20.1	7.2	11.0	7.4
豊橋市 (H26.9)	1.6	13.0	52.6	2.8	1.0	19.8	9.2	14.6	3.8
女性	2.3	16.7	48.6	1.8	0.0	21.2	9.3	19.0	1.8
男性	0.8	8.5	57.7	4.1	2.1	18.1	8.7	9.3	6.2
豊橋市 (H23.6)	2.4	11.6	58.4	5.4	0.2	16.7	5.5	14.0	5.6
女性	2.8	14.1	57.4	4.0	0.0	16.6	5.1	16.9	4.0
男性	1.9	7.8	59.8	7.3	0.4	17.3	5.4	9.7	7.7
豊橋市 (H20.5)	2.2	13.6	59.1	4.6	0.6	16.0	3.9	15.8	5.2
女性	3.1	17.2	55.5	3.4	0.3	16.8	3.6	20.3	3.7
男性	1.2	9.3	64.3	6.0	1.0	14.7	3.6	10.5	6.9
豊橋市 (H17.5)	2.1	12.2	56.0	3.2	0.7	17.7	8.1	14.3	3.9
女性	2.4	14.8	52.9	2.1	0.3	20.2	7.2	17.3	2.4
男性	1.4	8.4	61.9	4.4	1.2	13.8	8.9	9.8	5.6
豊橋市 (H13.8)	3.7	15.9	54.8	3.2	1.5	13.2	7.7	19.6	4.7
女性	5.7	19.9	49.1	2.4	0.8	15.8	6.3	25.6	3.2
男性	1.3	10.9	62.3	4.7	1.8	10.6	8.5	12.2	6.5

D 地域活動の場

単位：%

	男性の方が非常に優遇されている(A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている(B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている(C)	女性の方が非常に優遇されている(D)	わからない(H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている(A+B)	女性の方が優遇されている(C+D)
国 (R01.9)	7.0	27.7	46.5	8.7	1.6	8.6	—	33.5	11.8
女性	7.7	30.3	45.7	7.0	1.1	8.1	—	36.7	11.1
男性	6.1	24.7	47.4	10.5	2.1	9.1	—	29.8	12.7
愛知県 (R01.8)	9.6	32.0	33.4	6.6	1.0	12.4	5.2	41.6	7.6
女性	14.2	33.2	30.1	5.8	0.3	12.0	4.4	47.4	6.1
男性	4.5	30.6	39.5	7.6	1.9	11.9	4.1	35.1	9.5
豊橋市 (R03.8)	7.7	32.2	34.2	6.3	0.7	13.8	5.0	39.9	7.0
女性	9.6	36.8	28.5	3.8	0.2	15.7	5.4	46.4	4.0
男性	5.4	27.2	40.8	9.2	1.0	11.8	4.6	32.6	10.2
豊橋市 (R01.8)	5.1	32.4	35.0	6.3	1.0	14.6	5.5	37.5	7.3
女性	5.6	36.9	29.1	5.8	0.6	16.9	5.2	42.5	6.4
男性	4.4	25.8	42.9	7.2	1.7	12.2	5.8	30.2	8.9
豊橋市 (H28.8)	4.8	33.6	36.0	6.9	0.5	11.9	6.4	38.4	7.4
女性	6.7	37.7	30.5	4.7	0.5	12.8	7.2	44.4	5.2
男性	2.4	28.0	43.1	10.0	0.5	11.0	5.0	30.4	10.5
豊橋市 (H26.9)	5.2	30.1	34.0	7.7	0.9	16.2	5.9	35.3	8.6
女性	6.6	33.3	27.9	5.8	0.2	20.4	5.8	39.9	6.0
男性	3.5	26.4	41.0	10.1	1.7	11.7	5.6	29.9	11.8
豊橋市 (H23.6)	7.0	35.1	33.4	5.9	0.1	14.5	4.0	42.1	6.0
女性	8.5	39.5	25.9	5.0	0.2	17.1	4.0	48.0	5.2
男性	5.2	28.5	44.1	7.1	0.0	11.7	3.5	33.7	7.1
豊橋市 (H20.5)	5.5	28.2	39.3	9.0	0.9	13.1	3.9	33.8	9.9
女性	7.2	34.9	33.7	5.9	0.6	14.4	3.3	42.1	6.6
男性	3.6	20.6	46.2	12.7	1.0	11.9	4.0	24.2	13.7
豊橋市 (H17.5)	5.4	30.3	37.3	7.3	0.2	12.3	7.2	35.7	7.5
女性	6.4	33.9	32.6	6.4	0.0	14.0	6.8	40.2	6.4
男性	4.0	24.8	45.3	8.9	0.5	9.6	7.0	28.7	9.3
豊橋市 (H13.8)	10.5	33.9	30.1	7.3	1.2	12.1	5.0	44.4	8.5
女性	13.2	36.9	24.3	4.3	1.0	15.2	5.1	50.1	5.3
男性	7.5	30.5	37.2	10.9	1.3	8.5	4.1	38.0	12.2

E 政治の場

単位：%

	男性の方が非常に優遇されている (A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている (B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている (C)	女性の方が非常に優遇されている (D)	わからない	無回答	男性の方が優遇されている (A+B)	女性の方が優遇されている (C+D)
国 (R01.9)	35.0	44.0	14.4	1.1	0.1	5.4	—	79.0	1.2
女性	37.9	44.5	11.0	0.8	0.1	5.8	—	82.4	0.9
男性	31.7	43.5	18.3	1.4	0.2	5.0	—	75.2	1.5
愛知県 (R01.8)	38.7	38.9	9.4	1.2	0.2	7.2	4.3	77.6	1.4
女性	44.3	38.4	5.5	0.8	0.0	6.9	4.2	82.7	0.8
男性	32.5	41.2	14.5	1.9	0.6	6.9	2.6	73.7	2.5
豊橋市 (R03.8)	41.8	34.9	8.6	1.2	0.4	8.9	4.2	76.7	1.6
女性	49.6	31.8	4.3	0.9	0.0	9.0	4.5	81.4	0.9
男性	32.8	38.7	13.3	1.5	0.8	9.0	3.8	71.5	2.3
豊橋市 (R01.8)	36.2	40.4	8.8	0.6	0.3	9.0	4.7	76.6	0.9
女性	43.1	38.4	4.9	0.2	—	9.1	4.3	81.5	0.2
男性	26.6	43.8	13.9	1.1	0.8	8.9	5.0	70.4	1.9



F 法律や制度

単位：%

	男性の方が非常に優遇されている(A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている(B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている(C)	女性の方が非常に優遇されている(D)	わからない(H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている(A+B)	女性の方が優遇されている(C+D)
国 (R01.9)	10.3	36.6	39.7	4.0	0.4	9.0	—	45.3	5.7
女性	12.4	39.7	33.3	3.1	0.2	11.2	—	51.6	4.5
男性	7.8	33.2	46.8	5.1	0.6	6.5	—	37.8	7.0
愛知県 (R01.8)	17.0	29.5	30.2	4.6	1.6	12.2	4.9	46.5	6.2
女性	24.5	32.9	22.0	2.0	0.3	13.7	4.5	57.4	2.3
男性	8.2	26.3	41.0	7.8	3.2	10.0	3.5	34.5	11.0
豊橋市 (R03.8)	17.0	29.4	29.1	7.0	1.0	12.0	4.4	46.4	8.0
女性	20.6	33.4	20.9	4.9	0.0	15.0	5.2	54.0	4.9
男性	12.6	25.1	38.7	9.2	2.1	8.7	3.6	37.7	11.3
豊橋市 (R01.8)	12.2	35.2	28.4	4.6	0.9	11.9	6.8	47.4	5.5
女性	16.3	39.4	22.5	2.3	0.2	13.2	6.2	55.7	2.5
男性	6.4	30.2	36.6	8.0	1.9	9.4	7.5	36.6	9.9
豊橋市 (H28.8)	7.8	35.3	32.0	5.7	1.4	11.9	6.0	43.1	7.1
女性	10.6	38.7	25.8	4.0	0.2	14.4	6.3	49.3	4.2
男性	4.1	30.9	39.7	8.1	3.1	8.9	5.3	35.0	11.2
豊橋市 (H26.9)	7.3	31.9	33.5	7.1	1.4	13.2	5.6	39.2	8.5
女性	10.0	35.8	25.4	5.6	0.2	17.2	5.8	45.8	5.8
男性	4.1	27.4	42.7	8.9	2.9	8.7	5.2	31.5	11.8
豊橋市 (H23.6)	7.3	31.5	32.7	8.8	0.9	14.7	4.1	38.8	9.7
女性	10.3	36.0	24.7	6.3	0.3	18.4	4.0	46.3	6.6
男性	3.0	25.7	43.2	12.3	1.7	10.4	3.7	28.7	14.0
豊橋市 (H20.5)	6.7	32.5	34.5	7.9	0.9	13.9	3.6	39.2	8.8
女性	9.5	40.6	25.4	3.9	0.3	17.0	3.3	50.1	4.2
男性	3.4	23.4	45.4	12.9	1.4	10.1	3.4	26.8	14.3
豊橋市 (H17.5)	6.5	35.8	30.2	7.7	0.8	12.4	6.6	42.3	8.4
女性	9.4	42.3	21.8	5.7	0.3	14.5	5.9	51.8	6.0
男性	2.6	26.4	42.5	10.7	1.4	9.3	7.0	29.0	12.1
豊橋市 (H13.8)	13.1	34.6	29.8	5.0	1.4	11.4	4.8	47.7	6.4
女性	18.7	39.6	18.3	3.6	0.6	14.4	4.7	58.3	4.2
男性	6.2	29.2	44.4	7.0	2.3	7.0	3.9	35.4	9.3

G しきたりや習慣

単位：%

	男性の方が非常に優遇されている(A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている(B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている(C)	女性の方が非常に優遇されている(D)	わからない(H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている(A+B)	女性の方が優遇されている(C+D)
国 (R01.9)	19.1	51.0	22.6	2.1	0.2	5.0	—	70.4	3.2
女性	20.3	51.2	20.5	1.9	0.1	6.0	—	71.9	2.9
男性	17.6	50.9	25.0	2.3	0.3	4.0	—	68.6	3.5
愛知県 (R01.8)	29.0	49.1	9.5	2.5	0.3	5.5	4.1	78.1	2.8
女性	37.9	46.2	5.8	1.6	0.0	5.1	3.4	84.1	1.6
男性	19.1	53.6	14.3	3.7	0.7	5.6	3.0	72.7	4.4
豊橋市 (R03.8)	28.5	44.5	11.4	2.9	0.7	8.3	3.7	73.0	3.6
女性	34.1	42.4	8.5	2.2	0.4	8.5	3.8	76.5	2.6
男性	21.8	47.2	14.6	3.6	1.0	8.2	3.6	69.0	4.6
豊橋市 (R01.8)	26.5	45.2	10.6	2.2	0.3	9.4	5.7	71.7	2.5
女性	32.4	42.5	8.5	1.9	0.2	9.5	5.2	74.9	2.1
男性	17.7	50.1	14.1	2.8	0.6	8.3	6.4	67.8	3.4
豊橋市 (H28.8)	17.7	50.1	15.3	3.3	0.5	7.8	5.4	67.8	3.8
女性	22.3	49.2	12.3	2.5	0.4	7.9	5.4	71.5	2.9
男性	11.5	51.7	18.9	4.5	0.7	7.7	5.0	63.2	5.2
豊橋市 (H26.9)	18.6	49.7	13.8	2.7	0.7	9.4	5.1	68.3	3.4
女性	23.2	47.6	10.3	1.8	0.2	10.8	6.1	70.8	2.0
男性	13.4	51.5	18.3	3.7	1.4	8.0	3.9	64.9	5.1
豊橋市 (H23.6)	18.8	50.0	14.4	2.3	0.4	10.7	3.4	68.8	2.7
女性	24.4	49.6	10.3	1.3	0.0	11.1	3.3	74.0	1.3
男性	11.0	51.0	20.1	3.7	0.9	10.4	3.0	62.0	4.6
豊橋市 (H20.5)	21.0	49.9	14.5	2.7	0.7	8.3	2.8	70.9	3.4
女性	26.2	50.2	9.7	1.6	0.5	9.5	2.3	76.4	2.0
男性	14.9	50.2	20.4	4.2	0.8	6.7	2.8	65.1	5.0
豊橋市 (H17.5)	22.6	49.2	12.0	2.6	0.0	7.8	5.9	71.8	2.6
女性	28.8	47.1	9.4	1.5	0.0	8.0	5.2	75.9	1.5
男性	13.6	53.3	15.9	4.0	0.0	7.2	6.1	66.8	4.0
豊橋市 (H13.8)	39.0	41.2	7.7	1.6	0.6	6.7	3.1	80.2	2.2
女性	46.7	35.5	5.3	1.2	0.2	8.3	2.8	82.2	1.4
男性	28.9	49.6	10.6	2.1	1.0	4.4	3.4	78.5	3.1

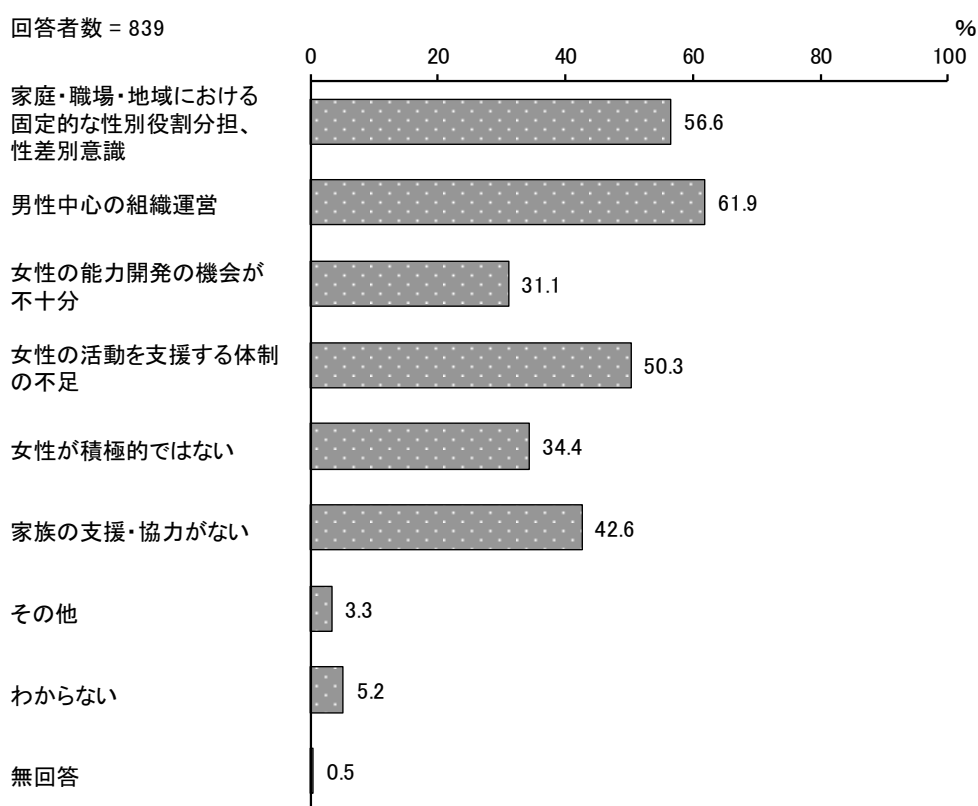
### 3 男女の意思決定について

#### (1) 政策などの決定の場への女性の参画状況が低い理由

問3. 豊橋市では、現在、政策や方針決定の場への女性の参画状況が男性よりも低い状況にあります。その理由について次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「男性中心の組織運営」の割合が61.9%と最も高く、次いで「家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識」の割合が56.6%、「女性の活動を支援する体制の不足」の割合が50.3%となっている。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識」「男性中心の組織運営」「女性の活動を支援する体制の不足」「家族の支援・協力がいない」の割合が高い。



【性別】

単位：%

区分	回答者数(件)	家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識	男性中心の組織運営	女性の能力開発の機会が不十分	女性の活動を支援する体制の不足	女性が積極的ではない	家族の支援・協力がいない	その他	わからない	無回答
女性	446	61.4	66.6	32.3	54.0	35.0	49.6	3.6	4.7	0.4
男性	390	50.8	56.4	29.5	46.2	33.8	34.4	3.1	5.9	0.5

性・年代別で見ると、他に比べ、女性 20 代で「家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識」の割合が、女性 30 代で「女性が積極的ではない」の割合が高い。

【性・年代別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識	男性中心の組織運営	女性の能力開発の機会が不十分	女性の活動を支援する体制の不足	女性が積極的ではない	家族の支援・協力が無い	その他	わからない	無回答
女性 10代	26	65.4	65.4	38.5	57.7	19.2	23.1	3.8	3.8	—
20代	55	<u>72.7</u>	76.4	23.6	63.6	29.1	40.0	7.3	—	—
30代	62	67.7	69.4	24.2	66.1	<u>46.8</u>	50.0	6.5	3.2	—
40代	68	67.6	64.7	35.3	47.1	30.9	58.8	1.5	2.9	—
50代	84	60.7	73.8	36.9	48.8	38.1	57.1	2.4	4.8	—
60代	89	56.2	67.4	38.2	52.8	34.8	50.6	4.5	3.4	1.1
70代以上	62	45.2	46.8	27.4	48.4	35.5	46.8	—	14.5	1.6
男性 10代	24	50.0	41.7	20.8	37.5	8.3	12.5	—	25.0	—
20代	32	53.1	53.1	25.0	37.5	37.5	28.1	—	9.4	—
30代	58	50.0	56.9	17.2	44.8	37.9	39.7	8.6	3.4	—
40代	54	59.3	55.6	29.6	38.9	35.2	48.1	3.7	1.9	—
50代	64	46.9	59.4	35.9	48.4	28.1	28.1	3.1	1.6	1.6
60代	70	58.6	64.3	31.4	55.7	40.0	38.6	—	4.3	—
70代以上	86	43.0	53.5	36.0	48.8	36.0	32.6	3.5	8.1	—

豊橋市の令和元年の調査との比較でみると、女性で「女性が積極的ではない」を除く、全ての項目で割合が増加している。

【経年比較】

単位：％

	担、性差別的意識 る固定的な性別役割分 家庭・職場・地域におけ	男性中心の組織運営	女性の能力開発の機会 が不十分	女性の活動を支援する 体制の不足	女性が積極的ではない	家族の支援・協力が ない	その他	わからない	無回答
豊橋市（R03.8）	56.6	61.9	31.1	50.3	34.4	42.6	3.3	5.2	0.5
女性	61.4	66.6	32.3	54.0	35.0	49.6	3.6	4.7	0.4
男性	50.8	56.4	29.5	46.2	33.8	34.4	3.1	5.9	0.5
豊橋市（R01.8）	51.8	58.0	27.9	50.0	34.0	41.0	3.3	4.7	1.1
女性	59.2	58.8	29.3	50.3	35.9	48.5	3.5	3.5	1.0
男性	41.0	57.6	26.0	49.0	32.7	30.2	2.8	6.6	1.4
豊橋市（H28.8）	44.1	55.7	30.7	48.6	36.0	35.8	2.8	5.4	0.5
女性	48.8	54.1	33.2	51.5	34.8	46.1	2.9	4.9	0.4
男性	38.8	57.9	27.3	44.7	37.6	22.5	2.9	6.0	0.5
豊橋市（H26.9）	45.2	52.8	25.1	45.9	31.1	31.8	3.4	5.9	2.9
女性	48.3	51.1	26.2	45.3	32.3	36.5	2.7	5.6	4.0
男性	41.6	54.6	23.9	47.0	28.9	26.2	4.1	6.2	1.7

## 4 家庭・仕事・地域活動のバランスについて

### (1) 平日・休日の活動時間

問4. 次のA~Gの項目について、1日平均でどのくらいの時間をあてていますか。平日と休日、それぞれについて数字を記入してください。(まったくしない場合は「0」を、30分する場合は「0.5」のように記入してください)

平日では、男女とも『A 仕事(収入の得られる労働)』の時間が最も長くなっている。

休日では、男性では『G 趣味・レジャーなどの余暇活動』が最も長いのに対し、女性では『B 家事(掃除・洗濯・炊事など)』が最も長くなっている。

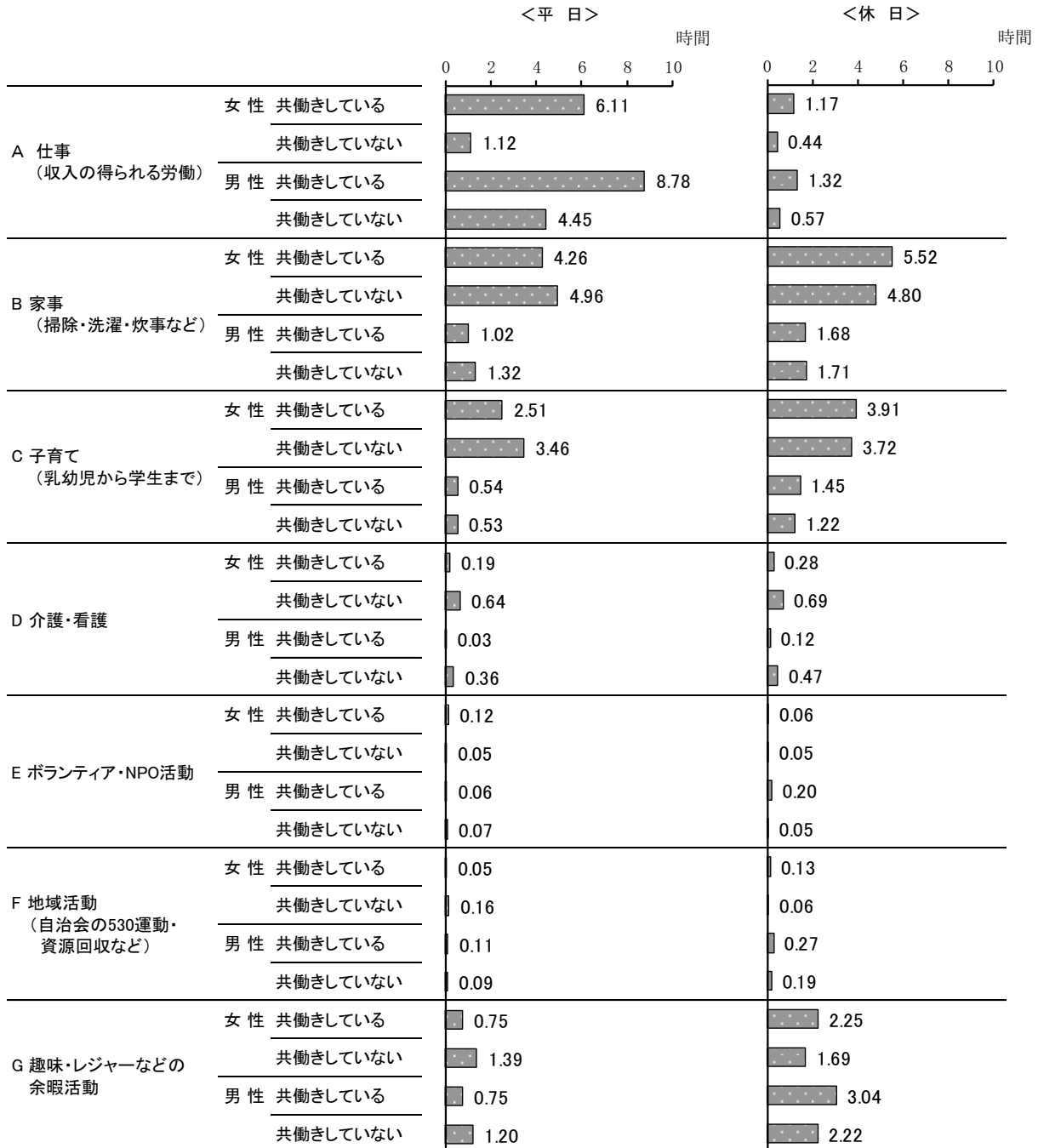
単位：時間

	平日			休日		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
A 仕事(収入の得られる労働)	5.29	4.45	6.25	1.03	1.03	1.04
B 家事(掃除・洗濯・炊事など)	2.41	3.46	1.21	2.92	4.03	1.63
C 子育て(乳幼児から学生まで)	1.15	1.84	0.38	1.72	2.42	0.93
D 介護・看護	0.26	0.31	0.19	0.31	0.35	0.25
E ボランティア・NPO活動	0.08	0.09	0.07	0.08	0.05	0.11
F 地域活動(自治会の530運動・資源回収など)	0.08	0.08	0.09	0.15	0.09	0.22
G 趣味・レジャーなどの余暇活動	1.28	1.16	1.41	2.93	2.43	3.45

性・共働き別でみると、『B 家事（掃除・洗濯・炊事など）』については、女性の共働きしている人は平日 4.26 時間、休日 5.52 時間で休日の方が長い。男性の共働きしている人は平日 1.02 時間、休日 1.68 時間で女性に比べ短い。また、女性の共働きしていない人では、平日 4.96 時間、休日 4.80 時間でほとんど差がありません。

『C 子育て（乳幼児から学生まで）』については、男性の共働きしている人は平日 0.54 時間、休日 1.45 時間で、共働きしていない人の平日 0.53 時間、休日 1.22 時間と比べ、長い。

【性・共働き別】



※ 女性 共働きしている 回答者数 = 167 : 共働きしていない 回答者数 = 106

※ 男性 共働きしている 回答者数 = 137 : 共働きしていない 回答者数 = 122

豊橋市の令和元年調査との比較でみると、平日では全ての項目で時間が短くなっている。休日では『B 家事（掃除・洗濯・炊事等）』の時間が長くなり、『C 子育て（乳幼児から学生まで）』の時間が短くなっている。

【経年比較】

<平日>

単位：時間

	A 仕事 （収入の得られる労働）	B 家事 （掃除・洗濯・炊事等）	C 子育て （乳幼児から学生まで）	D 介護・看護	E ボランティア・NPO活動	F 地域活動 （自治会の530運動・資源回収など）	G 趣味・レジャーなどの余暇活動
豊橋市（R03.8）	5.29	2.41	1.15	0.26	0.08	0.08	1.28
女性	4.45	3.46	1.84	0.31	0.09	0.08	1.16
男性	6.25	1.21	0.38	0.19	0.07	0.09	1.41
豊橋市（R01.8）	5.80	2.47	1.86	0.28	0.12	0.25	1.31
女性	4.90	3.39	2.85	0.41	0.15	0.29	1.20
男性	7.04	1.00	0.33	0.08	0.06	0.20	1.50
豊橋市（H28.8）	5.56	2.54	1.32	0.36	0.12	0.18	1.27
女性	4.56	3.78	2.04	0.52	0.14	0.21	1.24
男性	6.83	0.87	0.41	0.17	0.04	0.13	1.31
豊橋市（H26.9）	5.35	2.34	1.70	0.31	0.06	0.17	1.26
女性	4.34	3.67	2.87	0.40	0.07	0.17	1.23
男性	6.45	0.74	0.39	0.17	0.05	0.17	1.31



<休日>

単位：時間

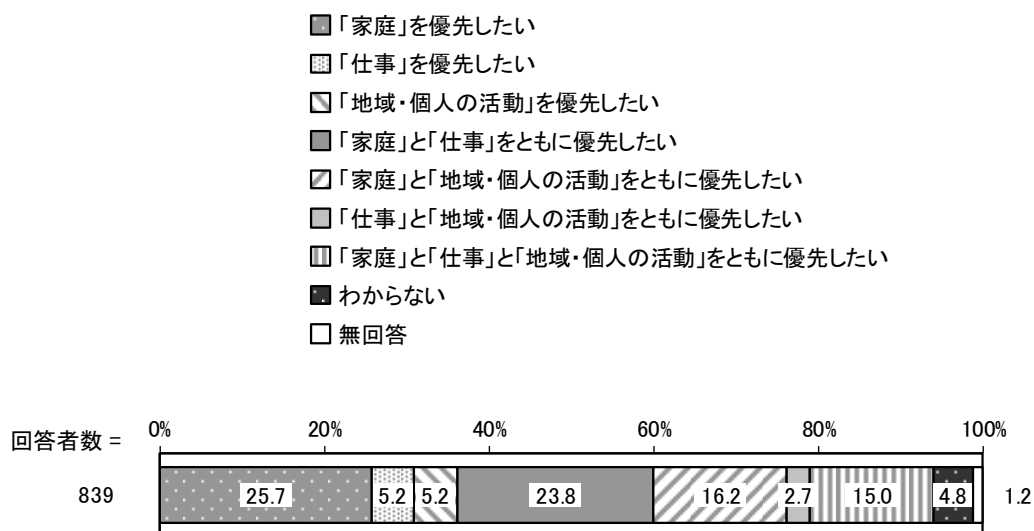
	A 仕事 (収入の得られる労働)	B 家事 (掃除・洗濯・炊事等)	C 子育て (乳幼児から学生まで)	D 介護・看護	E ボランティア・NPO活動	F 地域活動 (自治会の530運動・資源回収など)	G 趣味・レジャーなどの余暇活動
豊橋市 (R03.8)	1.03	2.92	1.72	0.31	0.08	0.15	2.93
女性	1.03	4.03	2.42	0.35	0.05	0.09	2.43
男性	1.04	1.63	0.93	0.25	0.11	0.22	3.45
豊橋市 (R01.8)	1.20	2.83	2.48	0.29	0.16	0.39	3.16
女性	1.23	3.82	3.43	0.41	0.17	0.37	2.91
男性	1.18	1.32	1.00	0.12	0.17	0.42	3.47
豊橋市 (H28.8)	1.19	2.74	1.89	0.42	0.09	0.32	2.76
女性	1.18	3.87	2.58	0.54	0.09	0.30	2.37
男性	1.18	1.27	1.04	0.28	0.09	0.32	3.25
豊橋市 (H26.9)	1.06	2.66	2.31	0.35	0.05	0.27	2.81
女性	0.96	3.99	3.49	0.49	0.04	0.22	2.55
男性	1.20	1.06	1.00	0.14	0.06	0.34	3.06

## (2) 望ましい家庭・仕事・地域・個人の活動の関係

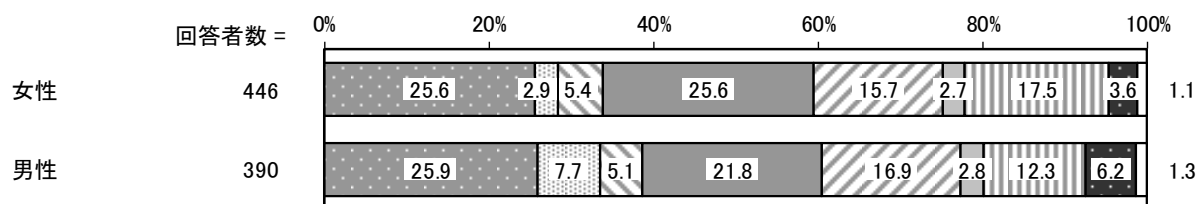
問5. 生活の中での「家庭」「仕事」「地域・個人の活動」の優先度について、希望に最も近いものはどれですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「家庭」を優先したい」の割合が25.7%と最も高く、次いで「家庭」と「仕事」とともに優先したい」の割合が23.8%、「家庭」と「地域・個人の活動」とともに優先したい」の割合が16.2%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。



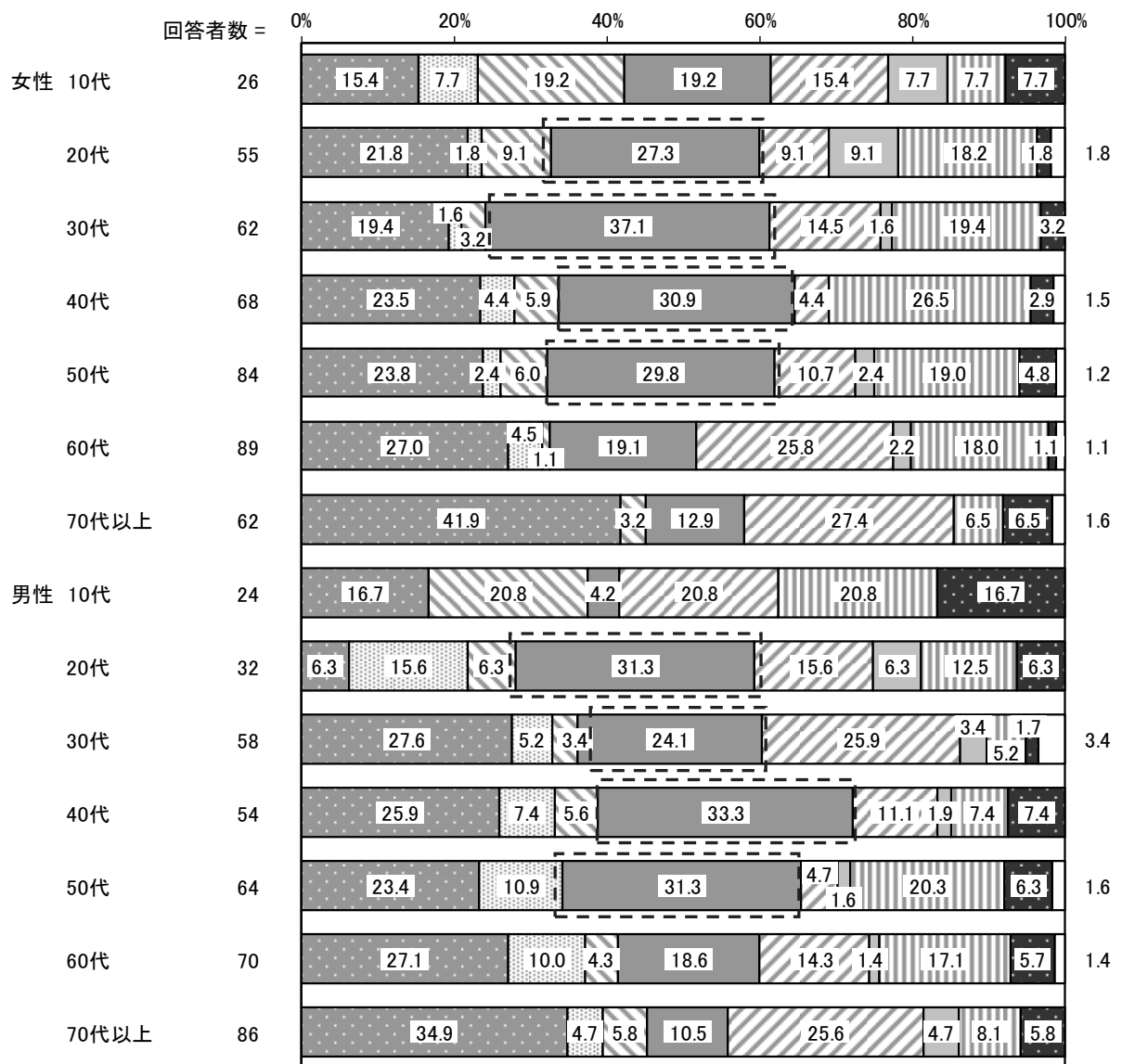
### 【性別】



性・年代別で見ると、20代～50代の男女で「家庭」と「仕事」をともに優先したい」の割合が高い。

【性・年代別】

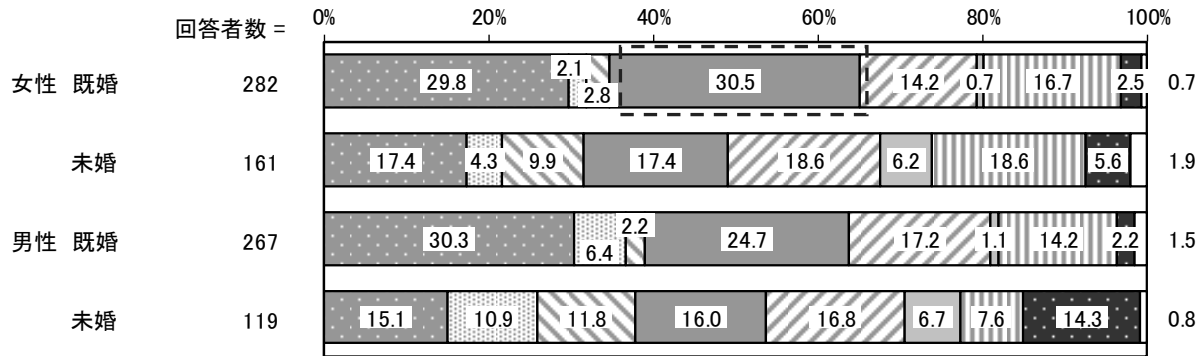
- 「家庭」を優先したい
- 「仕事」を優先したい
- 「地域・個人の活動」を優先したい
- 「家庭」と「仕事」をともに優先したい
- 「家庭」と「地域・個人の活動」をともに優先したい
- 「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先したい
- 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先したい
- わからない
- 無回答



性・婚姻別で見ると、他に比べ、既婚女性で「家庭」と「仕事」をともに優先したい」の割合が高い。

【性・婚姻別】

- 「家庭」を優先したい
- ▨ 「仕事」を優先したい
- ▩ 「地域・個人の活動」を優先したい
- 「家庭」と「仕事」をともに優先したい
- ▨ 「家庭」と「地域・個人の活動」をともに優先したい
- ▩ 「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先したい
- ▨ ▩ 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先したい
- わからない
- 無回答



国・愛知県との比較でみると、国、県に比べ、豊橋市で「家庭」と「仕事」をともに優先したい」の割合が低くなっている。

【国・愛知県との比較・経年比較】

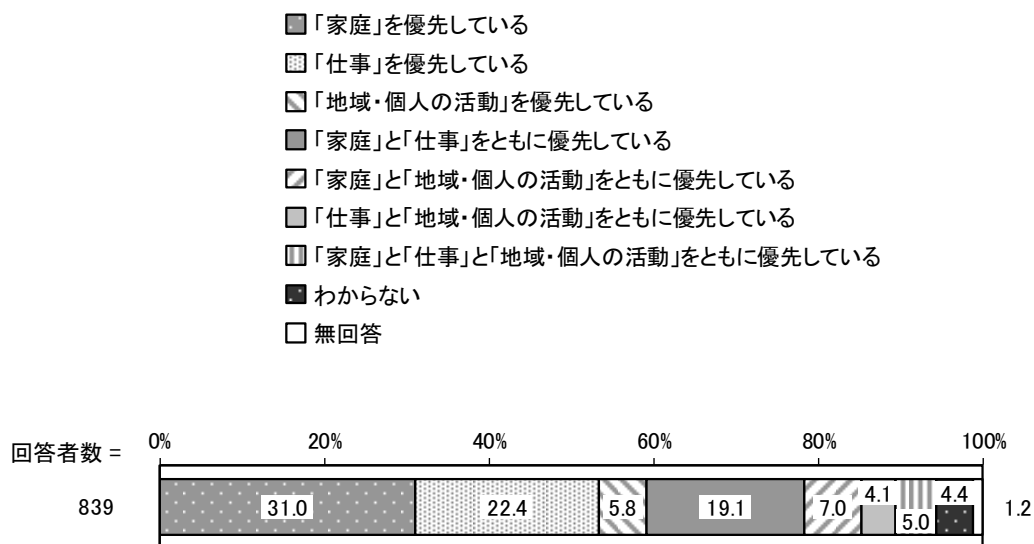
単位：％

	「家庭」を優先したい	「仕事」を優先したい	「地域・個人の活動」を優先したい	「家庭」と「仕事」をともに優先したい	「家庭」と「地域・個人の活動」をともに優先したい	「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先したい	「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先したい	その他	わからない	無回答
国 (R01.9)	28.4	9.9	4.7	28.7	10.1	3.3	13.1	—	1.9	—
女性	35.1	5.0	3.6	27.2	10.9	2.3	14.4	—	1.5	—
男性	20.7	15.5	5.8	30.4	9.3	4.4	11.6	—	2.3	—
愛知県 (R01.8)	22.1	5.3	1.8	35.2	6.1	3.9	18.9	0.7	2.1	3.6
女性	27.6	0.8	1.4	33.4	7.6	3.1	20.3	0.6	2.0	3.1
男性	16.5	10.4	2.4	38.8	4.8	4.8	17.6	0.9	1.3	2.4
豊橋市 (R03.8)	25.7	5.2	5.2	23.8	16.2	2.7	15.0	—	4.8	1.2
女性	25.6	2.9	5.4	25.6	15.7	2.7	17.5	—	3.6	1.1
男性	25.9	7.7	5.1	21.8	16.9	2.8	12.3	—	6.2	1.3
豊橋市 (R01.8)	29.7	6.2	2.7	29.7	13.6	3.0	8.4	—	5.7	0.9
女性	30.9	5.2	2.9	30.7	12.0	2.9	9.7	—	4.9	0.8
男性	28.5	7.2	2.5	28.8	15.5	3.3	6.4	—	6.6	1.1
豊橋市 (H28.8)	36.4	8.5	0.5	36.8	5.0	1.1	4.4	—	5.7	1.6
女性	40.5	4.7	0.5	36.2	4.9	0.7	5.4	—	5.8	1.3
男性	30.9	13.6	0.5	38.0	5.0	1.7	3.3	—	5.5	1.4
豊橋市 (H26.9)	40.1	7.1	0.3	33.8	3.7	1.0	4.1	—	6.2	3.7
女性	44.1	4.0	0.2	33.3	3.5	0.3	3.8	—	5.8	5.0
男性	35.5	10.9	0.4	33.8	4.1	1.7	4.5	—	6.8	2.3
豊橋市 (H23.6)	31.5	6.2	0.6	35.6	7.5	1.2	10.7	—	5.2	1.6
女性	36.7	3.8	0.2	34.8	7.3	0.0	10.4	—	5.3	1.5
男性	24.8	9.1	1.1	36.3	8.0	2.8	11.4	—	5.2	1.3

### (3) 現状における家庭・仕事・地域・個人の活動の関係

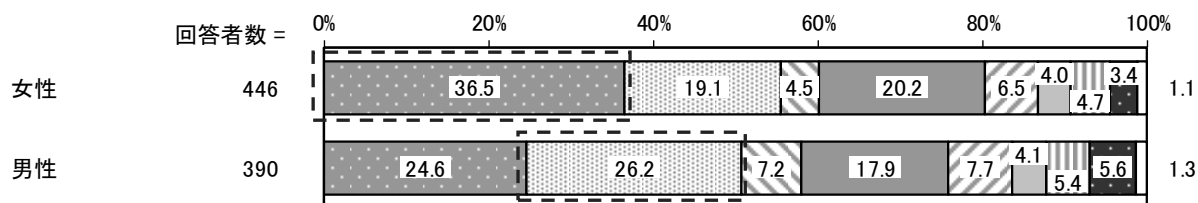
問6. 生活の中での「家庭」「仕事」「地域・個人の活動」の優先度について、現在の状況に最も近いものはどれですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「家庭」を優先している」の割合が31.0%と最も高く、次いで「仕事」を優先している」の割合が22.4%、「家庭」と「仕事」をともに優先している」の割合が19.1%となっている。



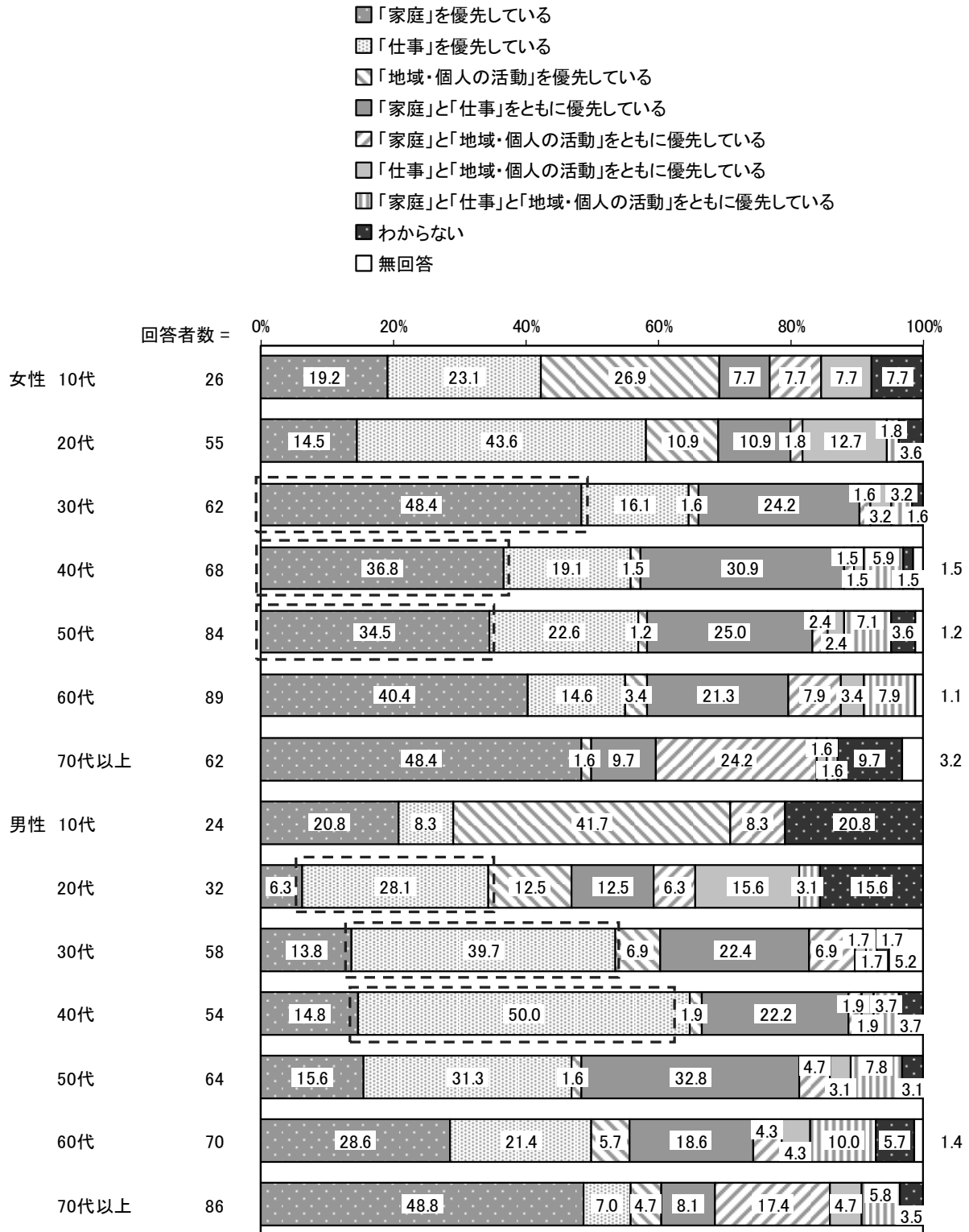
#### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家庭」を優先している」の割合が、女性に比べ、男性で「仕事」を優先している」の割合が高い。



性・年代別でみると、問5の「希望に最も近いもの」では20代～50代の男女で「家庭」と「仕事」をともに優先したいの割合が高かったが、「現実」では女性30代～50代は「家庭」を優先しているの割合が高く、男性20代～40代は「仕事」を優先しているの割合が高い。

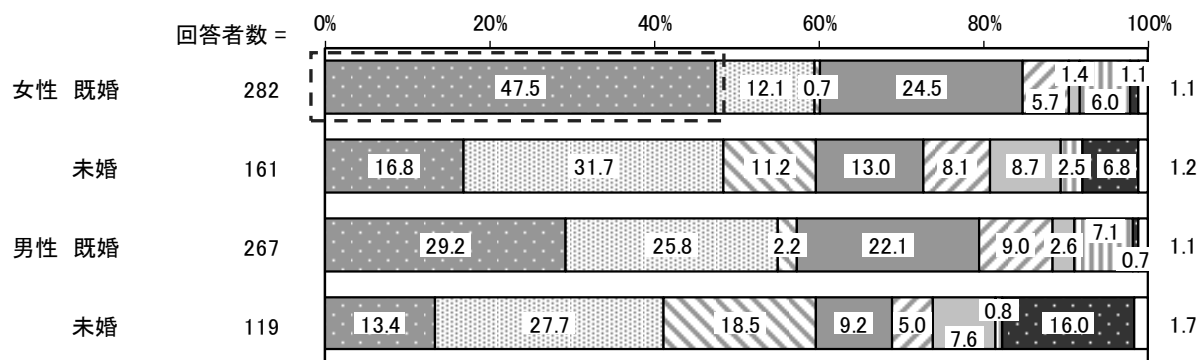
【性・年代別】



性・婚姻別で見ると、他に比べ、既婚女性で「家庭」を優先している」の割合が高い。

【性・婚姻別】

- 「家庭」を優先している
- 「仕事」を優先している
- 「地域・個人の活動」を優先している
- 「家庭」と「仕事」をともに優先している
- 「家庭」と「地域・個人の活動」をともに優先している
- 「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先している
- 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先している
- わからない
- 無回答

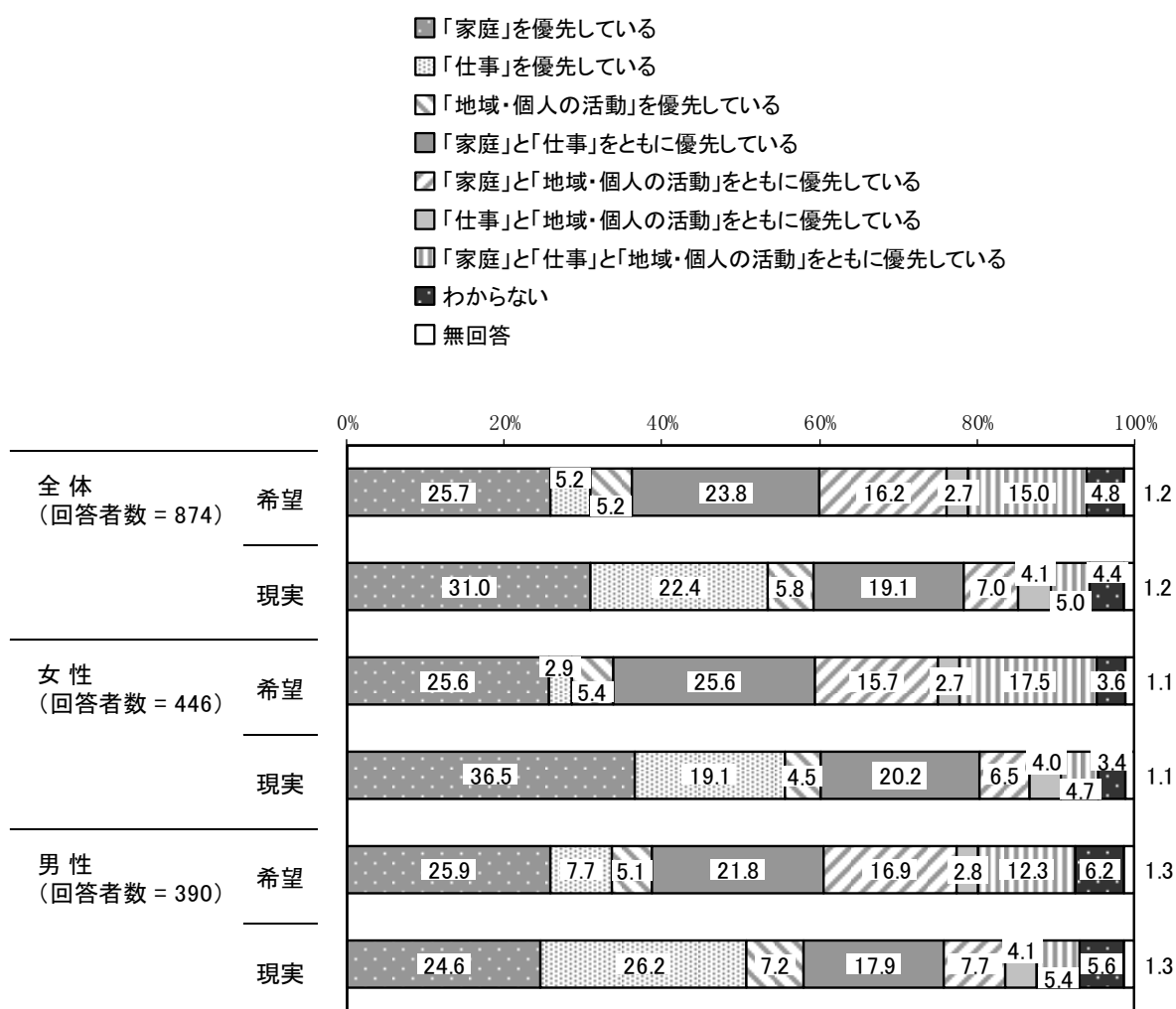




「家庭」、「仕事」、「地域活動」との優先順位の希望と現実について比較すると、全体では、「仕事」を優先」の割合が希望の 5.2%に対し、現実には 22.4%と増加しており、「家庭」と「仕事」をともに優先している」と「家庭」と「地域・個人の活動」をともに優先している」「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先している」において、現実には希望に対し減少している。

性別でみると、男女ともに希望に対し現実の「仕事」を優先している」の割合が増加しており、「家庭」と「仕事」を優先」の割合が減少する傾向は、全体と同様になっているが、女性の「家庭」を優先している」の割合については、希望が 25.6%に対して現実が 36.5%と増加している。

【「家庭」、「仕事」、「地域活動」の関わり方（希望と現実） 性別】



国・愛知県との比較でみると、愛知県に比べ、豊橋市で「家庭」を優先している」の割合が高い。  
 豊橋市の過去の調査との比較でみると、令和元年に比べ、令和3年で「仕事」を優先している」の割合が減少している。

【国・愛知県との比較・経年比較】

単位：%

	「家庭」を優先している	「仕事」を優先している	「地域・個人の活動」を優先している	「家庭」と「仕事」を優先している	「家庭」と「地域・個人の活動」を優先している	「仕事」と「地域・個人の活動」を優先している	「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」すべてを優先している	その他	わからない	無回答
国 (R01.9)	30.3	25.9	4.5	21.0	8.1	3.1	5.1	—	1.9	—
女性	39.9	16.6	3.7	21.0	9.6	2.1	5.3	—	1.6	—
男性	19.4	36.5	5.5	21.0	6.4	4.2	4.8	—	2.3	—
愛知県 (R01.8)	23.5	33.0	1.7	21.1	3.9	2.4	4.4	1.8	4.5	3.8
女性	35.7	19.7	1.2	18.4	5.6	1.6	5.8	2.3	5.8	3.9
男性	9.8	49.9	2.4	24.1	2.0	3.0	3.2	1.3	2.2	2.0
豊橋市 (R03.8)	31.0	22.4	5.8	19.1	7.0	4.1	5.0	4.4	—	1.2
女性	36.5	19.1	4.5	20.2	6.5	4.0	4.7	3.4	—	1.1
男性	24.6	26.2	7.2	17.9	7.7	4.1	5.4	5.6	—	1.3
豊橋市 (R01.8)	29.6	25.2	3.4	22.2	7.8	4.0	3.1	—	3.9	0.8
女性	35.9	22.5	2.7	21.9	6.6	3.1	3.3	—	3.5	0.6
男性	22.7	28.3	4.7	21.6	9.1	5.5	2.5	—	4.4	1.1
豊橋市 (H28.8)	34.8	29.6	0.7	22.2	4.0	1.2	2.4	—	4.3	0.6
女性	42.5	21.6	0.5	23.8	3.8	0.4	2.5	—	4.5	0.4
男性	24.6	40.4	1.0	20.6	4.3	2.4	2.2	—	4.3	0.2
豊橋市 (H26.9)	38.3	26.7	0.5	20.6	2.7	0.8	1.8	—	5.3	3.3
女性	45.9	18.9	0.3	21.7	2.8	—	1.3	—	4.5	4.5
男性	29.7	35.5	0.8	19.0	2.5	1.7	2.3	—	6.4	1.9
豊橋市 (H23.6)	32.5	21.7	0.6	30.3	4.3	1.0	4.1	—	3.6	1.8
女性	42.6	14.6	0.0	29.9	5.5	0.3	2.7	—	3.0	1.5
男性	19.2	31.1	1.5	31.3	3.0	1.9	5.8	—	4.3	1.7

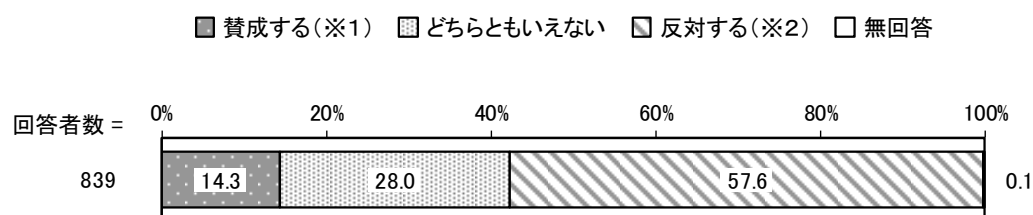
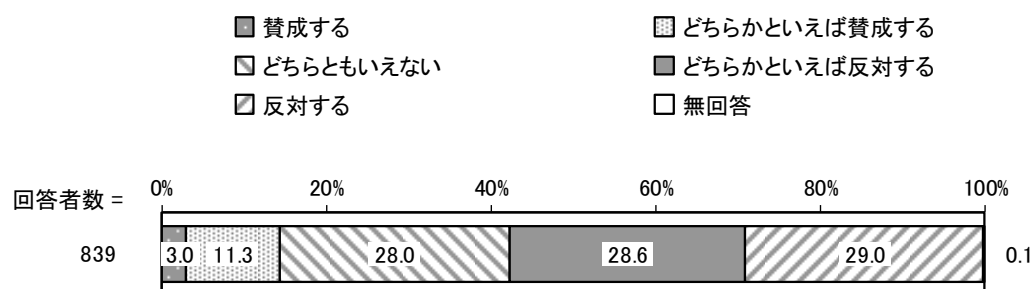
## 5 男女の働き方について

### (1) 性別役割分担意識

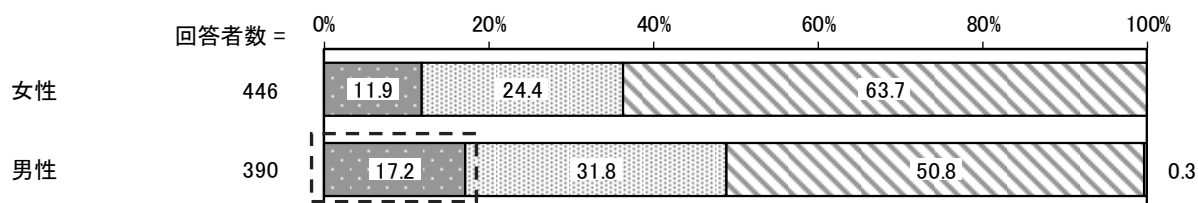
問7. 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

“賛成する（※1）”の割合が14.3%、“反対する（※2）”の割合が57.6%、「どちらともいえない」の割合が28.0%となっている。

性別でみると、女性に比べ、男性で“賛成する（※1）”の割合が高い。



#### 【性別】

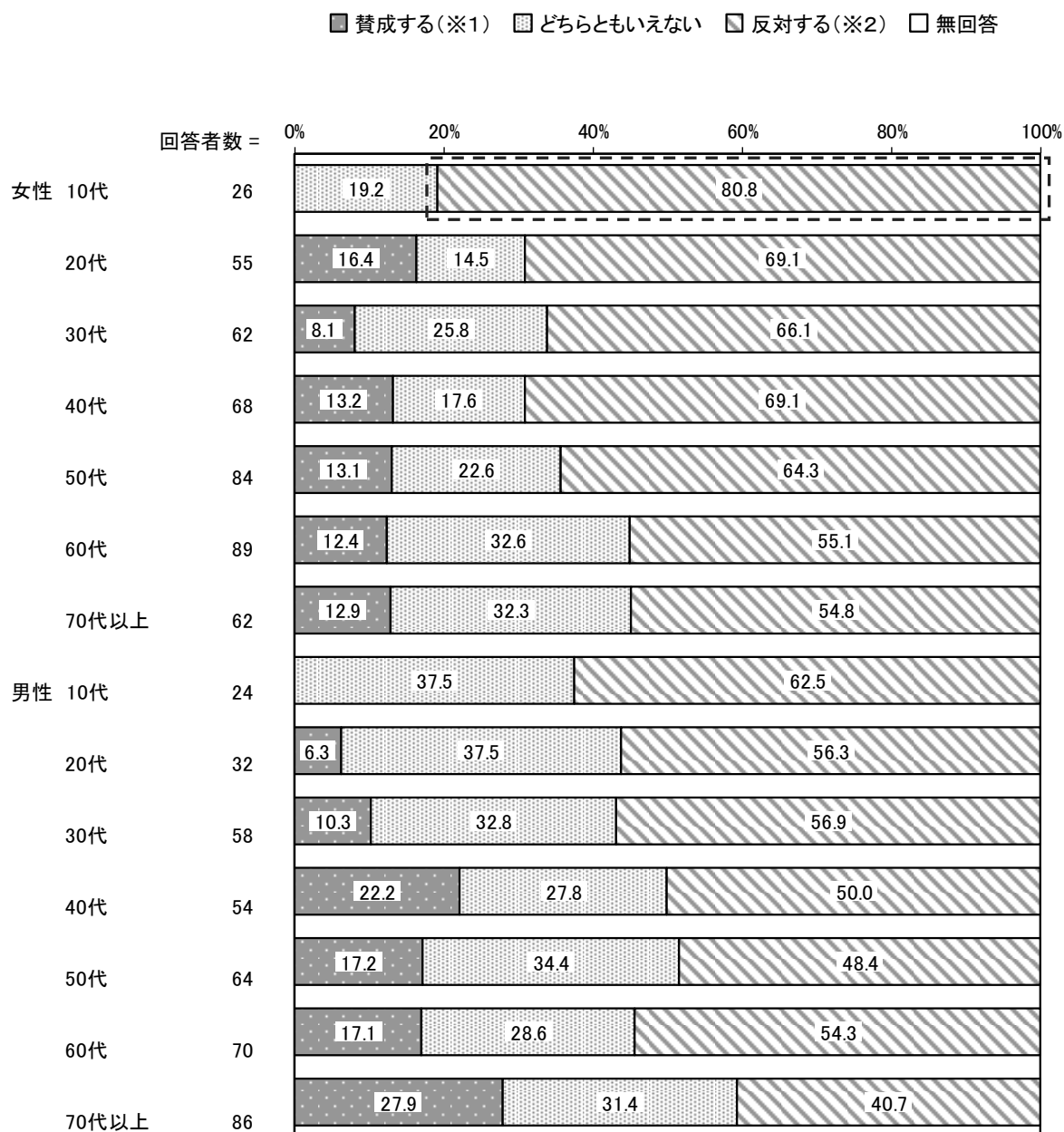


※1: 「賛成する」と「どちらかといえば賛成する」の計

※2: 「どちらかといえば反対する」と「反対する」の計

性・年代別で見ると、他に比べ、女性10代で“反対する（※2）”の割合が高い。

【性・年代別】



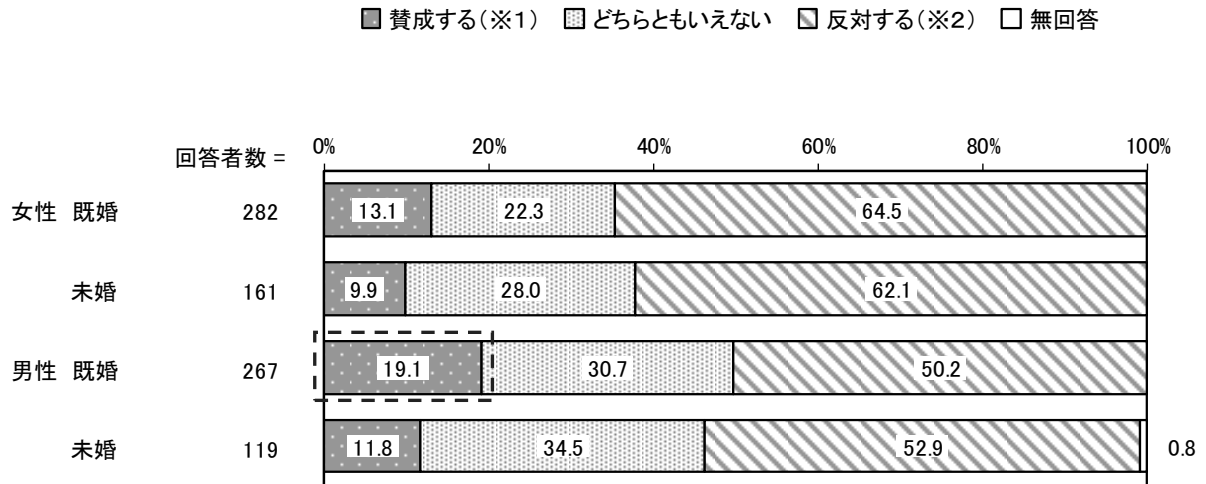
※1：「賛成する」と「どちらかといえば賛成する」の計

※2：「どちらかといえば反対する」と「反対する」の計

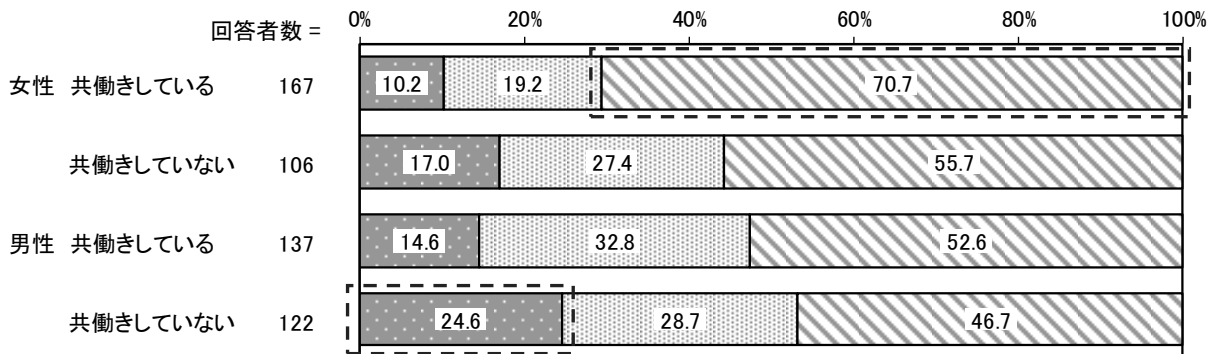
性・婚姻別で見ると、他に比べ、既婚男性で“賛成する（※1）”の割合が高い。

性・共働き別で見ると、他に比べ、共働きしていない男性で“賛成する（※1）”の割合が高い。  
また、共働きしている女性で“反対する（※2）”の割合が高い。

【性・婚姻別】



【性・共働き別】



※1：「賛成する」と「どちらかといえば賛成する」の計

※2：「どちらかといえば反対する」と「反対する」の計

国・愛知県との比較でみると、国・愛知県に比べ、豊橋市で“賛成する”の割合が低くなっている。

豊橋市の過去の調査との比較でみると、過去の調査に比べ、令和3年で“賛成する”の割合が最も低くなっている。

【国・愛知県との比較・経年比較】

単位：％

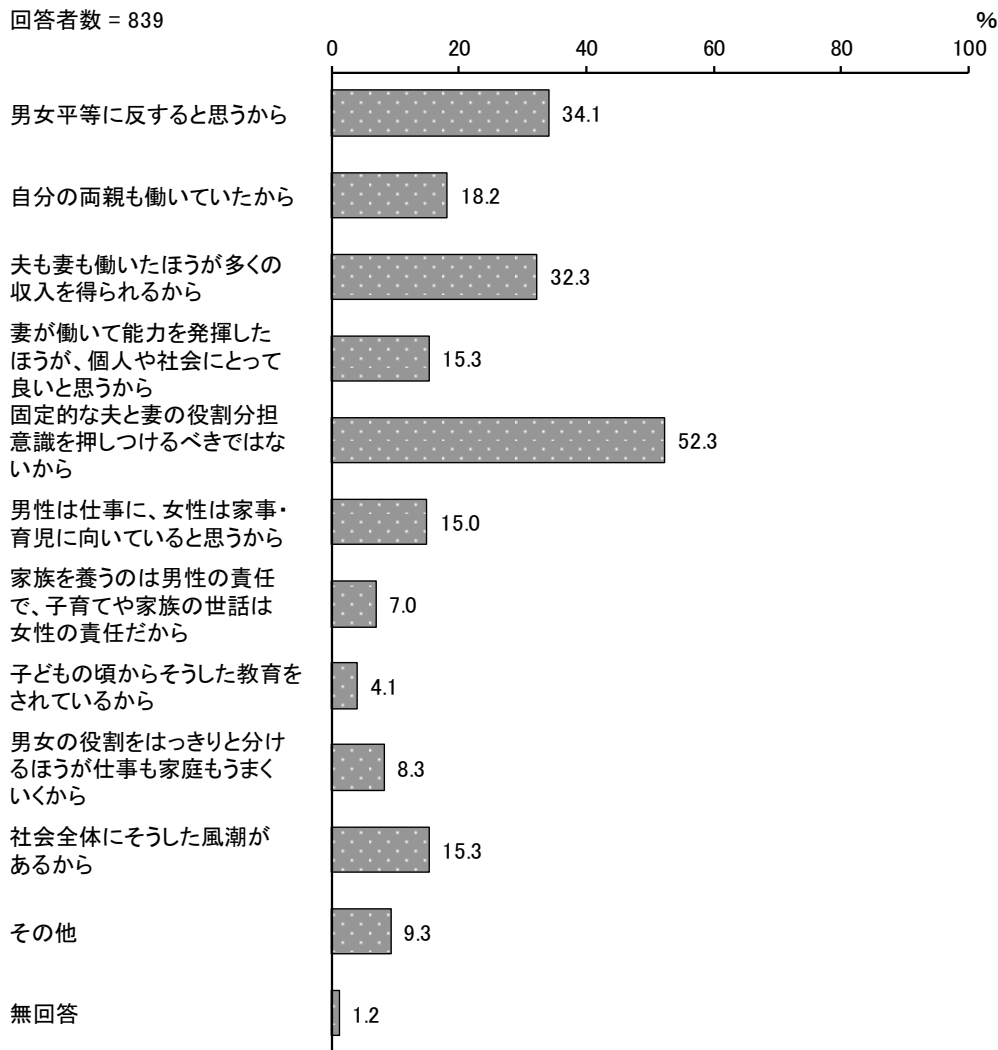
	賛成する そう思う (A)	どちらかといえば賛成する (B)	どちらともいえない	どちらかといえば反対する (C)	反対する そうは思わない (D)	わからない	無回答	賛成する 肯定的 (A+B)	反対する 否定的 (C+D)
国 (R01.9)	7.5	27.5	—	36.6	23.2	5.2	—	35.0	59.8
女性	6.5	24.6	—	38.5	24.9	5.5	—	31.1	63.4
男性	8.6	30.8	—	34.4	21.2	4.9	—	39.4	55.7
愛知県 (R01.8)	5.5	35.2	—	31.6	19.0	6.4	2.2	40.7	50.6
女性	3.7	32.9	—	35.4	20.7	5.3	1.9	36.6	56.1
男性	7.2	39.3	—	27.8	17.6	6.7	1.3	46.5	45.4
豊橋市 (R03.8)	3.0	11.3	28.0	28.6	29.0	—	0.1	14.3	57.6
女性	2.7	9.2	24.4	30.0	33.6	—	—	11.9	63.7
男性	3.3	13.8	31.8	27.2	23.6	—	0.3	17.2	50.8
豊橋市 (R01.8)	3.4	19.0	36.3	22.0	18.5	—	0.8	22.4	40.5
女性	1.4	16.5	35.3	24.1	22.1	—	0.6	17.9	46.2
男性	5.8	23.3	38.2	19.4	12.2	—	1.1	29.1	31.6
豊橋市 (H28.8)	5.3	20.2	42.1	18.4	13.4	—	0.6	25.5	31.8
女性	5.6	17.7	42.2	18.7	15.3	—	0.5	23.3	34.0
男性	4.8	23.7	41.9	17.9	11.2	—	0.5	28.5	29.1
豊橋市 (H26.9)	5.9	23.0	39.2	17.1	12.6	—	2.2	28.9	29.7
女性	4.5	19.4	39.1	20.2	13.9	—	2.8	23.9	34.1
男性	7.4	27.2	39.8	13.4	10.9	—	1.4	34.6	24.3
豊橋市 (H23.6)	7.2	31.3	26.4	12.6	20.7	—	1.9	38.5	33.3
女性	5.1	27.9	27.7	13.3	24.9	—	1.2	33.0	38.2
男性	9.9	35.9	24.8	11.4	15.6	—	2.4	45.8	27.0
豊橋市 (H20.5)	6.4	28.2	28.3	15.1	21.4	—	0.6	34.6	36.5
女性	5.1	23.6	29.6	17.5	24.0	—	0.2	28.7	41.5
男性	8.3	34.5	27.2	11.9	17.5	—	0.6	42.9	29.4
豊橋市 (H17.5)	7.4	31.0	28.3	11.7	19.1	—	2.6	38.4	30.8
女性	5.9	28.7	29.5	13.7	20.0	—	2.3	34.5	33.7
男性	9.8	33.4	26.9	9.1	18.0	—	2.8	43.2	27.1
豊橋市 (H13.8)	9.4	30.8	27.5	13.3	18.3	—	0.6	40.2	31.6
女性	6.7	27.8	27.4	17.0	20.5	—	0.6	34.5	37.5
男性	12.7	33.9	28.7	9.3	15.0	—	0.5	46.6	24.3

## (2) 性別役割分担意識について思う理由

問7-1. 問7で、そう思われるのはなぜですか。

次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「男女平等に反すると思うから」の割合が 34.1%、「夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから」の割合が 32.3%となっている。



性別でみると、男性に比べ、女性で「固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから」「男女平等に反すると思うから」の割合が高い。また、女性に比べ、男性で「男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから」の割合が高い。

【性別】

単位：％

区分	回答者数(件)	男女平等に反すると思うから	自分の両親も働いていたから	夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから	妻が働いて能力を発揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから	固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから	男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから	家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから	子どもの頃からそうした教育をされているから	男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから	社会全体にそうした風潮があるから	その他	無回答
女性	446	37.0	19.3	34.1	16.8	59.9	12.8	5.4	2.9	4.9	15.2	10.8	0.9
男性	390	31.0	16.9	30.0	13.6	43.8	17.7	9.0	5.1	12.3	15.4	7.7	1.5



性・年代別で見ると、他に比べ、男女ともに10代、20代で「男女平等に反すると思うから」「自分の両親も働いていたから」の割合が高い。また、男性40代、男性70代以上で「男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから」の割合が高い。

【性・年代別】

単位：％

区分	回答者数(件)	男女平等に反すると思うから	自分の両親も働いていたから	夫も働いたほうが多くの収入を得られるから	妻が働いて能力を発揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから	固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから	男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから	家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから	子どもの頃からそうした教育をされているから	男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから	社会全体にそうした風潮があるから	その他	無回答
女性 10代	26	53.8	50.0	23.1	15.4	69.2	—	—	—	—	11.5	23.1	—
20代	55	36.4	25.5	36.4	16.4	52.7	10.9	1.8	3.6	7.3	18.2	12.7	—
30代	62	43.5	22.6	40.3	24.2	71.0	17.7	6.5	1.6	9.7	16.1	16.1	—
40代	68	39.7	17.6	41.2	13.2	58.8	14.7	4.4	1.5	4.4	13.2	5.9	—
50代	84	39.3	14.3	28.6	19.0	67.9	10.7	3.6	2.4	2.4	13.1	10.7	—
60代	89	25.8	12.4	30.3	14.6	53.9	10.1	10.1	1.1	1.1	19.1	7.9	3.4
70代以上	62	33.9	16.1	35.5	14.5	50.0	19.4	6.5	9.7	9.7	12.9	8.1	1.6
男性 10代	24	50.0	41.7	16.7	4.2	50.0	8.3	—	—	—	12.5	4.2	4.2
20代	32	28.1	28.1	31.3	15.6	53.1	9.4	6.3	3.1	15.6	12.5	15.6	—
30代	58	24.1	15.5	41.4	12.1	56.9	12.1	3.4	1.7	6.9	12.1	12.1	1.7
40代	54	25.9	18.5	25.9	11.1	42.6	25.9	9.3	3.7	14.8	22.2	13.0	—
50代	64	39.1	18.8	39.1	20.3	35.9	14.1	7.8	3.1	20.3	12.5	4.7	—
60代	70	27.1	11.4	28.6	17.1	51.4	11.4	10.0	5.7	10.0	14.3	8.6	1.4
70代以上	86	31.4	9.3	23.3	10.5	31.4	30.2	16.3	11.6	12.8	18.6	1.2	2.3

性・共働き別でみると、他に比べ、共働きしている女性で「固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから」「男女平等に反すると思うから」の割合が高い。

性別役割分担意識別でみると、他に比べ、男女ともに肯定的で「男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから」の割合が、否定的な女性で「固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから」の割合が高い。

【性・共働き別】

単位：％

区分	回答者数(件)	男女平等に反すると思うから	自分の両親も働いていたから	夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから	妻が働いて能力を発揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから	固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから	男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから	家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから	子どもの頃からそうした教育をされているから	男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから	社会全体にそうした風潮があるから	その他	無回答
女性 共働きしている	167	40.1	16.8	37.7	24.0	67.1	12.6	1.8	1.2	3.0	12.6	9.6	—
共働きしていない	106	32.1	16.0	26.4	8.5	52.8	17.0	9.4	0.9	9.4	17.0	7.5	2.8
男性 共働きしている	137	30.7	16.8	37.2	19.7	48.2	16.8	8.8	4.4	14.6	9.5	5.8	0.7
共働きしていない	122	30.3	9.8	22.1	13.1	42.6	23.8	13.1	8.2	14.8	16.4	9.0	2.5

【性別役割分担意識別】

単位：％

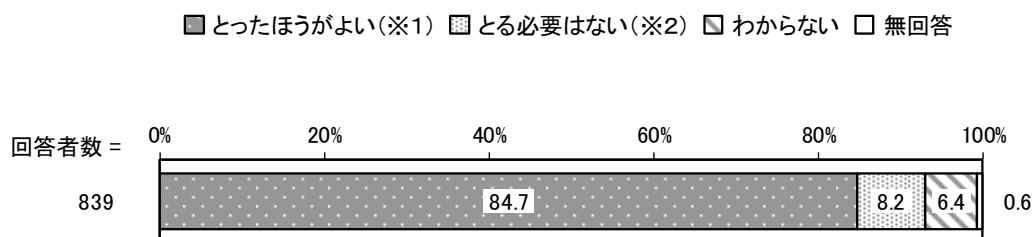
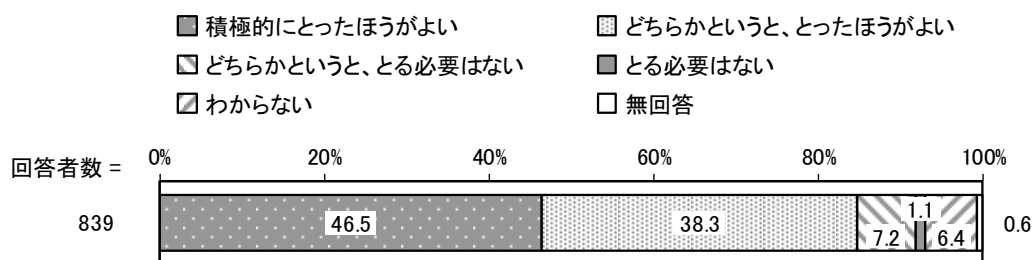
区分	回答者数(件)	男女平等に反すると思うから	自分の両親も働いていたから	夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから	妻が働いて能力を発揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから	固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから	男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから	家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから	子どもの頃からそうした教育をされているから	男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから	社会全体にそうした風潮があるから	その他	無回答
女性 肯定的	53	1.9	1.9	18.9	1.9	3.8	64.2	30.2	11.3	18.9	24.5	5.7	—
どちらとも いえない	109	11.0	17.4	25.7	6.4	47.7	12.8	3.7	2.8	9.2	11.0	24.8	2.8
否定的	284	53.5	23.2	40.1	23.6	75.0	3.2	1.4	1.4	0.7	15.1	6.3	0.4
男性 肯定的	67	4.5	9.0	13.4	3.0	10.4	73.1	38.8	17.9	43.3	20.9	1.5	—
どちらとも いえない	124	12.9	16.9	25.8	5.6	39.5	12.9	5.6	3.2	12.1	15.3	13.7	3.2
否定的	198	51.5	19.7	38.4	22.2	58.1	2.0	1.0	2.0	2.0	13.6	6.1	0.5

### (3) 男性が育児や介護で休みをとることについての考え方

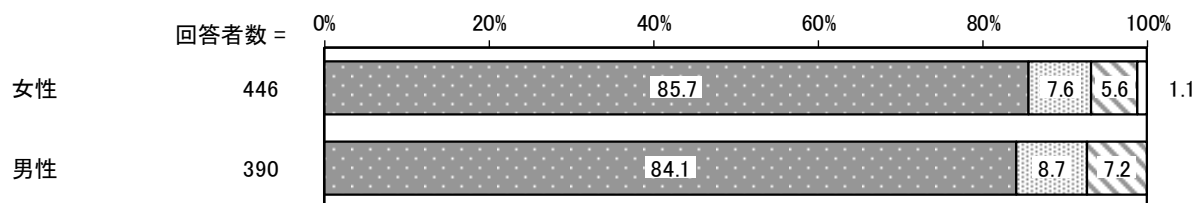
問8. 男性が育児や介護で休みをとることについて、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

“とったほうがよい(※1)”の割合が84.7%、“とる必要はない(※2)”の割合が8.2%、「わからない」が6.4%となっている。

性別でみると、大きな差異はみられない。



#### 【性別】

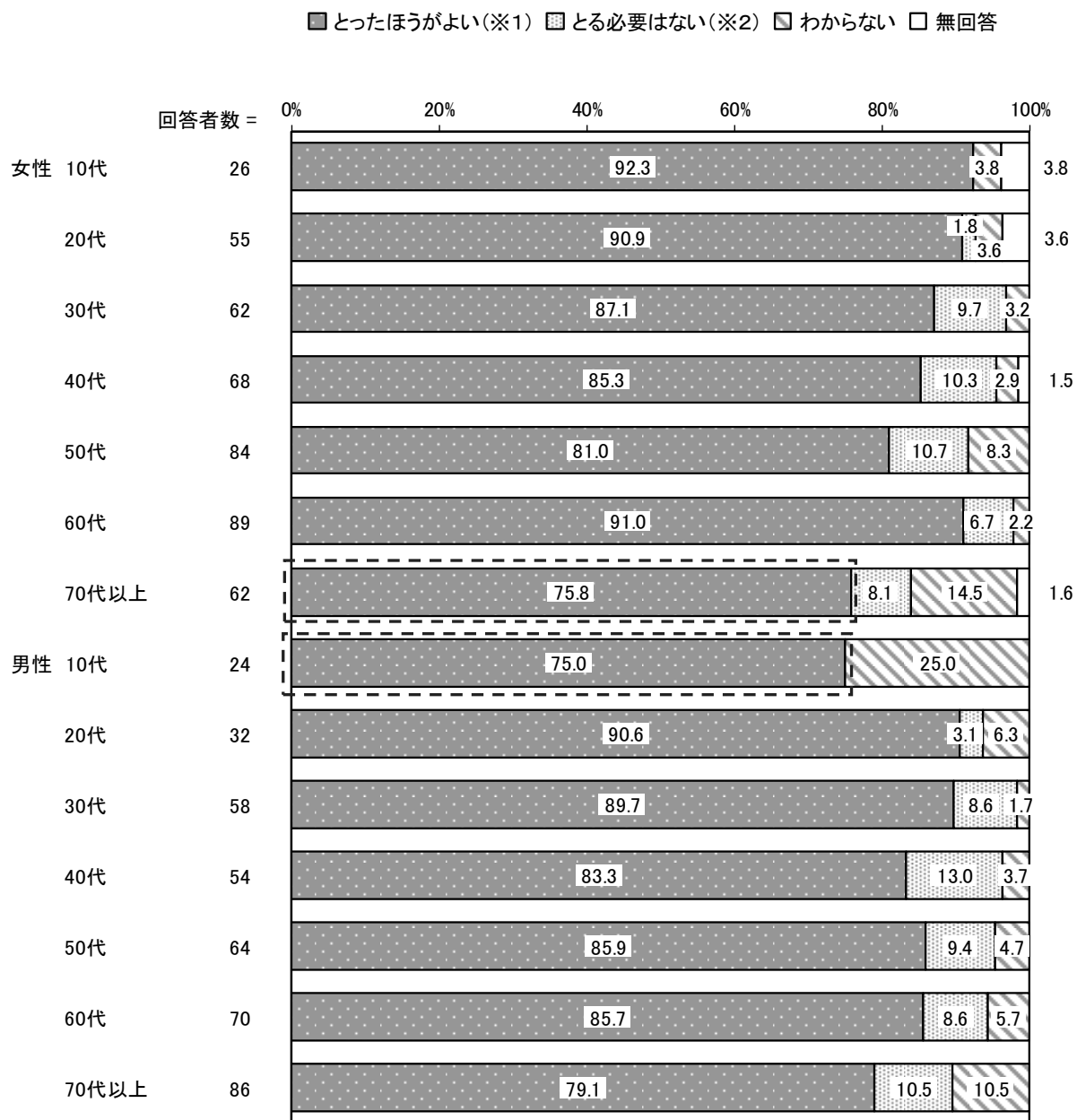


※1: 「積極的にとったほうがよい」と「どちらかというと、とったほうがよい」の計

※2: 「どちらかというと、とる必要はない」と「とる必要はない」の計

性・年代別で見ると、他に比べ、女性 70 代以上、男性 10 代で“とったほうがよい（※1）”の割合が低い。

【性・年代別】



※1：「積極的にとったほうがよい」と「どちらかという、とったほうがよい」の計

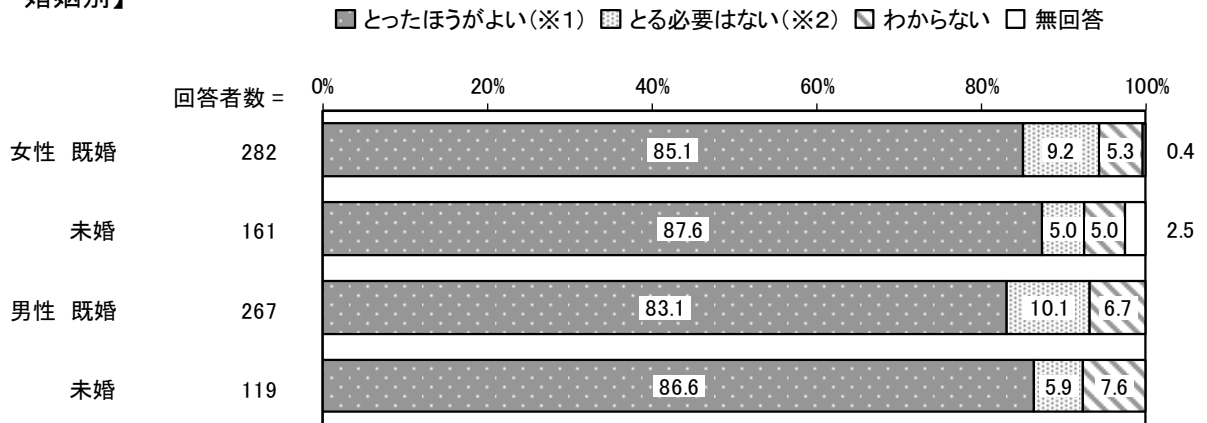
※2：「どちらかという、とる必要はない」と「とる必要はない」の計

性・婚姻別でみると、大きな差異はみられない。

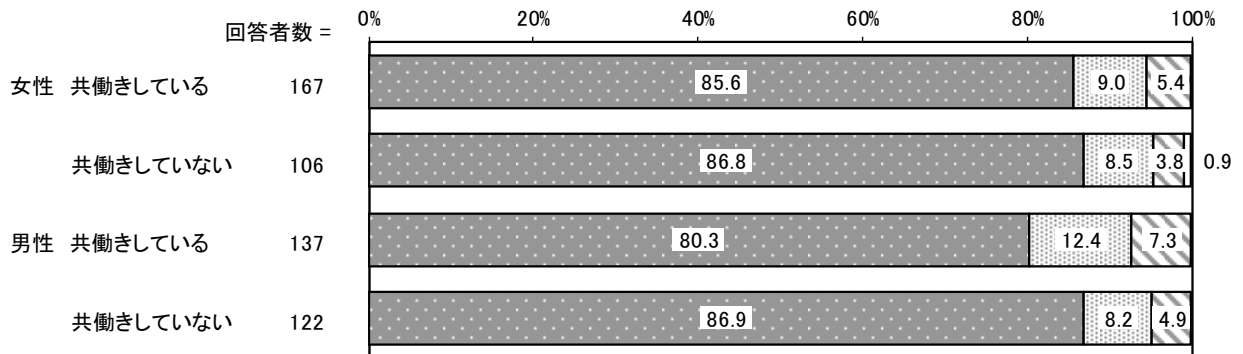
性・共働き別でみると、性・共働き別でみると、他に比べ、共働きしている男性で“とったほうがよい(※1)”の割合が低い。

性別役割分担意識別でみると、男女ともに肯定的で“とる必要はない(※2)”の割合が、否定的で“とったほうがよい(※1)”の割合が高い。

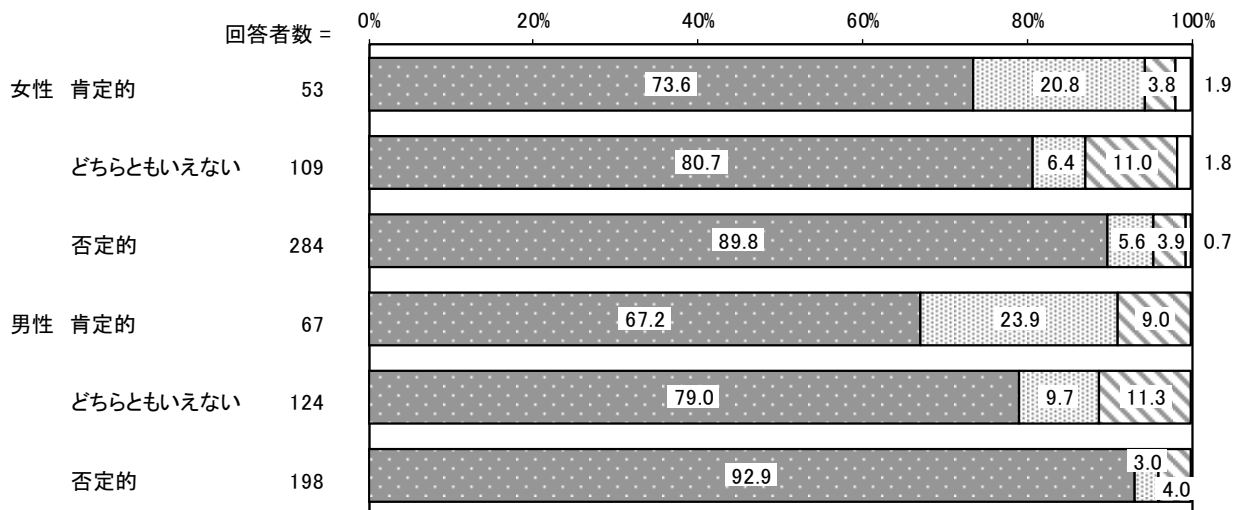
【性・婚姻別】



【性・共働き別】



【性別役割分担意識別】



※1：「積極的にとったほうがよい」と「どちらかという、とったほうがよい」の計

※2：「どちらかという、とる必要はない」と「とる必要はない」の計

豊橋市の過去の調査との比較でみると、“とったほうがよい（※1）”の割合が過去最高となっている。

【経年比較】

単位：％

	積極的にとったほうがよい	どちらかというのとったほうがよい	どちらかというのとる必要はない	とる必要はない	わからない	無回答	とったほうがよい※1	とる必要はない※2
豊橋市 (R03.8)	46.5	38.3	7.2	1.1	6.4	0.6	84.7	8.2
女性	51.1	34.5	6.1	1.6	5.6	1.1	85.7	7.6
男性	41.3	42.8	8.2	0.5	7.2	-	84.1	8.7
豊橋市 (R01.8)	37.4	45.9	6.3	1.8	7.6	1.0	83.3	8.1
女性	40.6	43.9	7.2	1.4	6.2	0.6	84.5	8.6
男性	33.2	49.0	5.0	2.2	8.9	1.7	82.2	7.2
豊橋市 (H28.8)	27.4	47.5	12.0	2.7	8.3	2.0	74.9	14.7
女性	30.6	46.5	10.3	2.5	8.6	1.4	77.1	12.8
男性	23.4	48.8	14.8	2.6	7.9	2.4	72.2	17.4
豊橋市 (H26.9)	29.2	47.5	7.5	2.3	10.5	3.1	76.7	9.8
女性	34.8	43.1	6.3	1.5	10.3	4.0	77.9	7.8
男性	22.7	52.6	8.5	3.3	10.9	1.9	75.3	11.8
豊橋市 (H23.6)	27.3	43.9	14.4	2.7	10.0	1.7	71.2	17.1
女性	29.4	44.8	13.4	1.8	9.0	1.7	74.1	15.3
男性	24.8	42.3	16.0	3.5	11.7	1.7	67.2	19.4

※1：「積極的にとったほうがよい」と「どちらかというのとったほうがよい」の計

※2：「どちらかというのとる必要はない」と「とる必要はない」の計

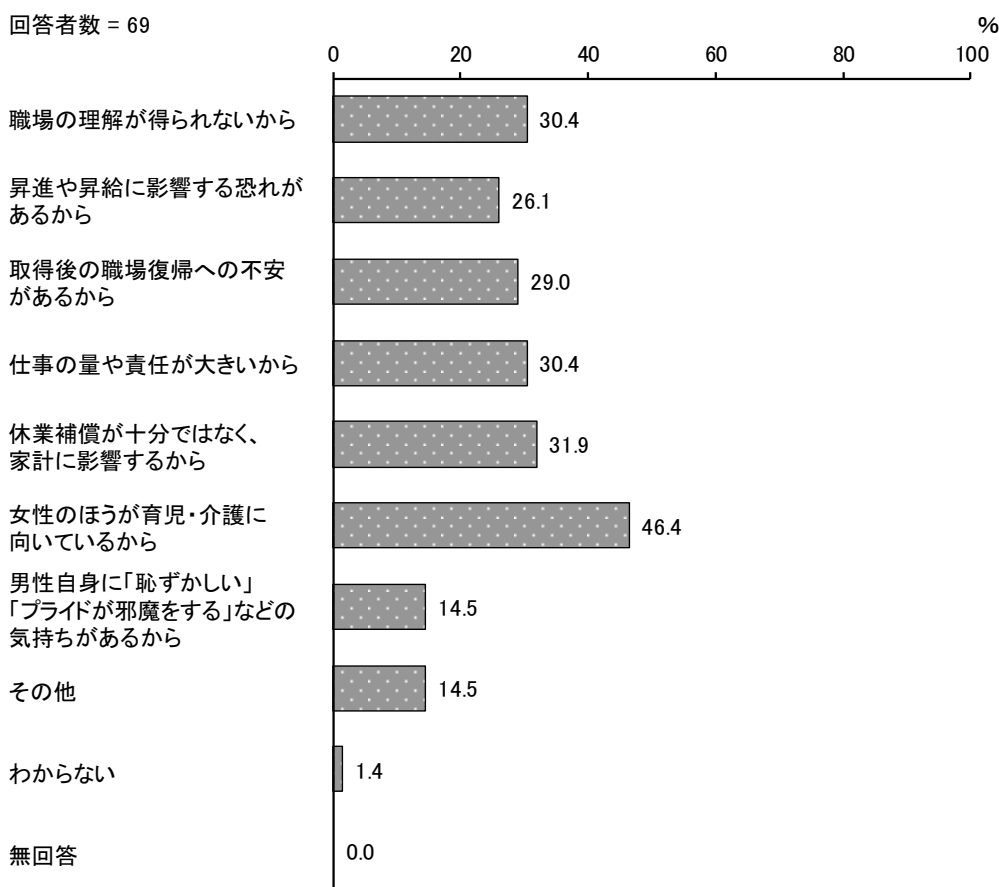
#### (4) 男性の育児や介護での休みについて思う理由

《問8で「どちらかという、とる必要はない」、「とる必要はない」と回答した方にお聞きします。》

問8-1. そう思われる理由を次の中からすべて選んで○をつけてください。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「女性のほうが育児・介護に向いているから」の割合が46.4%と最も高く、次いで「休業補償が十分ではなく、家計に影響するから」の割合が31.9%、「職場の理解が得られないから」、「仕事の量や責任が大きいから」の割合が30.4%となっている。

性別でみると、女性に比べ、男性で「職場の理解が得られないから」「取得後の職場復帰への不安があるから」「仕事の量や責任が大きいから」「休業補償が十分ではなく、家計に影響するから」の割合が高い。



【性別】

単位：%

区分	回答者数(件)	職場の理解が得られないから	昇進や昇給に影響する恐れがあるから	取得後の職場復帰への不安があるから	仕事の量や責任が大きいから	休業補償が十分ではなく、家計に影響するから	女性のほうが育児・介護に向いているから	男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔をする」などの気持ちがあるから	その他	わからない	無回答
女性	34	26.5	26.5	20.6	26.5	23.5	47.1	14.7	26.5	2.9	—
男性	34	35.3	26.5	35.3	35.3	41.2	47.1	11.8	2.9	—	—

有効な回答がありませんでした。

【性・年代別】

単位：％

区分	回答者数(件)	職場の理解が得られないから	昇進や昇給に影響する恐れがあるから	取得後の職場復帰への不安があるから	仕事の量や責任が大きいためから	休業補償が十分ではなく、家計に影響するから	女性のほうが育児・介護に向いているから	男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔をする」などの気持ちがあるから	その他	わからない	無回答
女性 10代	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20代	1	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—
30代	6	33.3	33.3	16.7	66.7	33.3	33.3	33.3	50.0	—	—
40代	7	—	14.3	14.3	—	28.6	57.1	14.3	42.9	—	—
50代	9	22.2	44.4	22.2	—	22.2	44.4	—	33.3	11.1	—
60代	6	50.0	16.7	16.7	50.0	—	33.3	33.3	—	—	—
70代以上	5	20.0	—	20.0	20.0	40.0	80.0	—	—	—	—
男性 10代	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20代	1	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
30代	5	40.0	40.0	80.0	40.0	60.0	20.0	—	—	—	—
40代	7	42.9	28.6	28.6	42.9	42.9	28.6	—	—	—	—
50代	6	16.7	16.7	—	50.0	33.3	33.3	16.7	—	—	—
60代	6	50.0	16.7	33.3	16.7	33.3	66.7	16.7	—	—	—
70代以上	9	22.2	33.3	44.4	33.3	33.3	77.8	22.2	11.1	—	—



豊橋市の令和元年の調査との比較でみると、「取得後の職場復帰への不安があるから」の割合が増加し、「仕事の量や責任が大きいから」の割合が減少している。

【経年比較】

単位：％

	職場の理解が得られないから	昇進や昇給に影響する恐れがあるから	取得後の職場復帰への不安があるから	仕事の量や責任が大きいから	休業補償が十分ではなく、家計に影響するから	女性のほうが育児・介護に向いているから	男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔をする」などの気持ちがあるから	その他	わからない	無回答
豊橋市（R03.8）	30.4	26.1	29.0	30.4	31.9	46.4	14.5	14.5	1.4	-
女性	26.5	26.5	20.6	26.5	23.5	47.1	14.7	26.5	2.9	-
男性	35.3	26.5	35.3	35.3	41.2	47.1	11.8	2.9	-	-
豊橋市（R01.8）	33.8	26.8	23.9	36.6	31.0	42.3	11.3	4.2	-	5.6
女性	31.0	28.6	31.0	28.6	38.1	47.6	9.5	4.8	-	2.4
男性	38.5	19.2	15.4	50.0	15.4	34.6	15.4	0.0	-	11.5
豊橋市（H28.8）	32.2	28.1	30.8	52.1	32.9	41.1	11.6	6.2	-	2.7
女性	28.2	29.6	32.4	45.1	28.2	46.5	14.1	7.0	-	2.8
男性	37.0	27.4	30.1	57.5	38.4	35.6	9.6	5.5	-	2.7
豊橋市（H26.9）	66.1	46.3	46.5	46.5	41.4	16.5	27.2	2.9	5.0	3.0
女性	73.5	50.1	49.1	47.3	46.8	15.9	33.3	3.3	3.2	3.8
男性	57.7	41.9	43.5	45.4	35.1	17.1	19.8	2.5	7.2	1.9
豊橋市（H23.6）	63.9	42.6	44.4	46.3	43.4	17.5	30.9	3.9	2.2	1.4
女性	68.3	45.8	46.4	43.8	47.3	16.1	37.5	3.8	2.0	1.3
男性	58.3	38.4	42.3	50.1	38.2	19.2	21.8	4.1	2.6	1.5

※平成 28 年調査では、「どちらかという」とる必要はない」「とる必要はない」と回答した人が答えている。

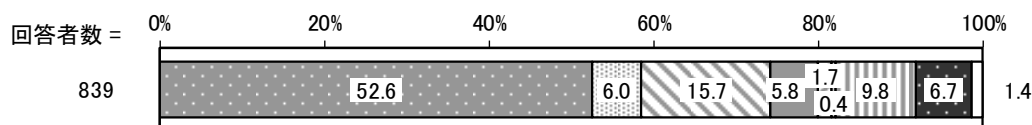
## (5) 女性が仕事をする事について

問9. 女性が仕事をする事について、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

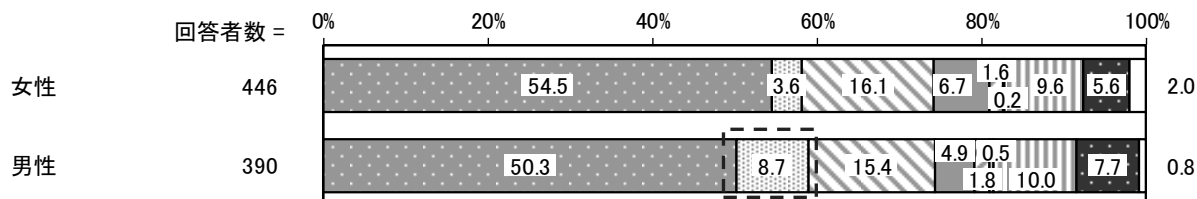
「子どもができたら産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい」の割合が52.6%と最も高く、次いで「子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい」の割合が15.7%となっている。

性別でみると、女性に比べ、男性で「子育てを機に退職し、子どもが育ったらフルタイムの仕事に就くのがよい」の割合が高い。

- 子どもができたら産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい
- ▨ 子育てを機に退職し、子どもが育ったらフルタイムの仕事に就くのがよい
- ▩ 子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい
- 子どもができるまでは仕事をするのがよい
- ▨ 結婚するまでは仕事をするのがよい
- ▩ 女性は仕事をしない方がよい
- ▩ その他
- わからない
- 無回答



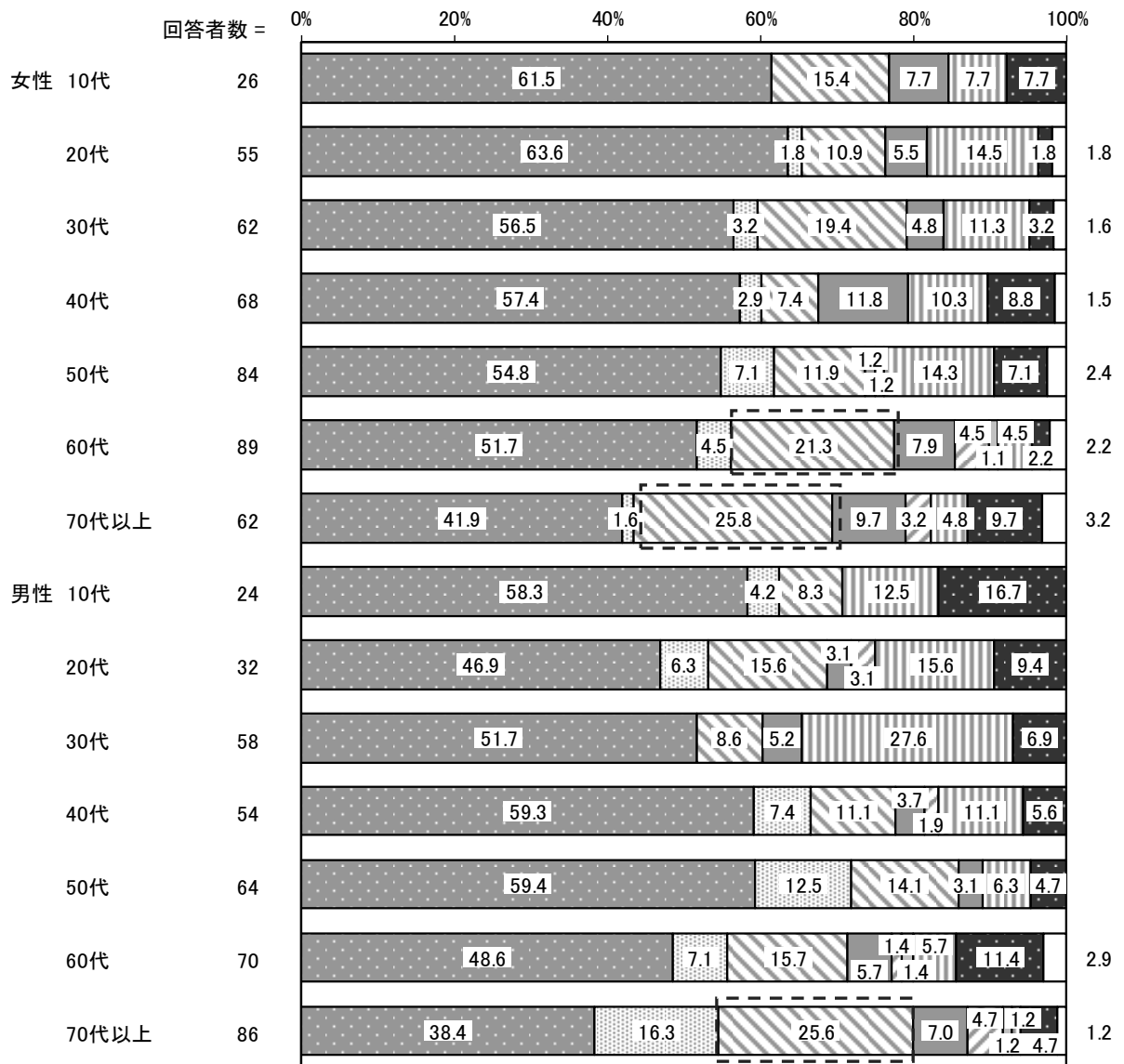
### 【性別】



性・年代別でみると、他に比べ、女性 60 代、女性 70 代以上、男性 70 代以上で「子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい」の割合が高い。

【性・年代別】

- 子どもができれば産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい
- ▨ 子育てを機に退職し、子どもが育ったらフルタイムの仕事に就くのがよい
- ▧ 子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい
- 子どもができるまでは仕事をするのがよい
- ▨ 結婚するまでは仕事をするのがよい
- 女性は仕事をしない方がよい
- ▨ その他
- わからない
- 無回答



豊橋市の令和元年の調査との比較でみると、「子どもができたら産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい」の割合が増加し、「子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい」の割合が減少している。

【経年比較】

単位：%

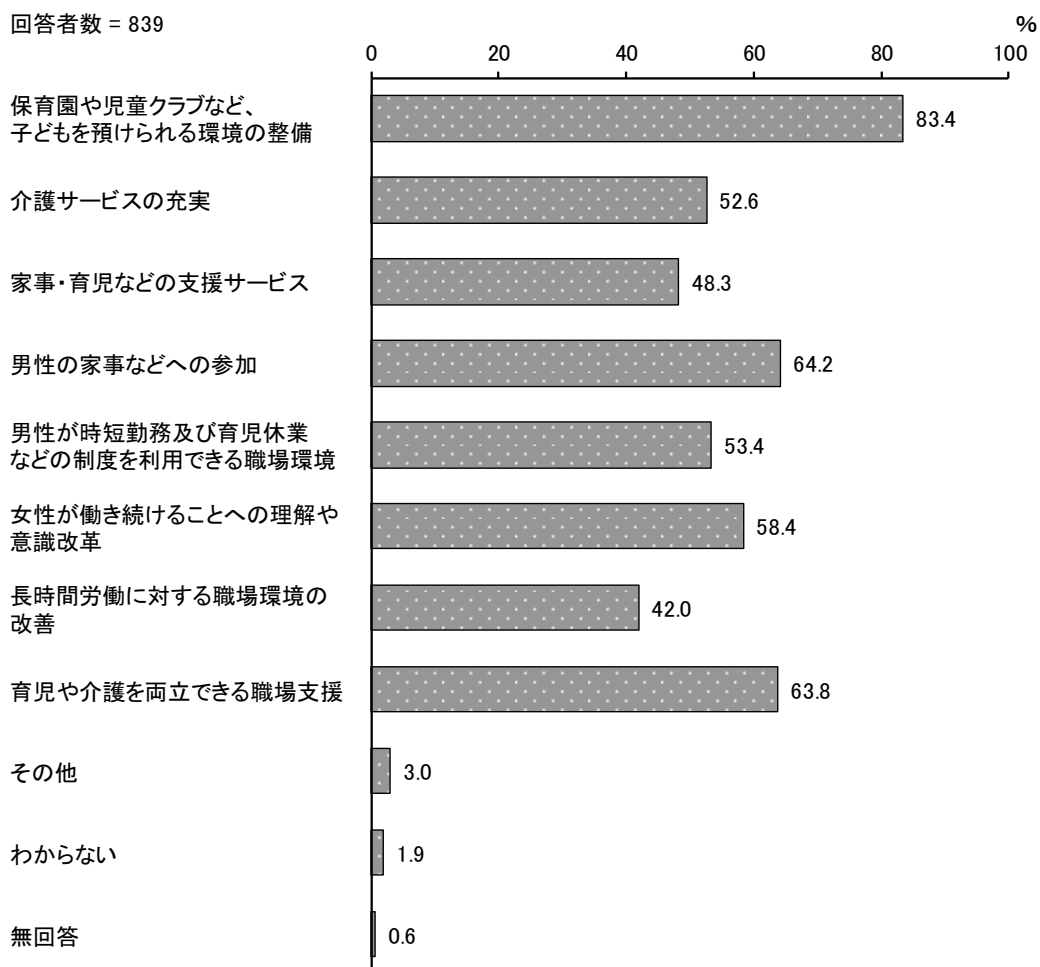
	子どもができたら産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい (平成28年までは)産休・育休などを取得しながらフルタイムで仕事を続けるのがよい	子育てを機に退職し、子どもが育ったらフルタイムの仕事に就くのがよい	子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい	子どもができるまでは仕事をするのがよい	結婚するまでは仕事をするのがよい	女性は仕事をしない方がよい	その他	わからない	無回答
豊橋市 (R03.8)	52.6	6.0	15.7	5.8	1.7	0.4	9.8	6.7	1.4
女性	54.5	3.6	16.1	6.7	1.6	0.2	9.6	5.6	2.0
男性	50.3	8.7	15.4	4.9	1.8	0.5	10.0	7.7	0.8
豊橋市 (R01.8)	49.2	7.9	18.6	5.5	1.4	0.8	8.2	6.8	1.6
女性	50.3	7.0	19.8	5.4	1.4	0.2	9.1	5.4	1.4
男性	47.4	9.4	17.5	6.1	0.8	1.7	6.6	8.6	1.9
豊橋市 (H28.8)	31.9	12.7	24.9	8.6	3.7	0.2	8.4	6.0	3.6
女性	31.2	12.6	24.5	8.8	4.1	0.4	9.7	5.2	3.4
男性	32.1	13.4	25.8	8.4	3.3	0.0	6.7	6.9	3.3
豊橋市 (H26.9)	44.4	10.0	20.6	7.0	2.8	0.5	3.2	6.1	5.3
女性	42.1	9.3	23.2	6.3	3.6	0.3	3.8	5.6	5.6
男性	47.0	10.9	17.5	7.8	1.9	0.8	2.5	6.8	4.9

## (6) 女性が働き続けるために必要と思うこと

問10. 働くことを希望する女性が働き続けるために、家庭、仕事、地域などで必要と思うことについて、次の中からすべて選んで○をつけてください。

「保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」の割合が83.4%と最も高く、次いで「男性の家事などへの参加」の割合が64.2%、「育児や介護を両立できる職場支援」の割合が63.8%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で「介護サービスの充実」「男性の家事などへの参加」「育児や介護を両立できる職場支援」の割合が高い。



【性別】

単位：%

区分	回答者数(件)	保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備	介護サービスの充実	家事・育児などの支援サービス	男性の家事などへの参加	男性が時短勤務及び育児休業などの制度を利用できる職場環境	女性が働き続けることへの理解や意識改革	長時間労働に対する職場環境の改善	育児や介護を両立できる職場支援	その他	わからない	無回答
女性	446	85.0	56.5	48.2	71.7	54.0	62.1	45.3	71.5	3.4	1.8	1.1
男性	390	81.8	48.2	48.2	55.9	52.6	54.4	38.2	55.1	2.3	2.1	—

性・年代別で見ると、他に比べ、女性 20 代、女性 30 代、女性 40 代、女性 60 代で「育児や介護を両立できる職場支援」の割合が高い。

【性・年代別】

単位：%

区分	回答者数(件)	保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備	介護サービスの充実	家事・育児などの支援サービス	男性の家事などへの参加	男性が時短勤務及び育児休業などの制度を利用できる職場環境	女性が働き続けることへの理解や意識改革	長時間労働に対する職場環境の改善	育児や介護を両立できる職場支援	その他	わからない	無回答
女性 10代	26	84.6	46.2	46.2	84.6	65.4	53.8	53.8	65.4	3.8	3.8	—
20代	55	87.3	45.5	54.5	83.6	72.7	65.5	54.5	76.4	3.6	—	1.8
30代	62	88.7	43.5	59.7	80.6	75.8	62.9	53.2	75.8	8.1	1.6	1.6
40代	68	89.7	58.8	45.6	66.2	48.5	63.2	51.5	75.0	4.4	1.5	1.5
50代	84	84.5	65.5	50.0	76.2	48.8	66.7	46.4	63.1	1.2	1.2	—
60代	89	84.3	64.0	43.8	65.2	48.3	62.9	31.5	80.9	2.2	1.1	—
70代以上	62	75.8	58.1	38.7	56.5	32.3	53.2	37.1	59.7	1.6	4.8	3.2
男性 10代	24	91.7	41.7	45.8	50.0	37.5	45.8	37.5	50.0	—	8.3	—
20代	32	71.9	28.1	50.0	68.8	71.9	50.0	40.6	31.3	3.1	6.3	—
30代	58	82.8	50.0	41.4	60.3	70.7	50.0	55.2	65.5	3.4	—	—
40代	54	83.3	38.9	50.0	51.9	51.9	44.4	35.2	51.9	3.7	3.7	—
50代	64	81.3	68.8	56.3	68.8	54.7	59.4	37.5	60.9	3.1	—	—
60代	70	82.9	50.0	51.4	47.1	48.6	58.6	32.9	57.1	2.9	—	—
70代以上	86	82.6	45.3	44.2	51.2	40.7	60.5	33.7	55.8	—	2.3	—

性・婚姻別でみると、他に比べ、既婚女性で「保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」「男性の家事などへの参加」の割合が高い。

性・共働き別でみると、他に比べ、共働きしていない女性で「保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」の割合が、共働きしている女性で「女性が働き続けることへの理解や意識改革」の割合が高い。

【性・婚姻別】

単位：％

区分	回答者数(件)	保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備	介護サービスの充実	家事・育児などの支援サービス	男性の家事などへの参加	男性が時短勤務及び育児休業などの制度を利用できる職場環境	女性が働き続けることへの理解や意識改革	長時間労働に対する職場環境の改善	育児や介護を両立できる職場支援	その他	わからない	無回答
女性 既婚	282	87.6	58.2	47.9	74.1	58.2	63.1	46.1	73.4	2.8	1.1	0.7
未婚	161	81.4	54.0	49.7	68.3	47.8	60.9	44.1	69.6	4.3	3.1	1.2
男性 既婚	267	81.6	51.7	50.2	57.7	53.9	56.9	38.2	56.9	2.2	0.7	—
未婚	119	82.4	40.3	45.4	53.8	50.4	48.7	37.8	52.9	2.5	4.2	—

【性・共働き別】

単位：％

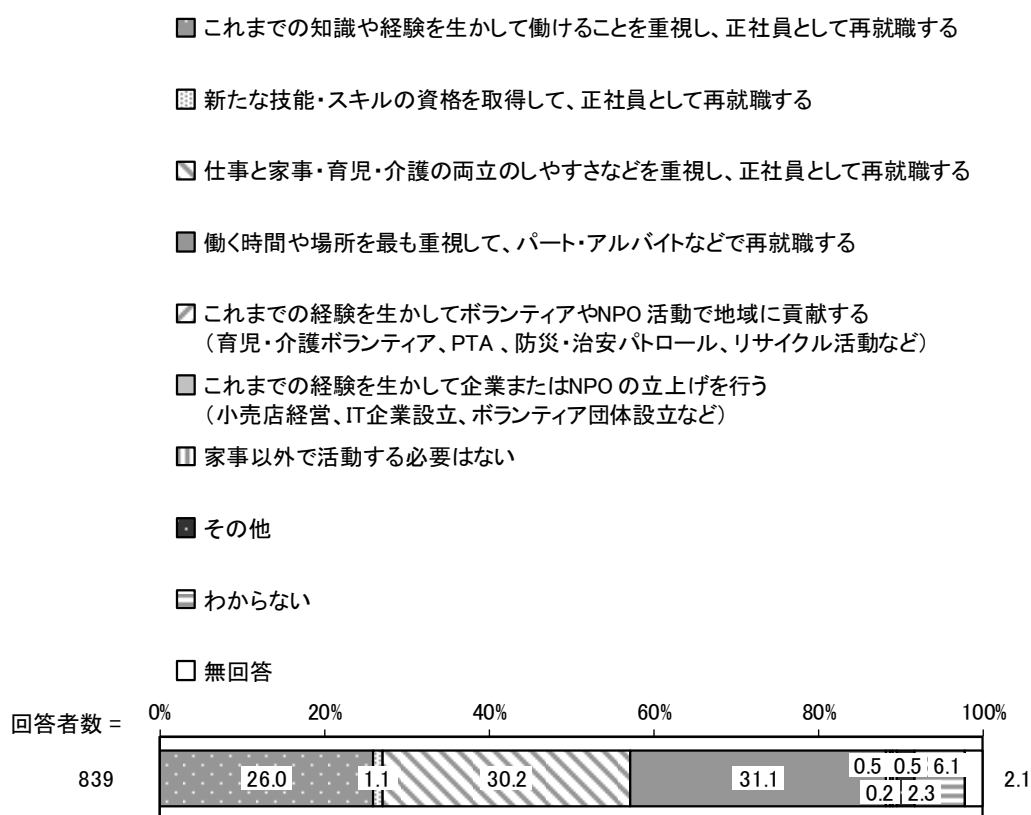
区分	回答者数(件)	保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備	介護サービスの充実	家事・育児などの支援サービス	男性の家事などへの参加	男性が時短勤務及び育児休業などの制度を利用できる職場環境	女性が働き続けることへの理解や意識改革	長時間労働に対する職場環境の改善	育児や介護を両立できる職場支援	その他	わからない	無回答
女性 共働きしている	167	85.0	56.3	47.3	74.3	58.7	67.1	46.7	73.1	1.8	0.6	—
共働きしていない	106	93.4	60.4	50.0	74.5	56.6	56.6	45.3	74.5	3.8	0.9	1.9
男性 共働きしている	137	83.9	54.0	49.6	62.0	53.3	54.0	34.3	54.7	2.2	0.7	—
共働きしていない	122	79.5	46.7	49.2	52.5	54.1	59.0	40.2	58.2	1.6	0.8	—

## (7) 離職した女性が再就職を考えたときに基準にすること

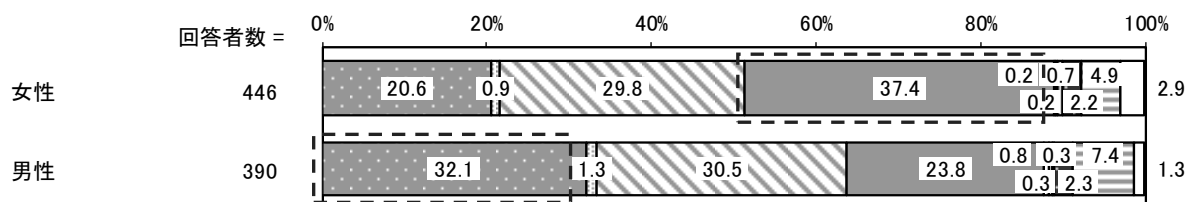
問 1 1. 結婚や出産、育児を理由に仕事をやめる女性があります。離職した女性が、再び社会で活動することを希望する場合に何を基準にしたいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「働く時間や場所を最も重視して、パート・アルバイトなどで再就職する」の割合が 31.1%と最も高く、次いで「仕事と家事・育児・介護の両立のしやすさなどを重視し、正社員として再就職する」の割合が 30.2%、「これまでの知識や経験を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する」の割合が 26.0%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で「働く時間や場所を最も重視して、パート・アルバイトなどで再就職する」の割合が高い。また、女性に比べ、男性で「これまでの知識や経験を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する」の割合が高い。



### 【性別】

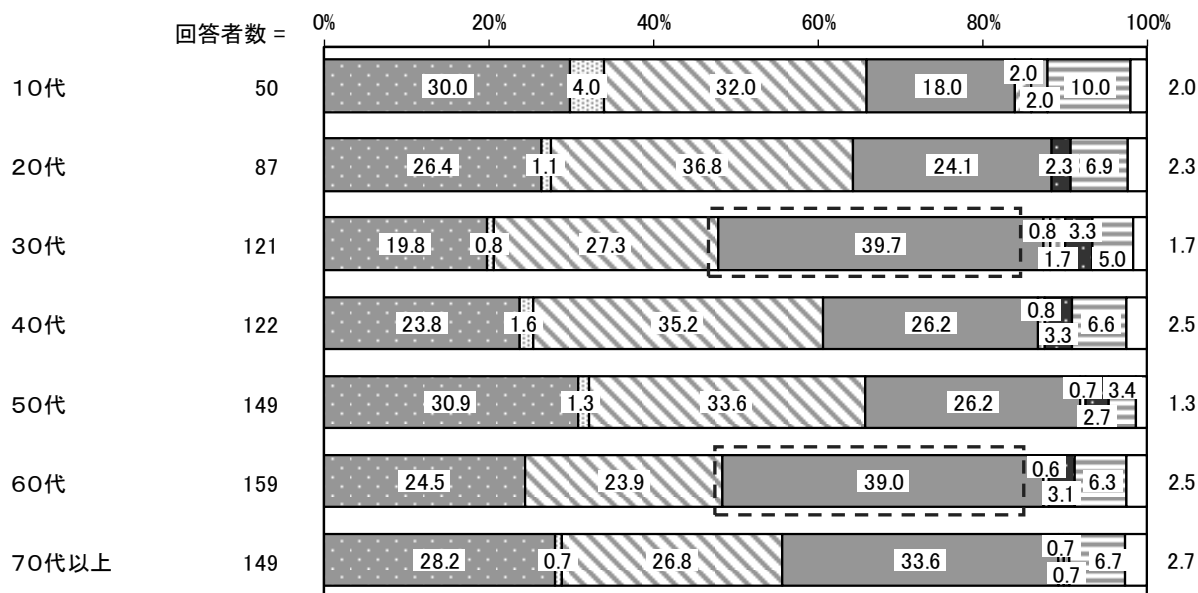




年代別でみると、他に比べ、30代、60代で「働く時間や場所を最も重視して、パート・アルバイトなどで再就職する」の割合が高い。

【年代別】

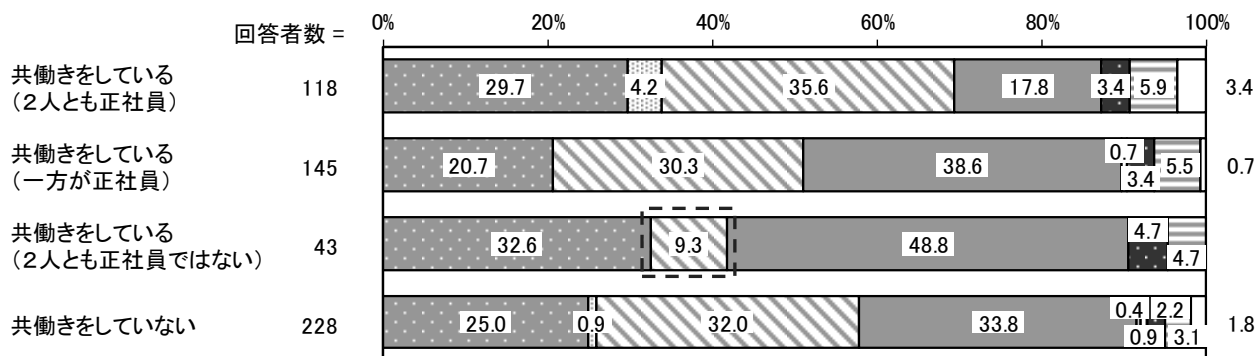
- これまでの知識や経験を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する
- ▨ 新たな技能・スキルの資格を取得して、正社員として再就職する
- ▩ 仕事と家事・育児・介護の両立のしやすさなどを重視し、正社員として再就職する
- 働く時間や場所を最も重視して、パート・アルバイトなどで再就職する
- ▨ これまでの経験を生かしてボランティアやNPO活動で地域に貢献する  
(育児・介護ボランティア、PTA、防災・治安パトロール、リサイクル活動など)
- ▩ これまでの経験を生かして企業またはNPOの立上げを行う  
(小売店経営、IT企業設立、ボランティア団体設立など)
- 家事以外で活動する必要はない
- その他
- わからない
- 無回答



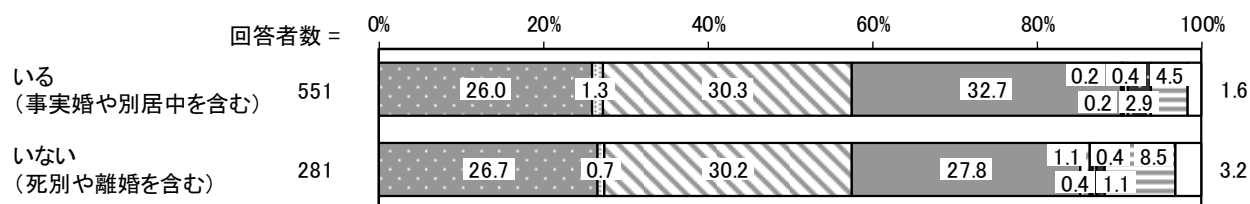
共働き別でみると、他に比べ、共働きをしている（2人とも正社員ではない）で「仕事と家事・育児・介護の両立のしやすさなどを重視し、正社員として再就職する」の割合が低くなっている。配偶者の有無別でみると、大きな差異はみられない。

【共働き別】

- これまでの知識や経験を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する
- 新たな技能・スキルの資格を取得して、正社員として再就職する
- 仕事と家事・育児・介護の両立のしやすさなどを重視し、正社員として再就職する
- 働く時間や場所を最も重視して、パート・アルバイトなどで再就職する
- これまでの経験を生かしてボランティアやNPO活動で地域に貢献する  
(育児・介護ボランティア、PTA、防災・治安パトロール、リサイクル活動など)
- これまでの経験を生かして企業またはNPOの立上げを行う  
(小売店経営、IT企業設立、ボランティア団体設立など)
- 家事以外で活動する必要はない
- その他
- わからない
- 無回答



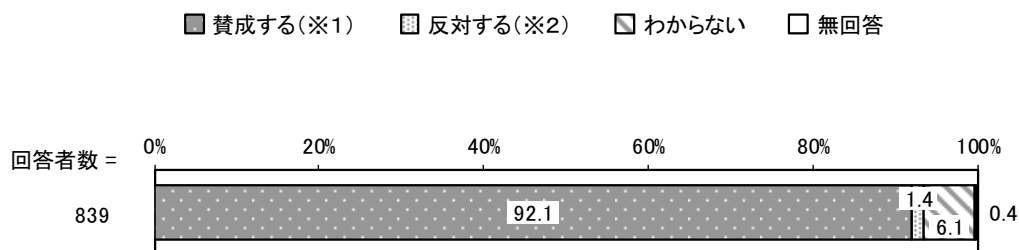
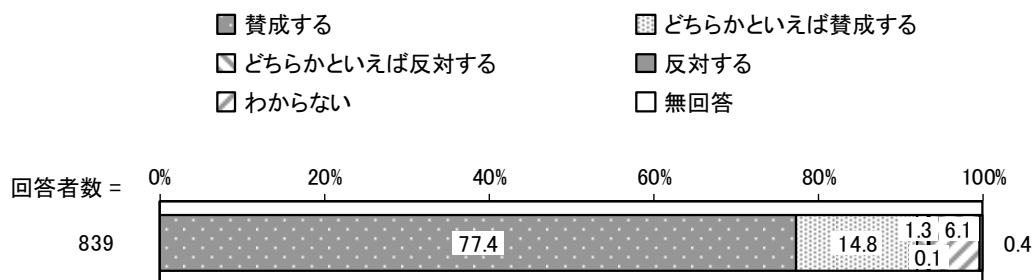
【配偶者の有無別】



## (8) 女性が理工系分野の職業を目指すことについて

問 1 2. 女性が研究者や技術者などの理工系分野の職業を目指すことについて、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

“賛成する (※1)” の割合が 92.1%、“反対する (※2)” の割合が 1.4%、「わからない」の割合が 6.1%となっている。

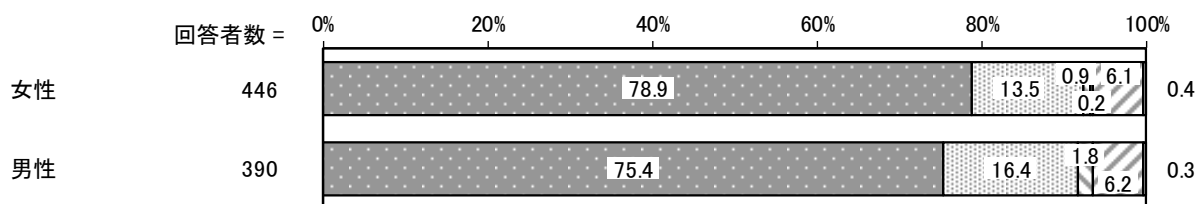


※1：「賛成する」と「どちらかといえば賛成する」の計

※2：「どちらかといえば反対する」と「反対する」の計

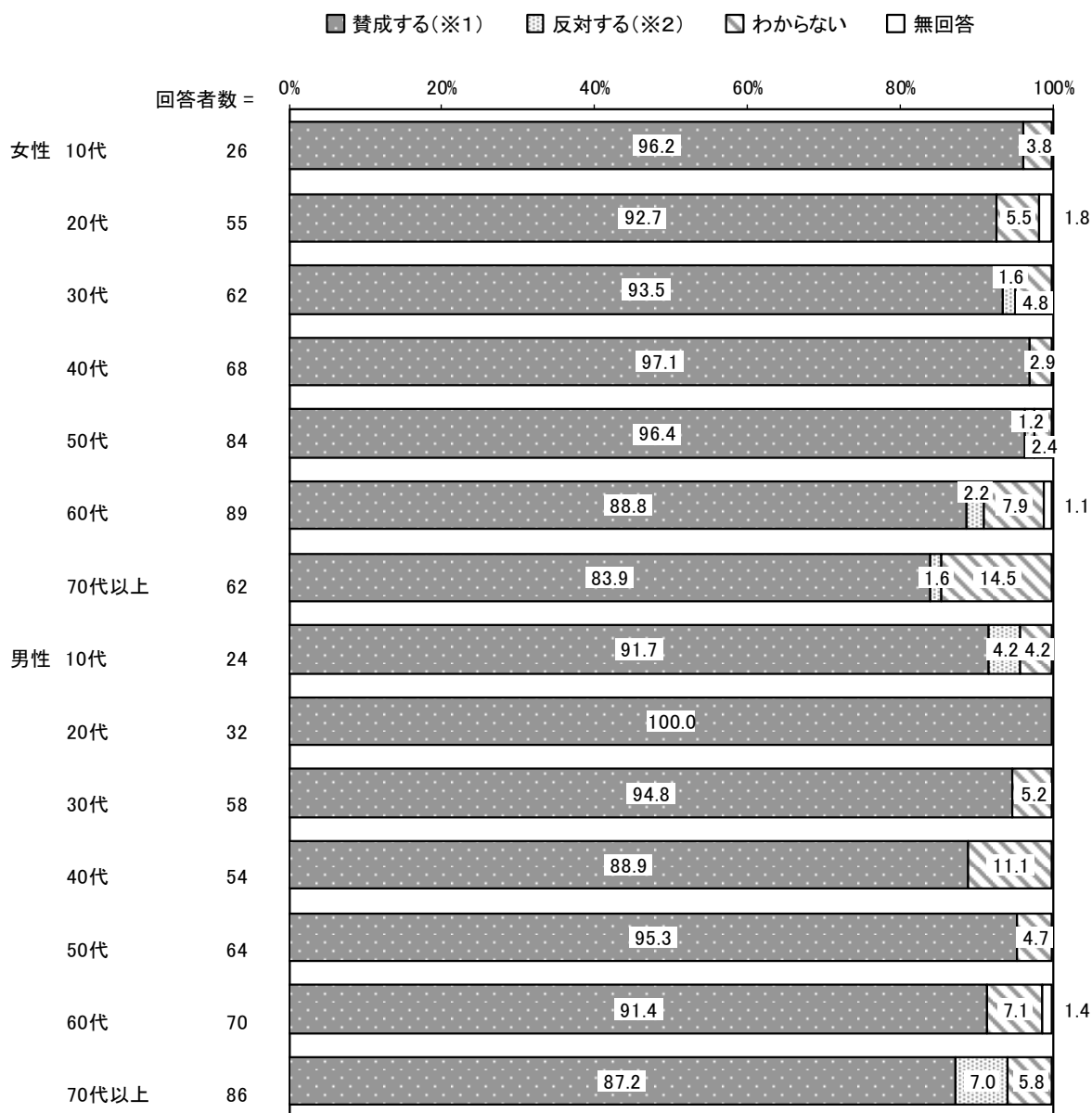
性別でみると、大きな差異はみられません。

### 【性別】



性・年代別で見ると、男女ともすべての年代で“賛成する（※1）”の割合が最も高く、特に男性の20代では100.0%となっている。

【性・年代別】



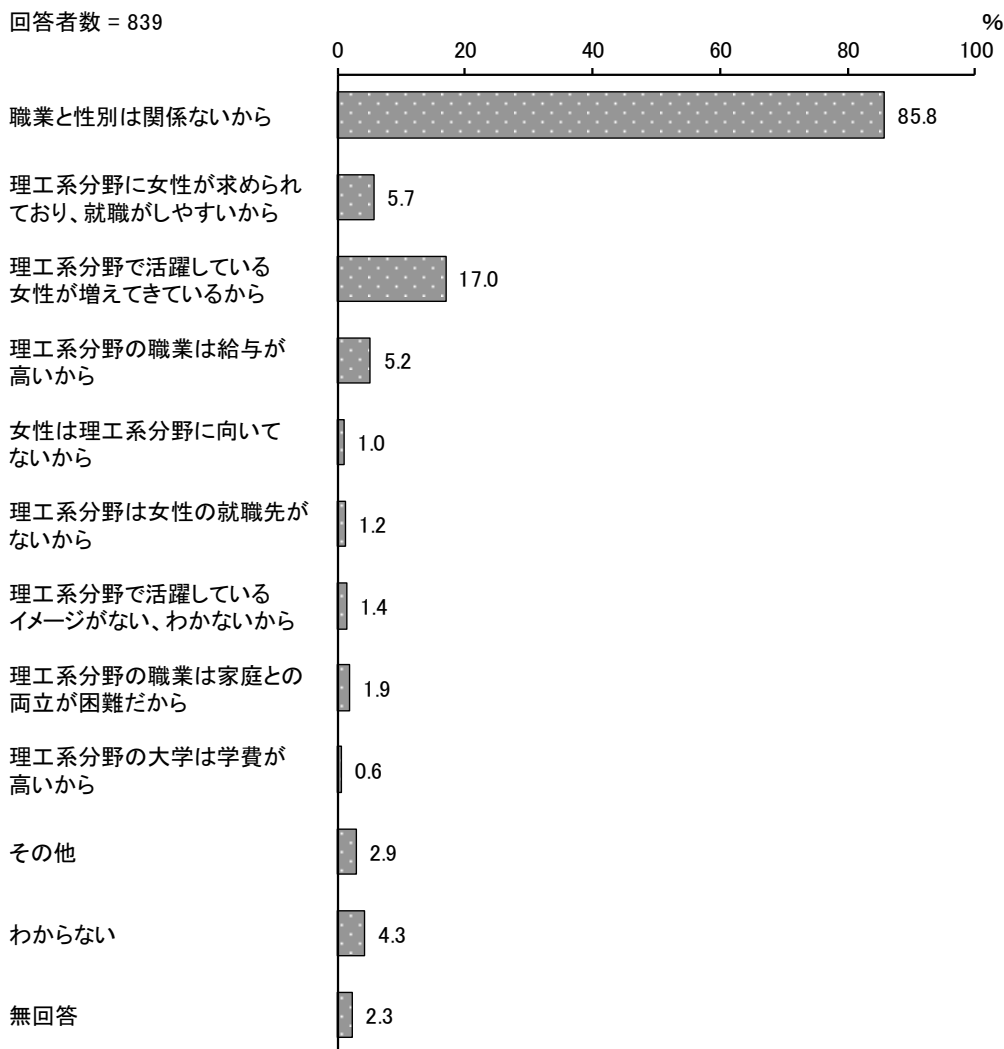
※1：「賛成する」と「どちらかといえば賛成する」の計

※2：「どちらかといえば反対する」と「反対する」の計

## (9) 女性が理工系分野の職業を目指すことについて思う理由

問12-1. 問12でそう思われるのはなぜですか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「職業と性別は関係ないから」の割合が85.8%と最も高く、次いで「理工系分野で活躍している女性が増えてきているから」の割合が17.0%となっている。



性別でみると、大きな差異はみられません。

【性別】

単位：%

区分	回答者数(件)	職業と性別は関係ないから	理工系分野に女性が求められており、就職がしやすいから	理工系分野で活躍している女性が増えているから	理工系分野の職業は給与が高いから	女性は理工系分野に向いてないから	理工系分野は女性の就職先がないから	理工系分野で活躍しているイメージがない、わかないから	理工系分野の職業は家庭との両立が困難だから	理工系分野の大学は学費が高いから	その他	わからない	無回答
女性	446	86.1	4.9	16.4	6.1	0.4	0.7	1.8	1.8	0.4	2.2	5.2	2.2
男性	390	85.4	6.7	17.9	4.4	1.5	1.8	1.0	2.1	0.8	3.6	3.3	2.3

性・年代別でみると、他に比べ、女性 20 代で「職業と性別は関係ないから」の割合が高い。また、男性 70 代以上で「理工系分野で活躍している女性が増えてきているから」の割合が高い。

【性・年代別】

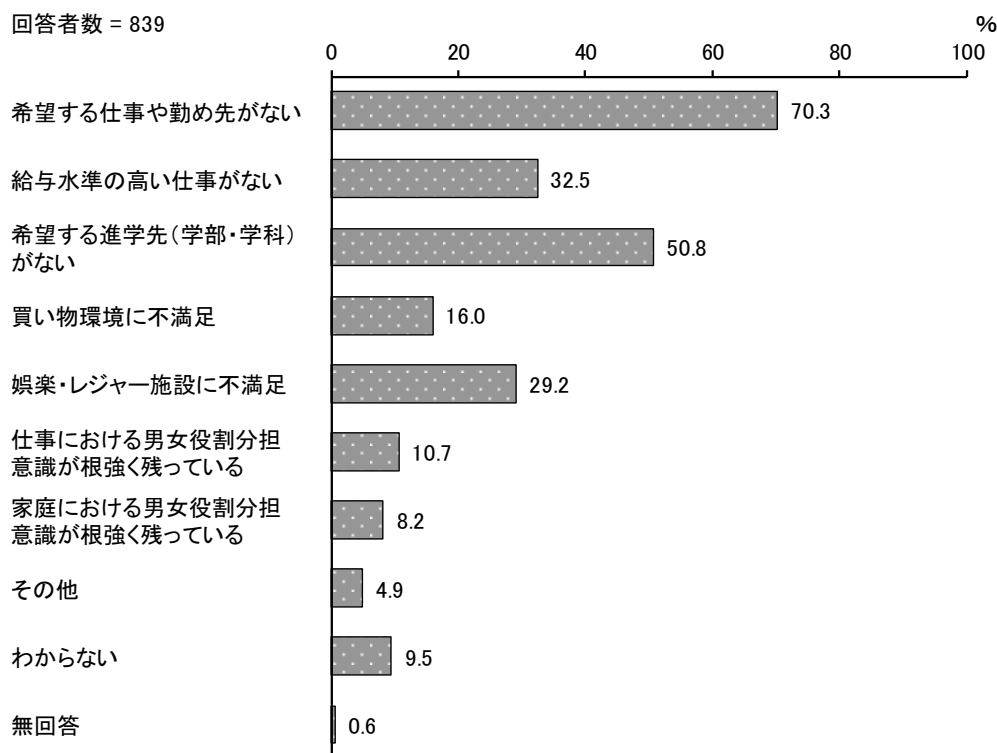
単位：%

区分	回答者数(件)	職業と性別は関係ないから	理工系分野に女性が求められており、就職がしやすいから	理工系分野で活躍している女性が増えてきているから	理工系分野の職業は給与が高いから	女性は理工系分野に向いてないから	理工系分野は女性の就職先がないから	理工系分野で活躍しているイメージがない、わからないから	理工系分野の職業は家庭との両立が困難だから	理工系分野の大学は学費が高いから	その他	わからない	無回答
女性 10代	26	88.5	3.8	15.4	11.5	—	—	—	—	—	7.7	3.8	—
20代	55	96.4	3.6	12.7	9.1	—	—	3.6	1.8	—	3.6	1.8	—
30代	62	83.9	3.2	12.9	8.1	—	—	3.2	—	—	1.6	6.5	3.2
40代	68	88.2	1.5	11.8	5.9	—	1.5	—	2.9	1.5	—	4.4	1.5
50代	84	89.3	6.0	15.5	3.6	1.2	—	—	1.2	—	3.6	1.2	2.4
60代	89	82.0	3.4	22.5	4.5	1.1	1.1	—	4.5	—	2.2	6.7	1.1
70代以上	62	77.4	12.9	21.0	4.8	—	1.6	6.5	—	1.6	—	11.3	6.5
男性 10代	24	91.7	8.3	12.5	—	—	—	—	4.2	—	—	4.2	—
20代	32	90.6	15.6	21.9	9.4	3.1	—	—	—	—	3.1	—	—
30代	58	89.7	1.7	12.1	6.9	—	—	—	—	—	10.3	3.4	—
40代	54	92.6	3.7	7.4	—	—	—	—	—	—	3.7	1.9	1.9
50代	64	85.9	7.8	10.9	9.4	1.6	1.6	1.6	1.6	—	1.6	1.6	3.1
60代	70	80.0	1.4	18.6	—	1.4	2.9	—	2.9	1.4	4.3	7.1	2.9
70代以上	86	79.1	11.6	33.7	4.7	3.5	4.7	3.5	4.7	2.3	1.2	2.3	4.7

## (10) 豊橋市から大都市圏への流出について

問 13. 豊橋市から大都市圏へ流出する状況が進んでいます。その理由について、どのように思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

「希望する仕事や勤め先がない」の割合が 70.3%と最も高く、次いで「希望する進学先(学部・学科)がない」の割合が 50.8%、「給与水準の高い仕事がない」の割合が 32.5%となっている。



性別でみると、他に比べ、女性で「希望する進学先(学部・学科)がない」「仕事における男女役割分担意識が根強く残っている」「家庭における男女役割分担意識が根強く残っている」の割合が高くなっています。

### 【性別】

単位：%

区分	回答者数(件)	希望する仕事や勤め先がない	給与水準の高い仕事がない	希望する進学先(学部・学科)がない	買い物環境に不満足	娯楽・レジャー施設に不満足	仕事における男女役割分担意識が根強く残っている	家庭における男女役割分担意識が根強く残っている	その他	わからない	無回答
女性	446	69.5	30.7	54.7	18.2	29.1	13.0	10.8	3.6	11.4	0.7
男性	390	71.3	34.6	46.7	13.6	29.2	7.9	5.1	6.4	7.4	0.5



性・年代別で見ると、他に比べ、男女とも30代で「娯楽・レジャー施設に不満足」の割合が高い。また、女性70代以上で「仕事における男女役割分担意識が根強く残っている」の割合が高い。

【性・年代別】

単位：%

区分	回答者数(件)	希望する仕事や勤め先がない	給与水準の高い仕事がない	希望する進学先(学部・学科)がない	買い物環境に不満足	娯楽・レジャー施設に不満足	仕事における男女役割分担意識が根強く残っている	家庭における男女役割分担意識が根強く残っている	その他	わからない	無回答
女性 10代	26	73.1	15.4	69.2	19.2	30.8	—	—	—	11.5	—
20代	55	72.7	34.5	61.8	20.0	43.6	7.3	5.5	5.5	3.6	—
30代	62	72.6	37.1	51.6	21.0	50.0	6.5	8.1	3.2	11.3	—
40代	68	75.0	30.9	51.5	20.6	22.1	11.8	11.8	2.9	17.6	—
50代	84	72.6	36.9	61.9	17.9	32.1	11.9	13.1	3.6	9.5	—
60代	89	67.4	25.8	48.3	15.7	22.5	16.9	11.2	3.4	11.2	2.2
70代以上	62	54.8	25.8	48.4	14.5	8.1	27.4	17.7	4.8	14.5	1.6
男性 10代	24	62.5	33.3	45.8	20.8	37.5	4.2	—	4.2	8.3	—
20代	32	59.4	34.4	53.1	9.4	43.8	3.1	3.1	6.3	3.1	—
30代	58	70.7	44.8	56.9	19.0	51.7	1.7	1.7	15.5	3.4	—
40代	54	68.5	33.3	50.0	14.8	35.2	3.7	3.7	5.6	5.6	—
50代	64	71.9	29.7	39.1	14.1	32.8	12.5	6.3	6.3	9.4	—
60代	70	77.1	30.0	45.7	14.3	14.3	8.6	7.1	8.6	8.6	1.4
70代以上	86	75.6	36.0	43.0	8.1	12.8	14.0	8.1	—	10.5	1.2

性・婚姻別でみると、他に比べ、未婚男性で「娯楽・レジャー施設に不満足」の割合が高い。  
 性・共働き別でみると、他に比べ、共働きしていない男性で「希望する仕事や勤め先がない」の割合が高い。また、共働きしている女性で「娯楽・レジャー施設に不満足」「家庭における男女役割分担意識が根強く残っている」の割合が高い。

【性・婚姻別】

単位：％

区分	回答者数(件)	希望する仕事や勤め先がない	給与水準の高い仕事がない	希望する進学先(学部・学科)がない	買い物環境に不満足	娯楽・レジャー施設に不満足	仕事における男女役割分担意識が根強く残っている	家庭における男女役割分担意識が根強く残っている	その他	わからない	無回答
女性 既婚	282	70.9	30.9	54.6	19.9	29.8	13.1	12.1	3.2	11.0	0.7
未婚	161	67.7	31.1	55.3	15.5	28.6	12.4	8.1	4.3	12.4	0.6
男性 既婚	267	73.8	34.8	49.8	13.9	25.1	10.1	6.4	6.4	6.4	0.7
未婚	119	66.4	33.6	40.3	13.4	39.5	3.4	2.5	6.7	8.4	—

【性・共働き別】

単位：％

区分	回答者数(件)	希望する仕事や勤め先がない	給与水準の高い仕事がない	希望する進学先(学部・学科)がない	買い物環境に不満足	娯楽・レジャー施設に不満足	仕事における男女役割分担意識が根強く残っている	家庭における男女役割分担意識が根強く残っている	その他	わからない	無回答
女性 共働きしている	167	71.3	32.9	55.7	19.2	32.3	12.0	13.2	2.4	11.4	—
共働きしていない	106	73.6	27.4	53.8	20.8	26.4	15.1	10.4	1.9	10.4	1.9
男性 共働きしている	137	70.8	38.0	48.9	13.9	27.7	8.8	5.1	6.6	5.8	—
共働きしていない	122	77.9	29.5	51.6	13.9	23.0	10.7	7.4	5.7	6.6	1.6

## 6 生活について

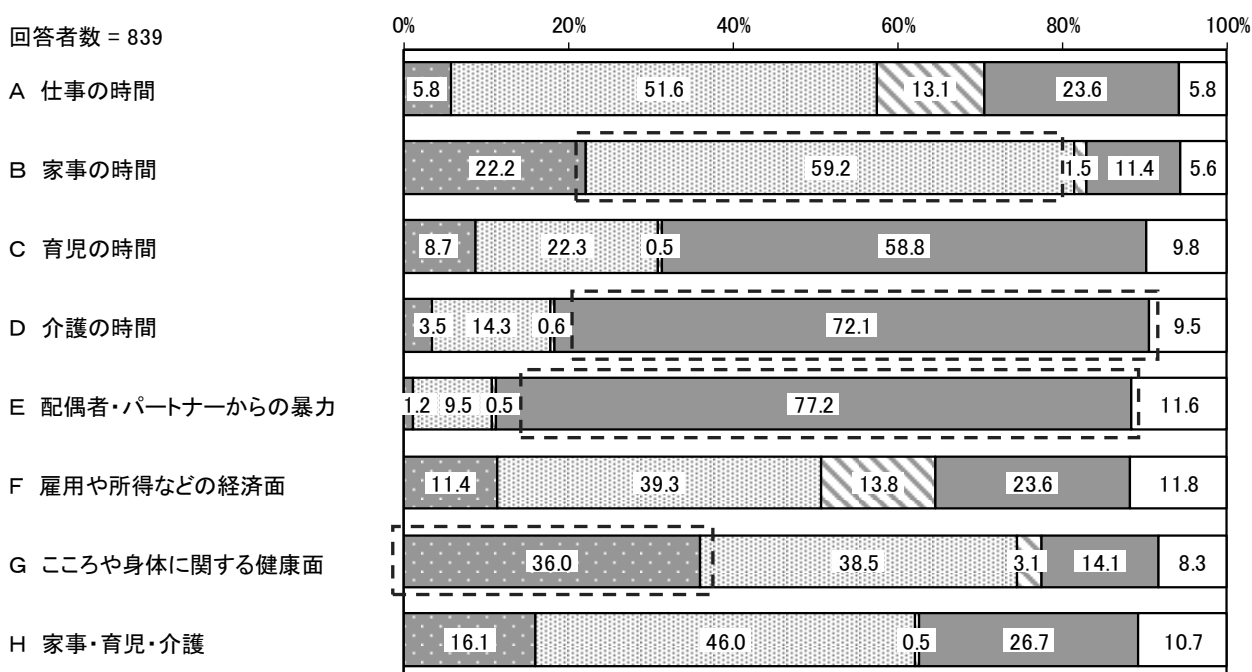
### (1) 新型コロナウイルス感染拡大後の生活について

問14. 新型コロナウイルス感染拡大後の生活について、コロナ以前と比べて変化がありましたか。A～D の項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

『G ころろや身体に関する健康面』において、「増えた」の割合が、『B 家事の時間』において、「変わらない」の割合が高い。また、『D 介護の時間』『E 配偶者・パートナーからの暴力』において「もともととしていない・ない」の割合が高く、7割台半ばとなっている。

■ 増えた □ 変わらない ▨ 減った ■ もともととしていない・ない □ 無回答

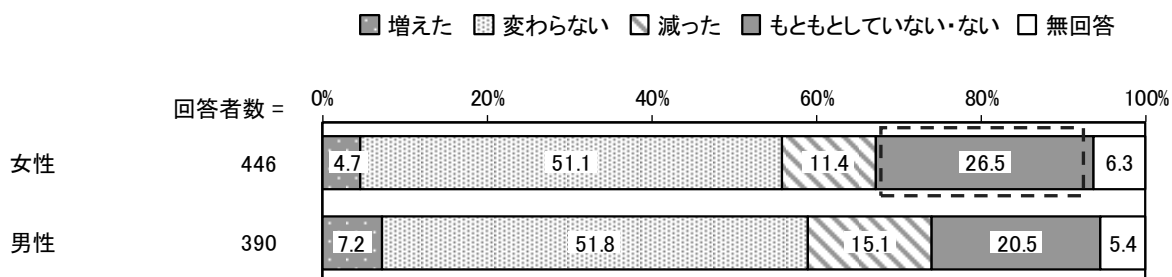
回答者数 = 839



## A 仕事の時間

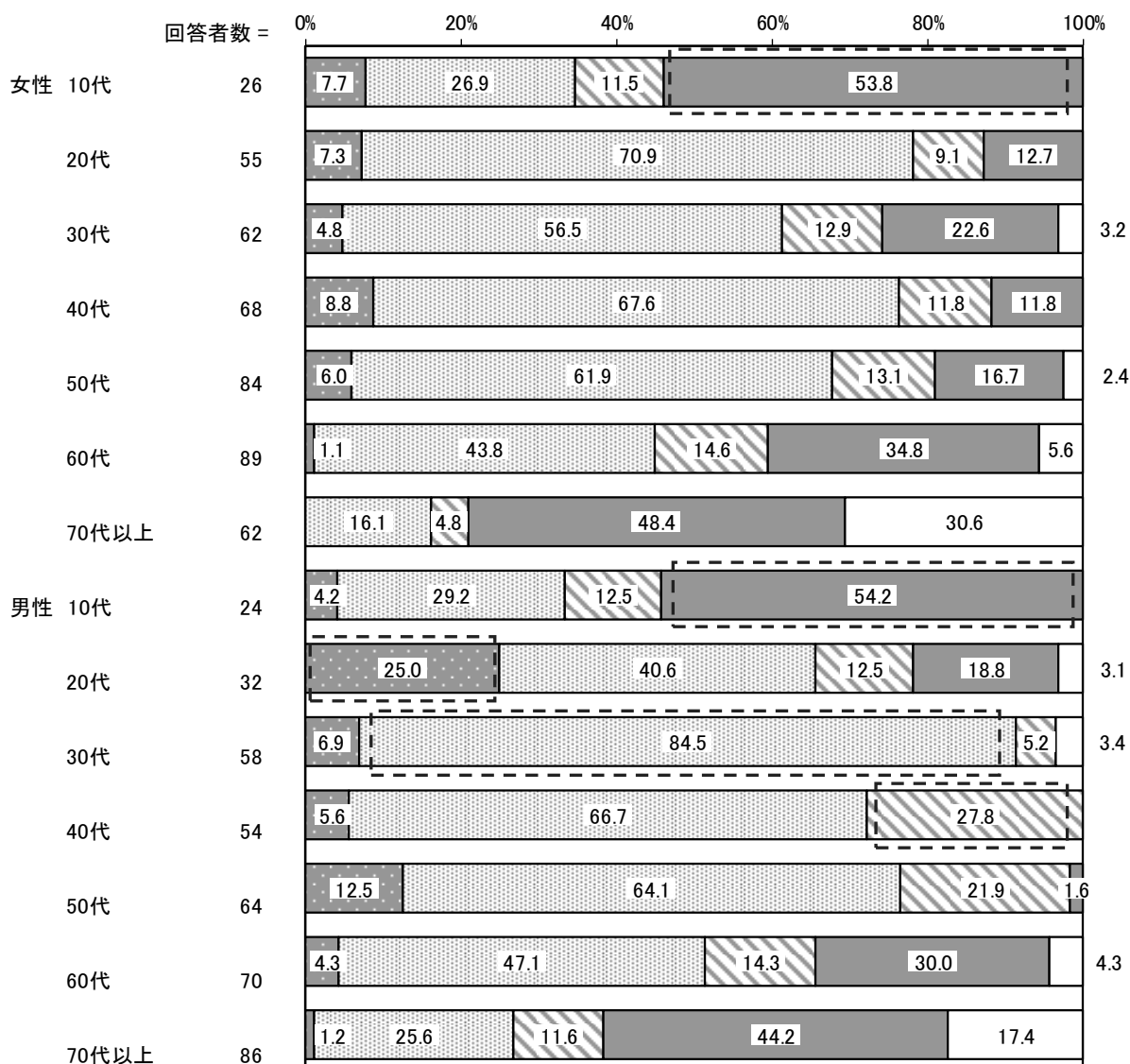
性別で見ると、男性に比べ、女性で「もともととしていない・ない」の割合が高くなっています。

### 【性別】



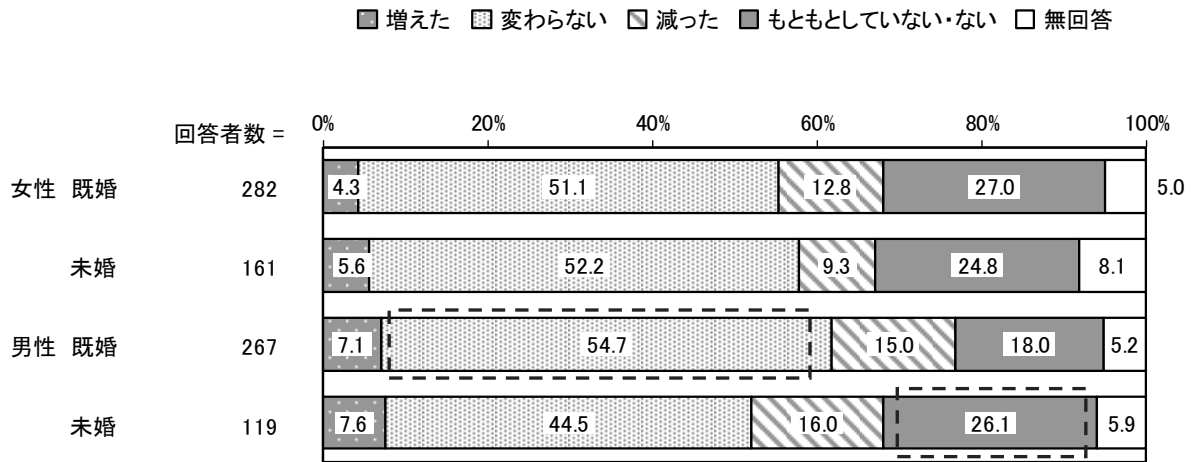
性・年代別で見ると、他に比べ、男性の20代で「増えた」の割合が、30代で「変わらない」の割合が、40代で「減った」の割合が高くなっています。また、男女ともに10代で「もともととしていない・ない」の割合が高くなっています。

### 【性・年代別】



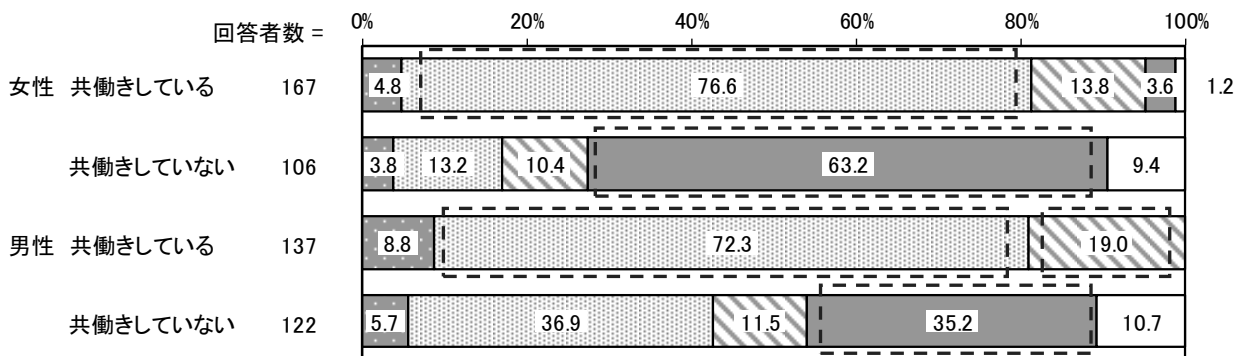
性・婚姻別で見ると、他に比べ、既婚男性で「変わらない」の割合が高くなっています。また、未婚男性で「もともととしていない・ない」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



性・共働き別で見ると、他に比べ、共働きしている男性で「減った」の割合が高くなっています。また、男女ともに共働きしているで「変わらない」の割合が、共働きしていないで「もともととしていない・ない」の割合が高くなっています。

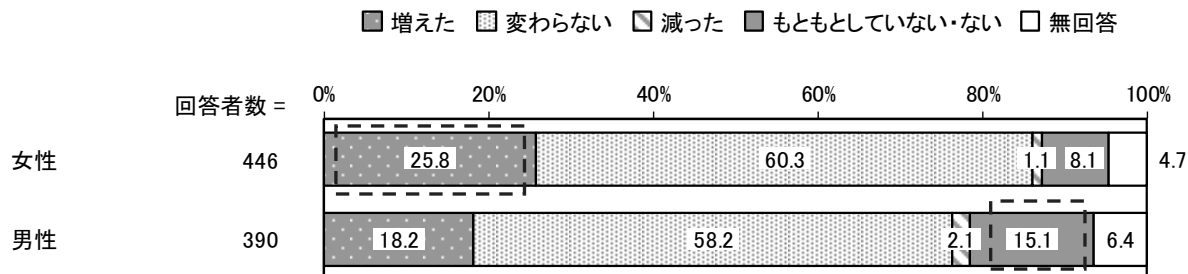
【性・共働き別】



## B 家事の時間

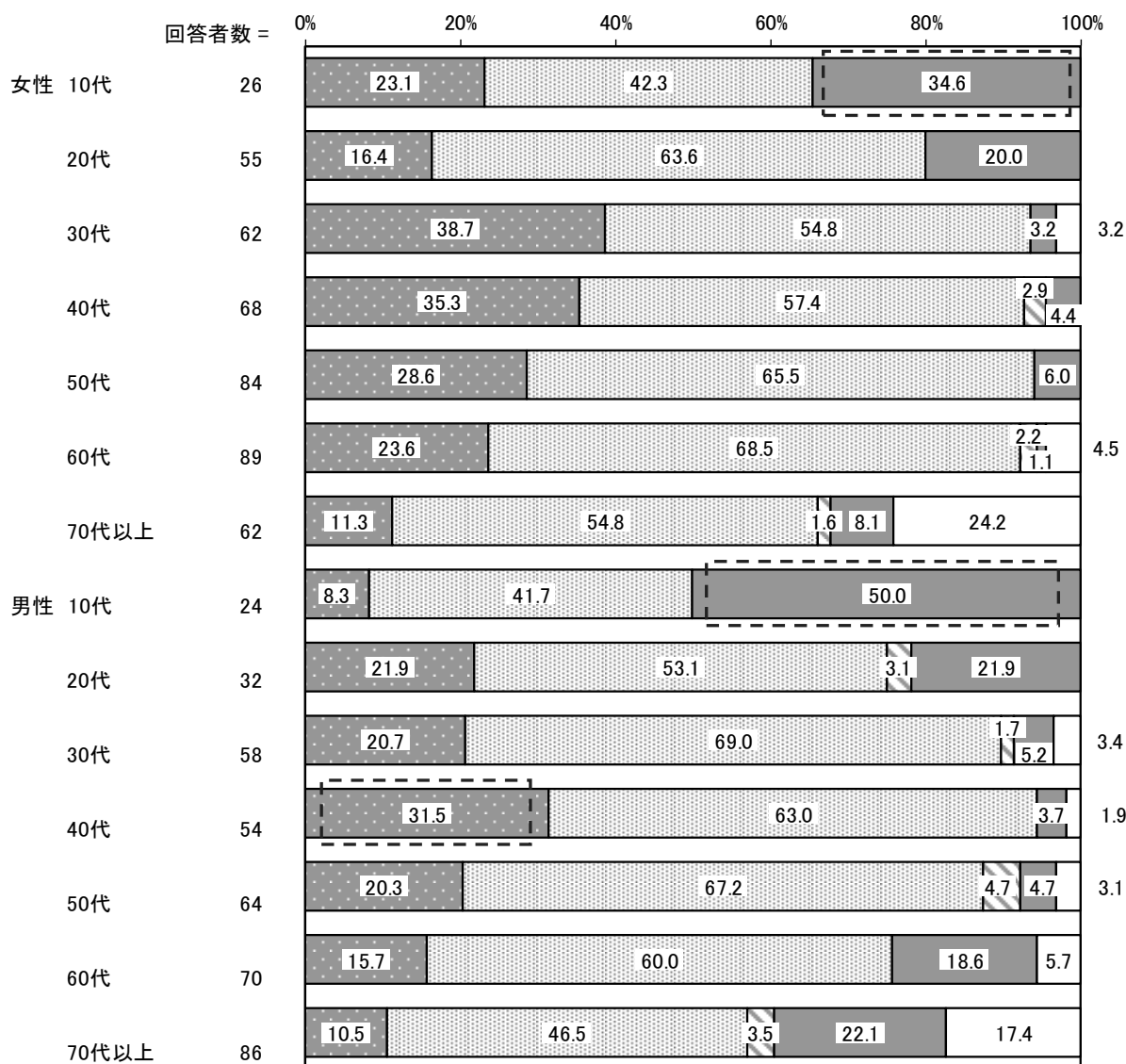
性別で見ると、男性に比べ、女性で「増えた」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「もともととしていない・ない」の割合が高くなっています。

### 【性別】



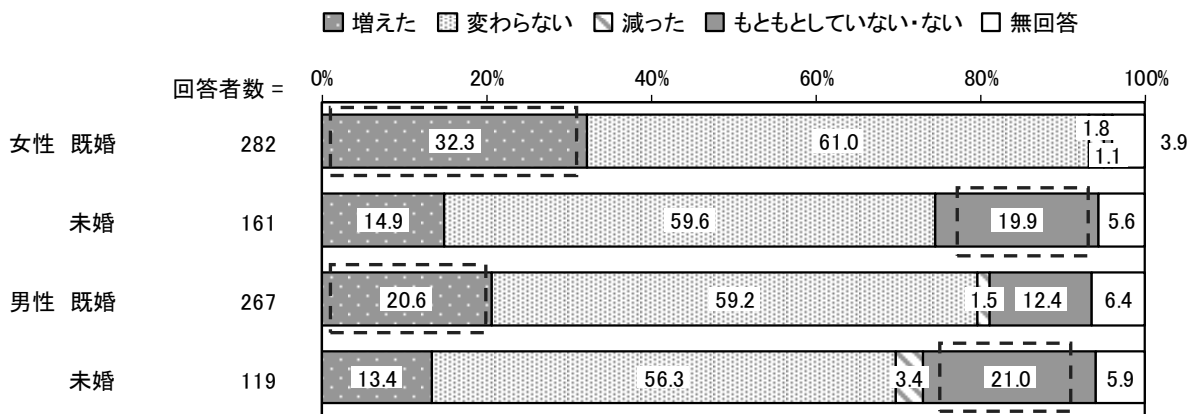
性・年代別で見ると、他に比べ、男性の40代で「増えた」の割合が高くなっています。また、男女ともに10代で「もともととしていない・ない」の割合が高くなっています。

### 【性・年代別】



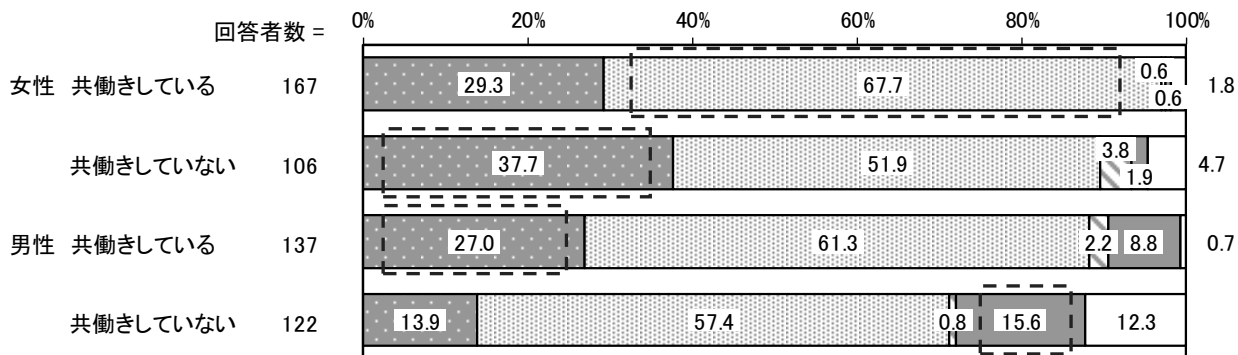
性・婚姻別で見ると、男女ともに女性で「増えた」の割合が、未婚で「もともとしていない・ない」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



性・共働き別で見ると、他に比べ、共働きしている女性で「変わらない」の割合が、共働きしていない女性で「増えた」の割合が高くなっています。また、共働きしている男性で「増えた」の割合が、共働きしていない男性で「もともとしていない・ない」の割合が高くなっています。

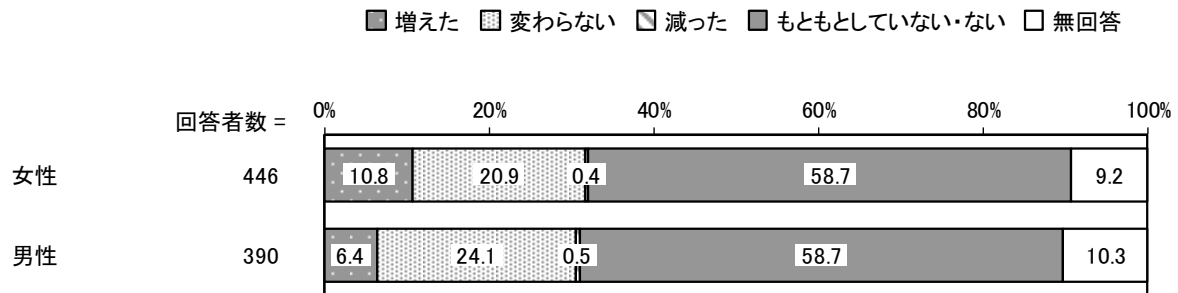
【性・共働き別】



### C 育児の時間

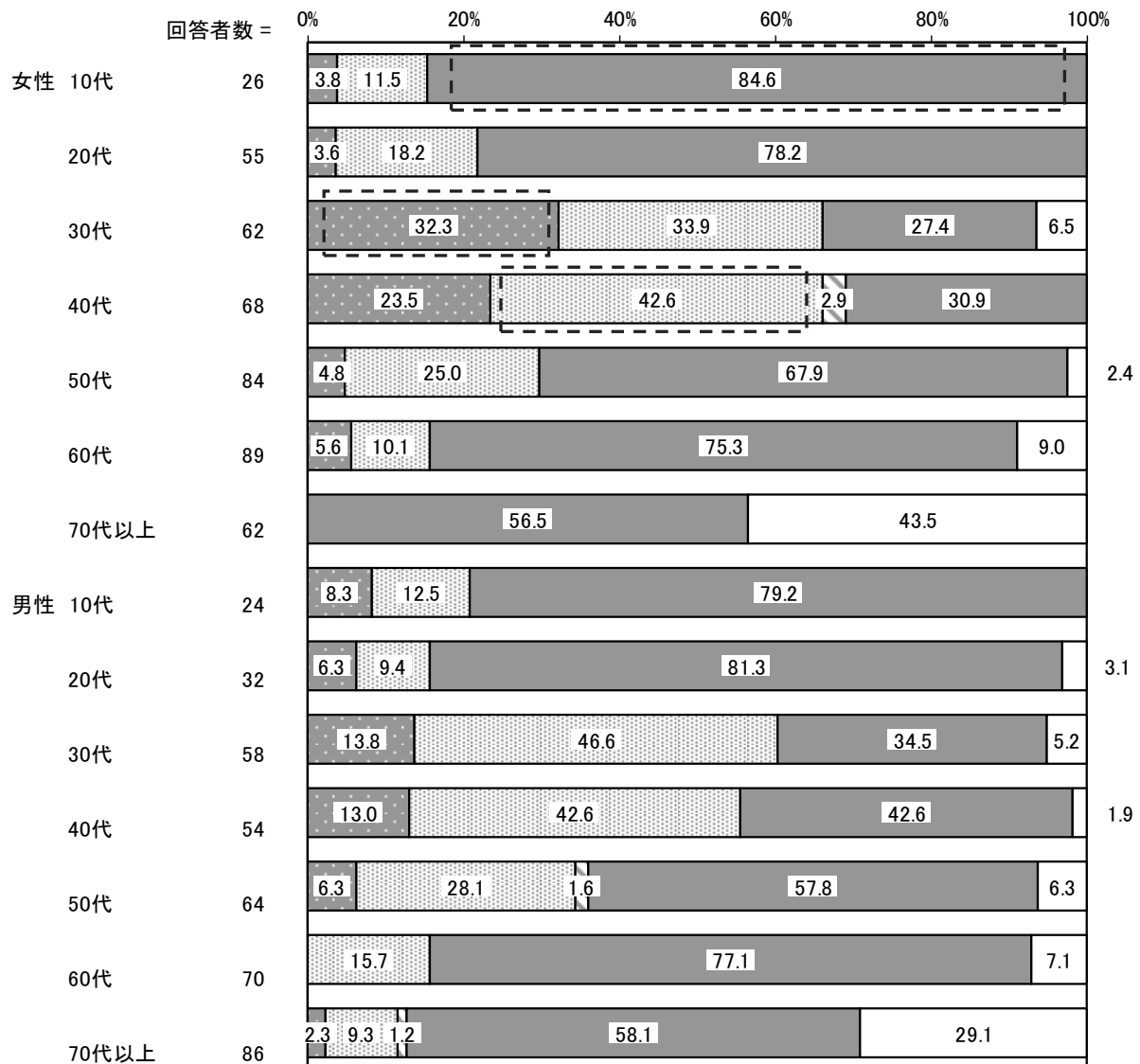
性別でみると、大きな差異はみられません。

#### 【性別】



性・年代別でみると、他に比べ、女性の10代で「もともととしていない・ない」の割合が、30代で「増えた」の割合が、40代で「変わらない」の割合が高くなっています。

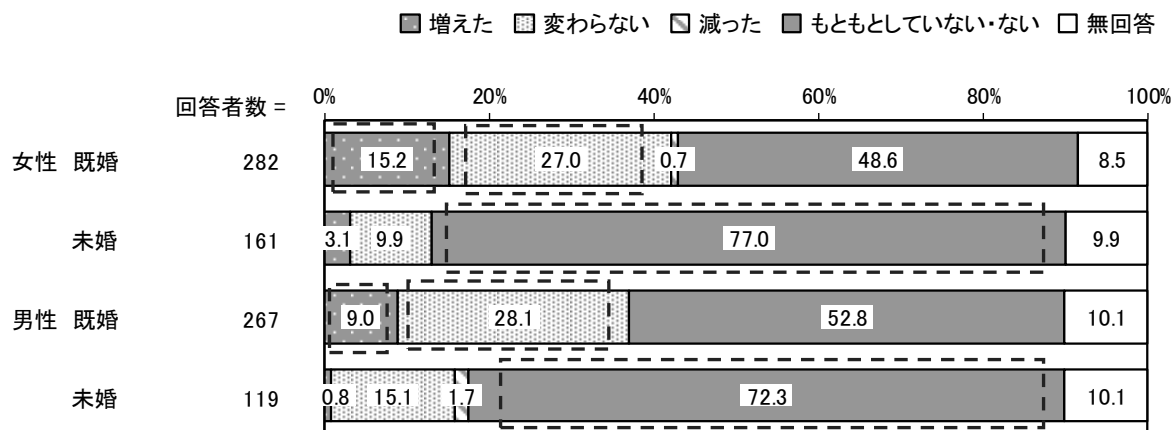
#### 【性・年代別】





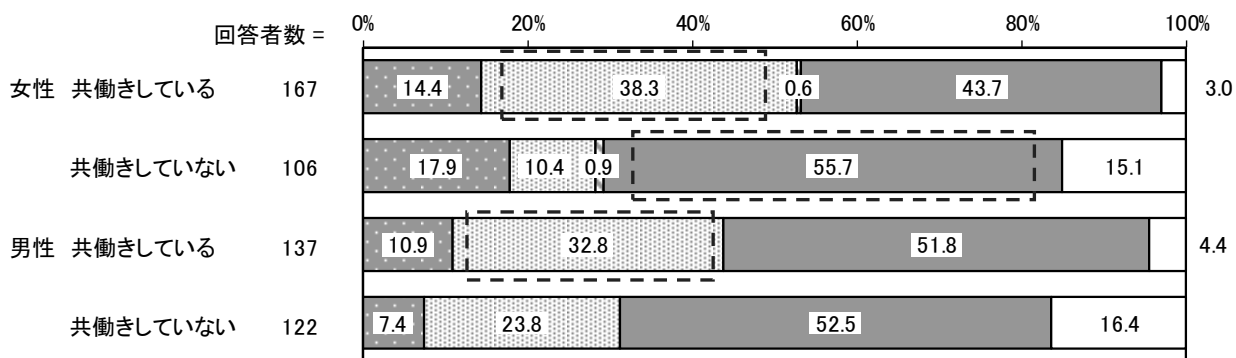
性・婚姻別で見ると、男女ともに既婚で「増えた」「変わらない」の割合が、未婚で「もともととしていない・ない」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



性・共働き別で見ると、共働きしていない女性で「もともととしていない・ない」の割合が高くなっています。また、男女ともに共働きしているで「変わらない」の割合が高くなっています。

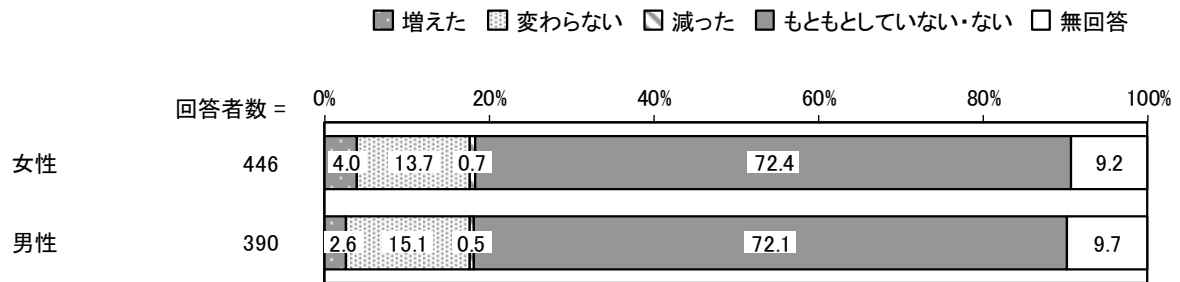
【性・共働き別】



## D 介護の時間

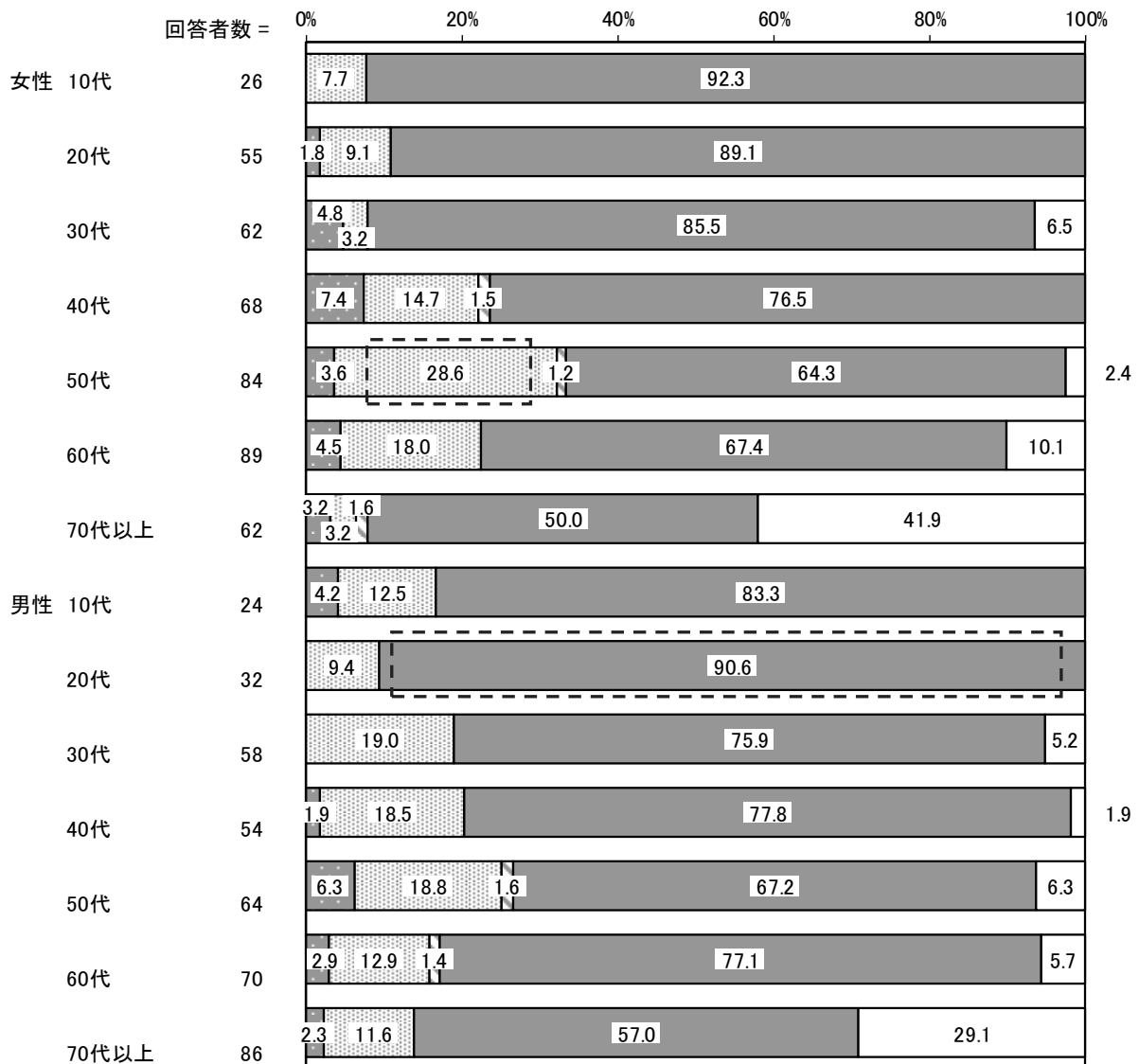
性別で見ると、大きな差異はみられません。

### 【性別】



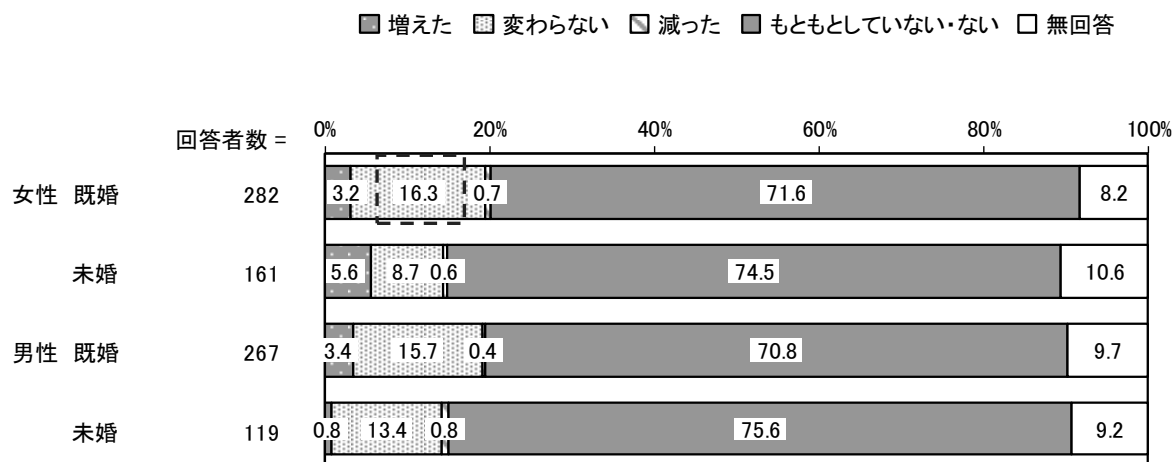
性・年代別で見ると、他に比べ、女性の50代で「変わらない」の割合が高くなっています。また、男性の20代で「もともととしていない・ない」の割合が高くなっています。

### 【性・年代別】



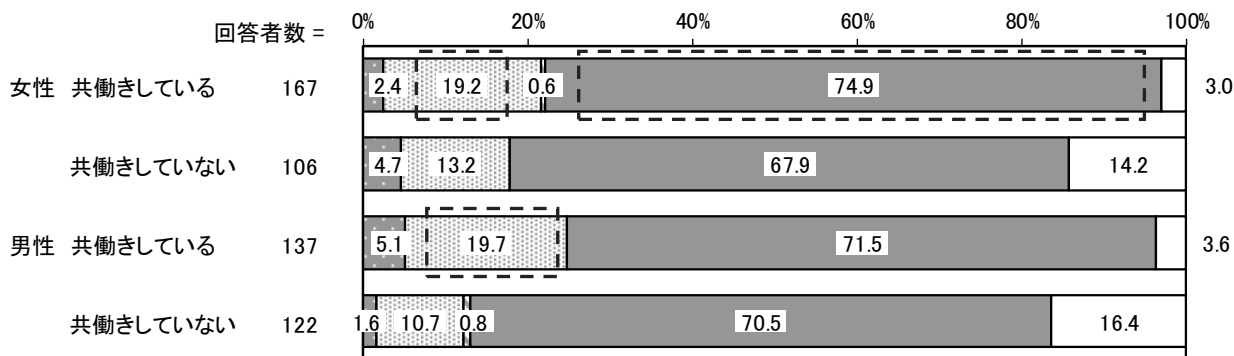
性・婚姻別で見ると、他に比べ、既婚女性で「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



性・共働き別で見ると、他に比べ、共働きしている女性で「もともとしていない・ない」の割合が高くなっています。また、男女ともに共働きしているで「変わらない」の割合が高くなっています。

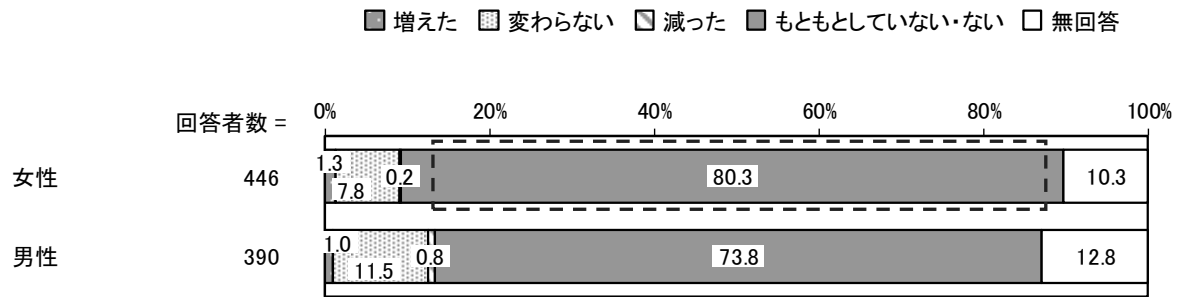
【性・共働き別】



### E 配偶者・パートナーからの暴力

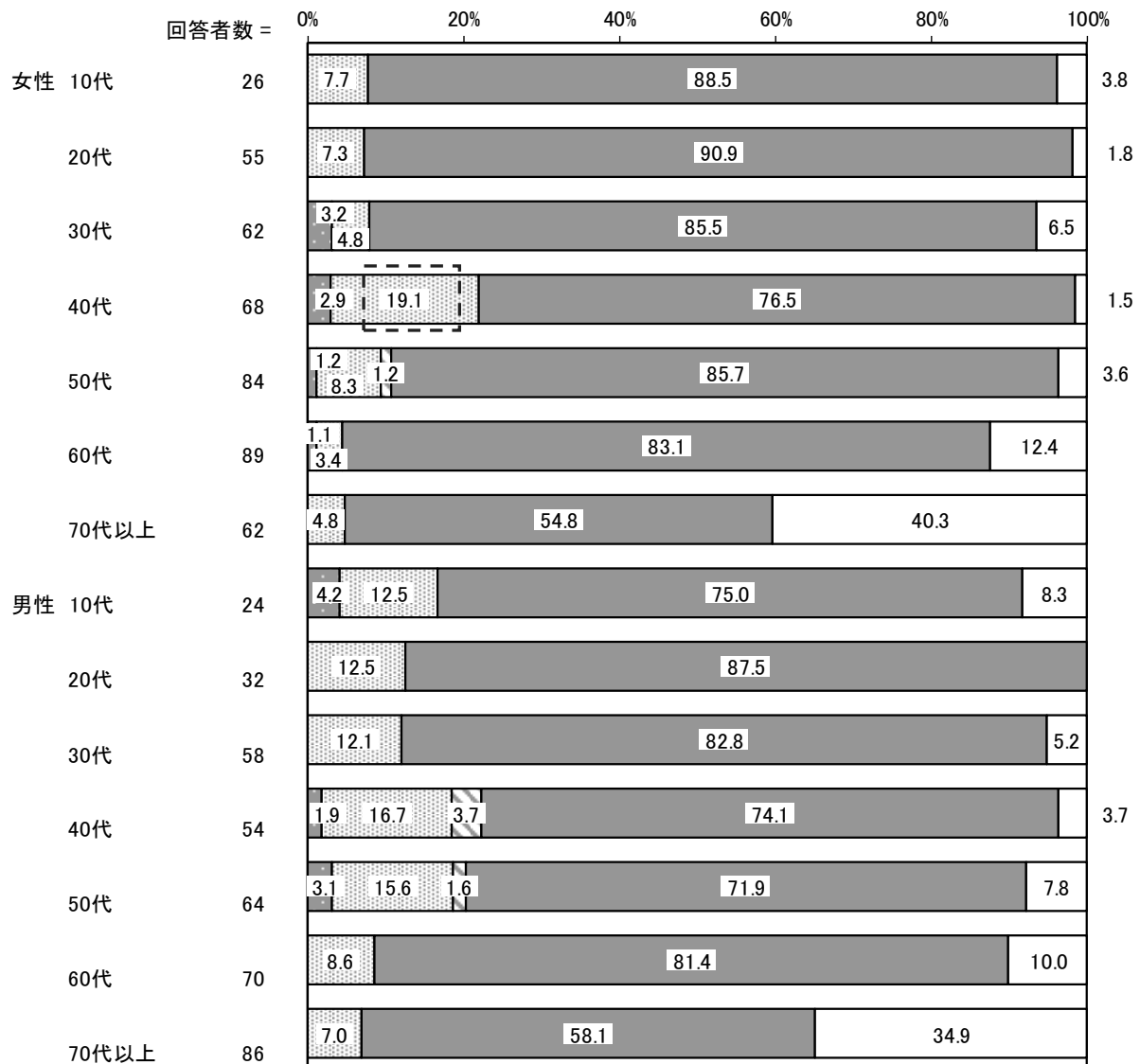
性別で見ると、男性に比べ、女性で「もともととしていない・ない」の割合が高くなっています。

#### 【性別】



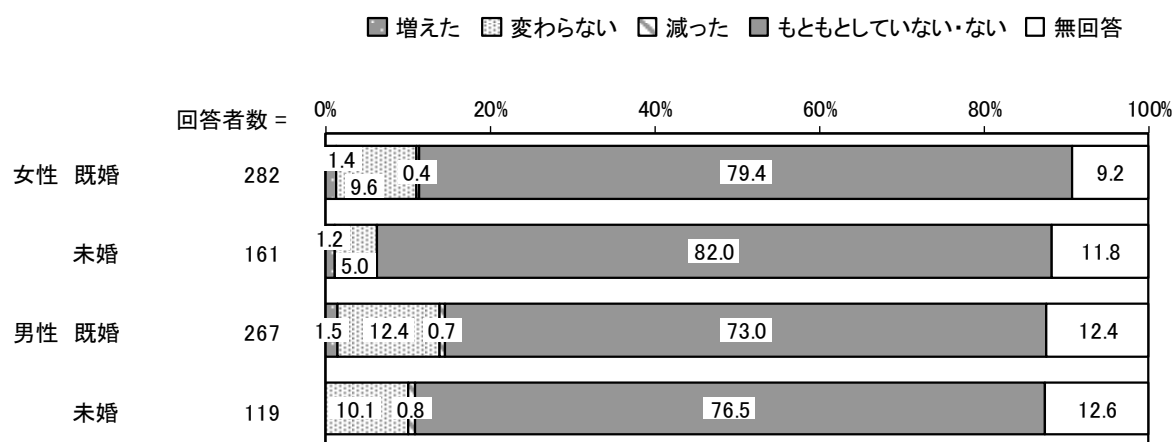
性・年代別で見ると、他に比べ、女性の40代で「変わらない」の割合が高くなっています。

#### 【性・年代別】



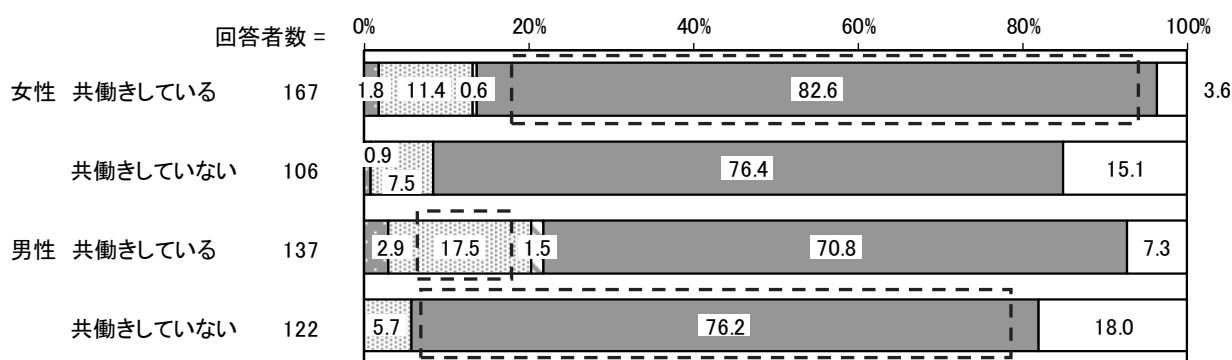
性・婚姻別で見ると、大きな差異はみられません。

【性・婚姻別】



性・共働き別で見ると、他に比べ、共働きしている女性で「もともととしていない・ない」の割合が高くなっています。また、共働きしている男性で「変わらない」の割合が、共働きしていない男性で「もともととしていない・ない」の割合が高くなっています。

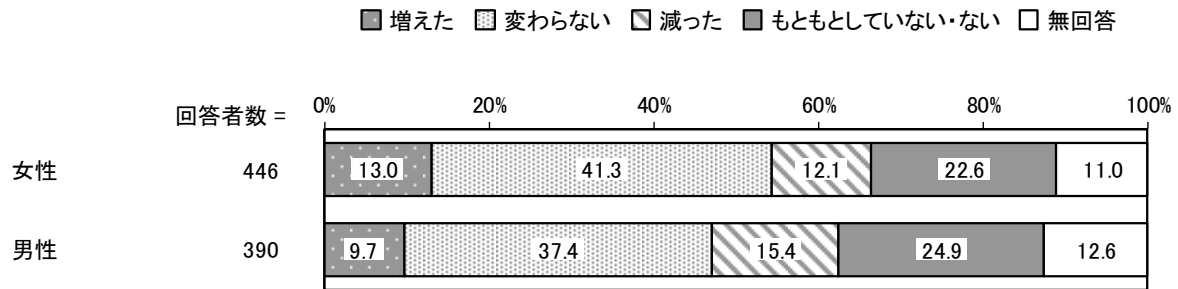
【性・共働き別】



## F 雇用や所得などの経済面

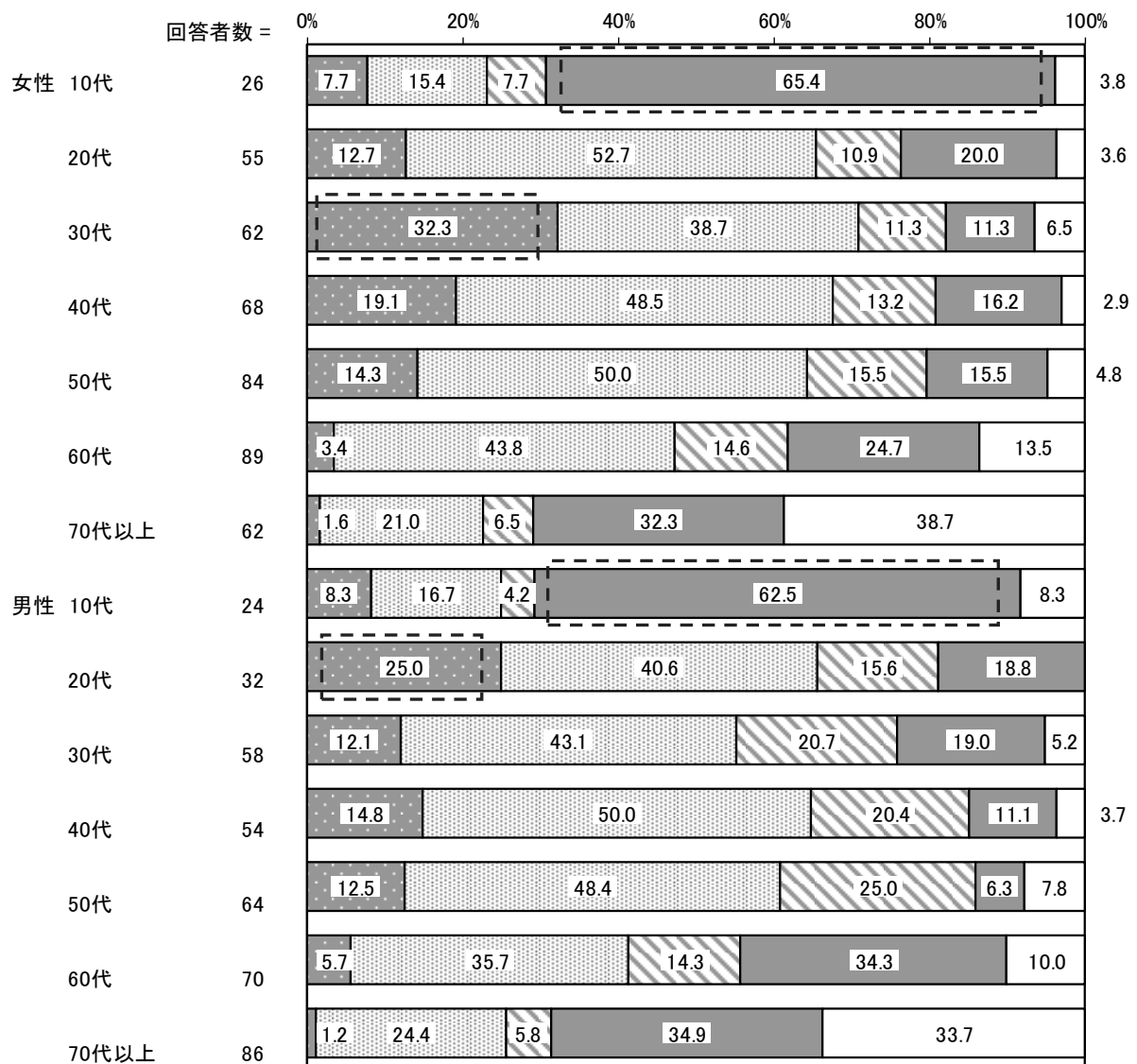
性別で見ると、大きな差異はみられません。

### 【性別】



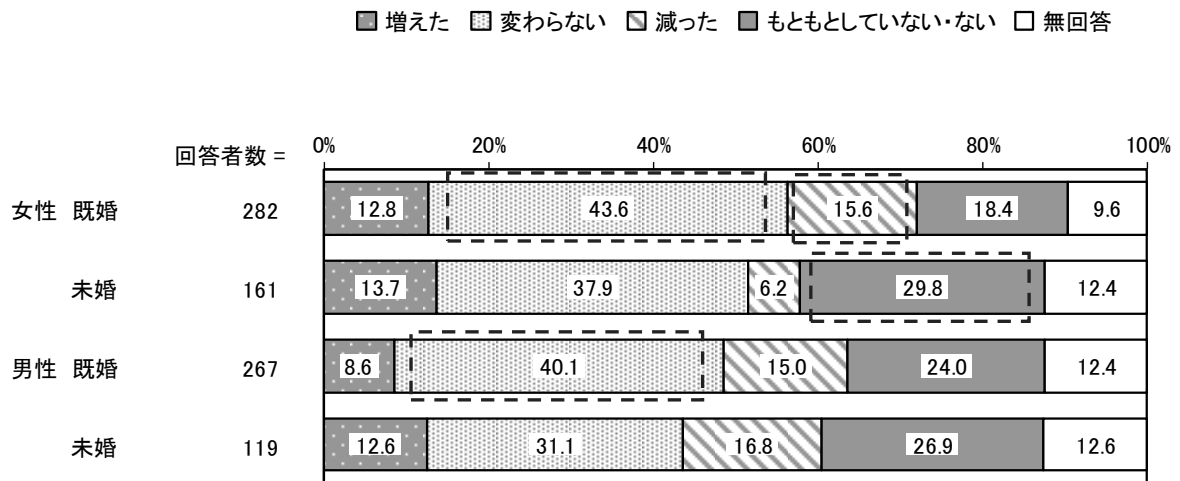
性・年代別で見ると、他に比べ、女性の30代で「増えた」の割合が、男性の20代で「増えた」の割合が高くなっています。また、男女ともに10代で「もともととしていない・ない」の割合が高くなっています。

### 【性・年代別】



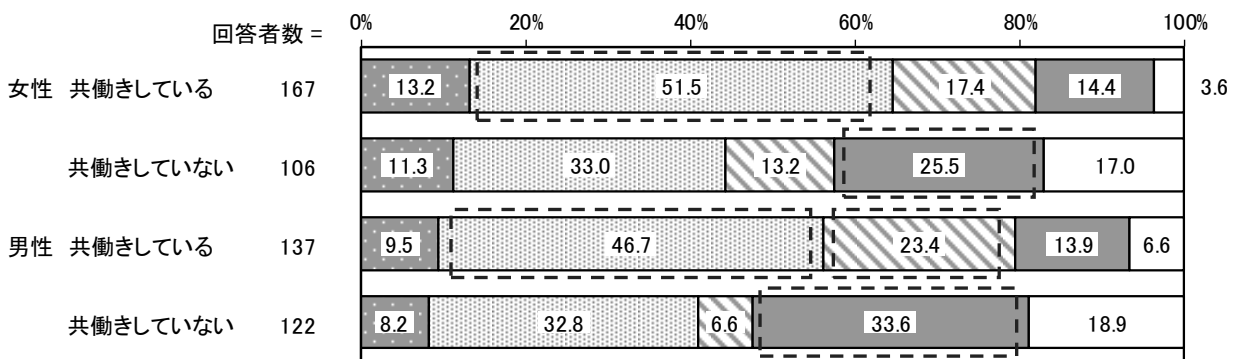
性・婚姻別で見ると、他に比べ、既婚女性で「減った」の割合が、未婚女性で「もともとしていない・ない」の割合が高くなっています。また、男女ともに既婚で「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



性・共働き別で見ると、他に比べ、共働きしている男性で「減った」の割合が高くなっています。また、男女ともに共働きしているで「変わらない」の割合が、共働きしていないで「もともとしていない・ない」高くなっています。

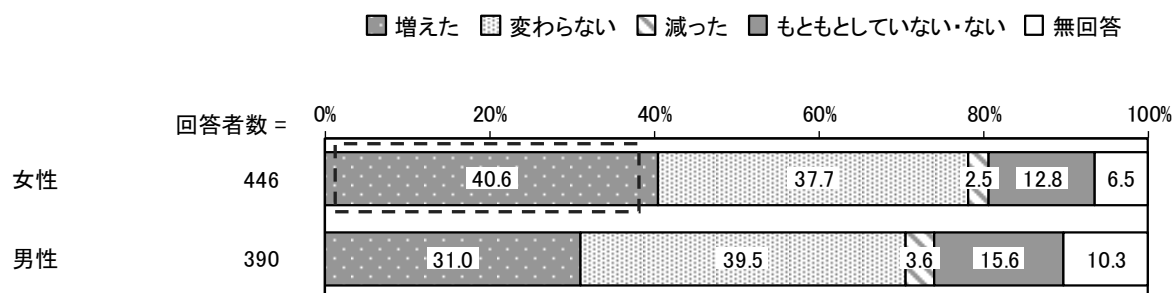
【性・共働き別】



## G 心ころや身体に関する健康面

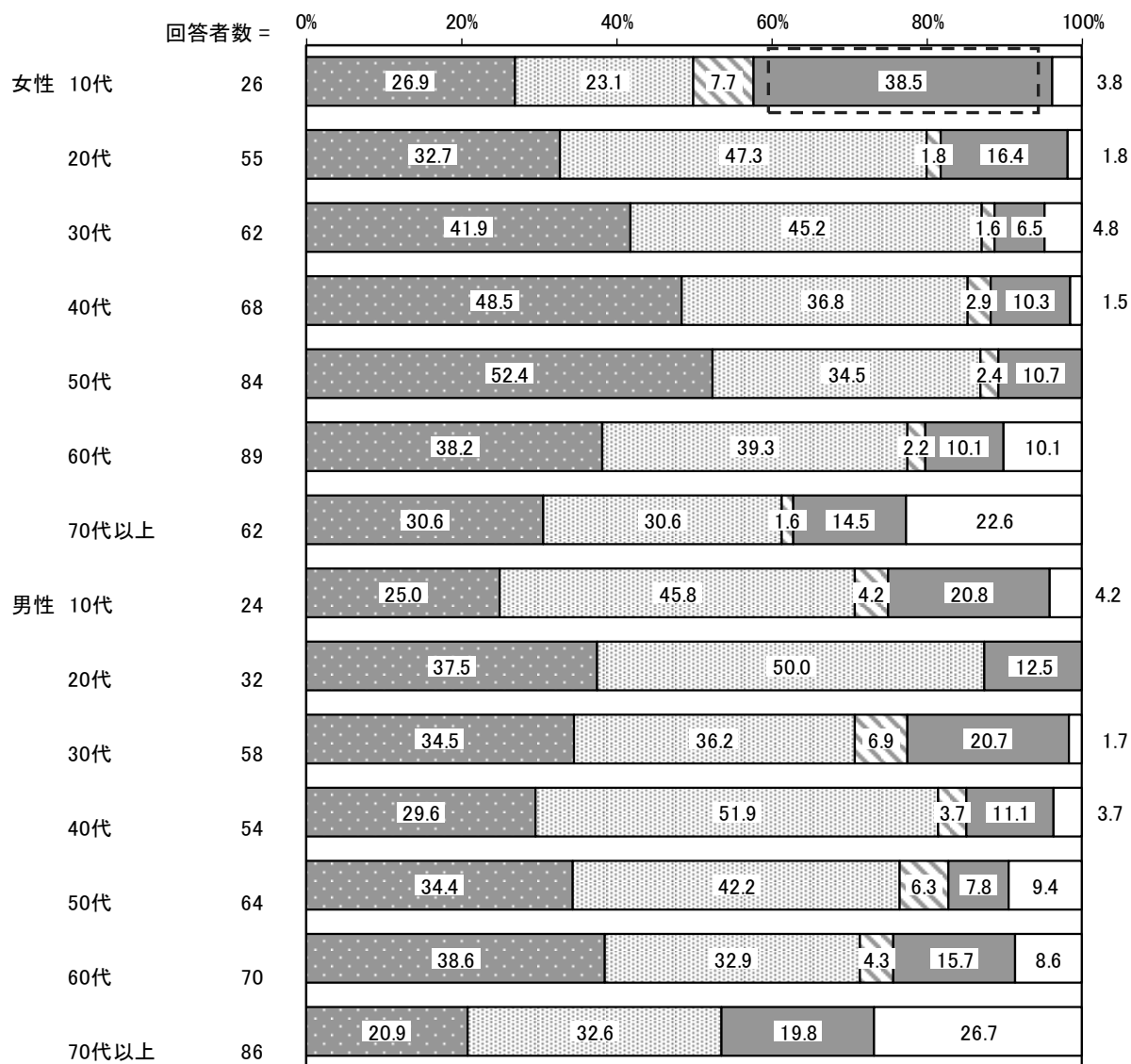
性別でみると、男性に比べ、女性で「増えた」の割合が高くなっています。

### 【性別】



性・年代別でみると、他に比べ、女性の10代で「もともととしていない・ない」の割合が高くなっています。

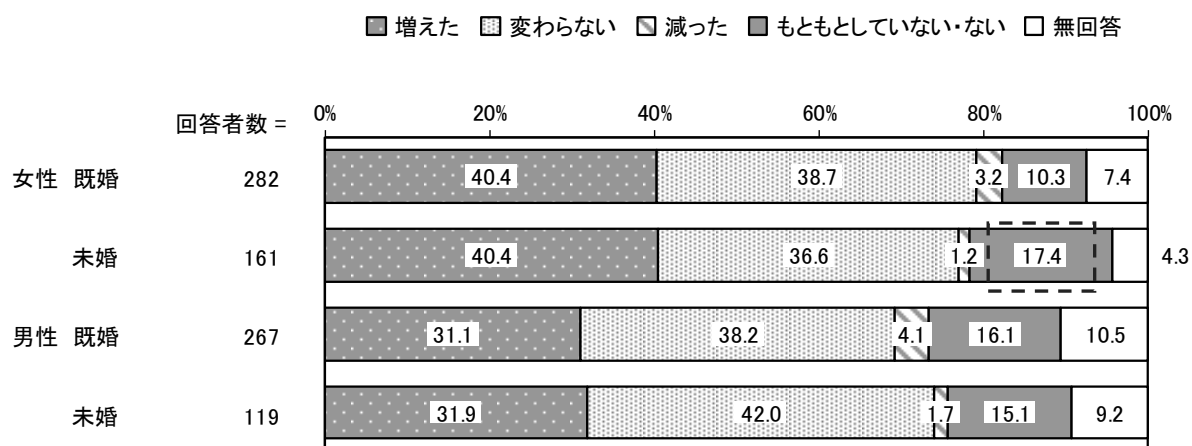
### 【性・年代別】





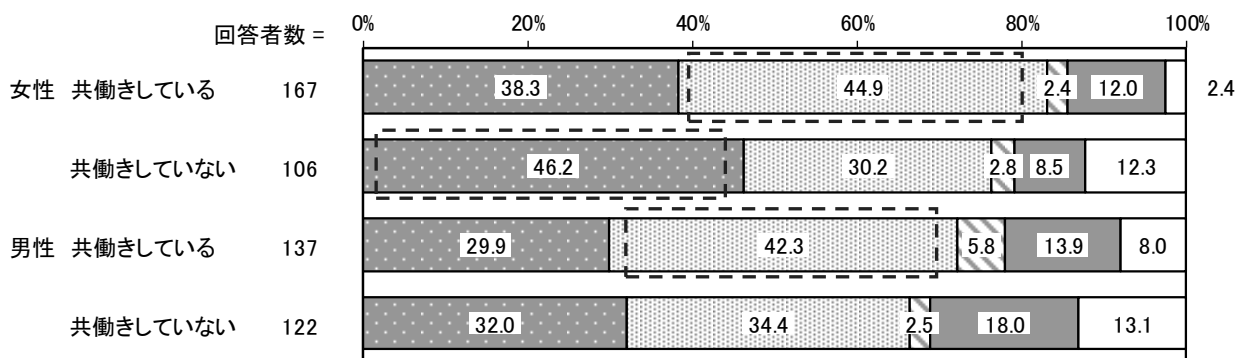
性・婚姻別で見ると、他に比べ、未婚女性で「もともとしていない・ない」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



性・共働き別で見ると、他に比べ、共働きしていない女性で「増えた」の割合が高くなっています。また、男女ともに共働きしているで「変わらない」の割合が高くなっています。

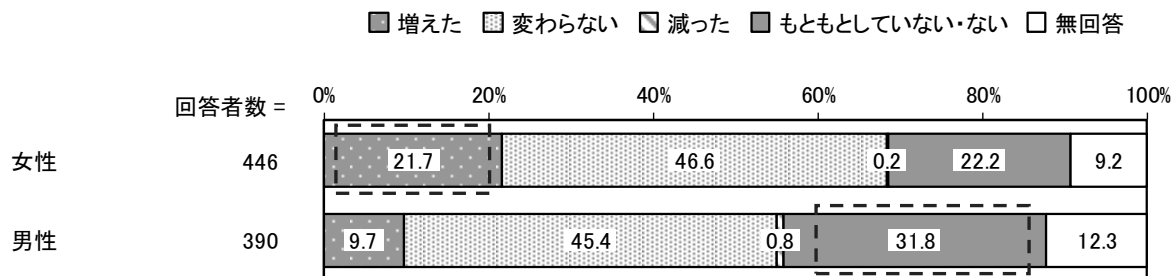
【性・共働き別】



## H 家事・育児・介護

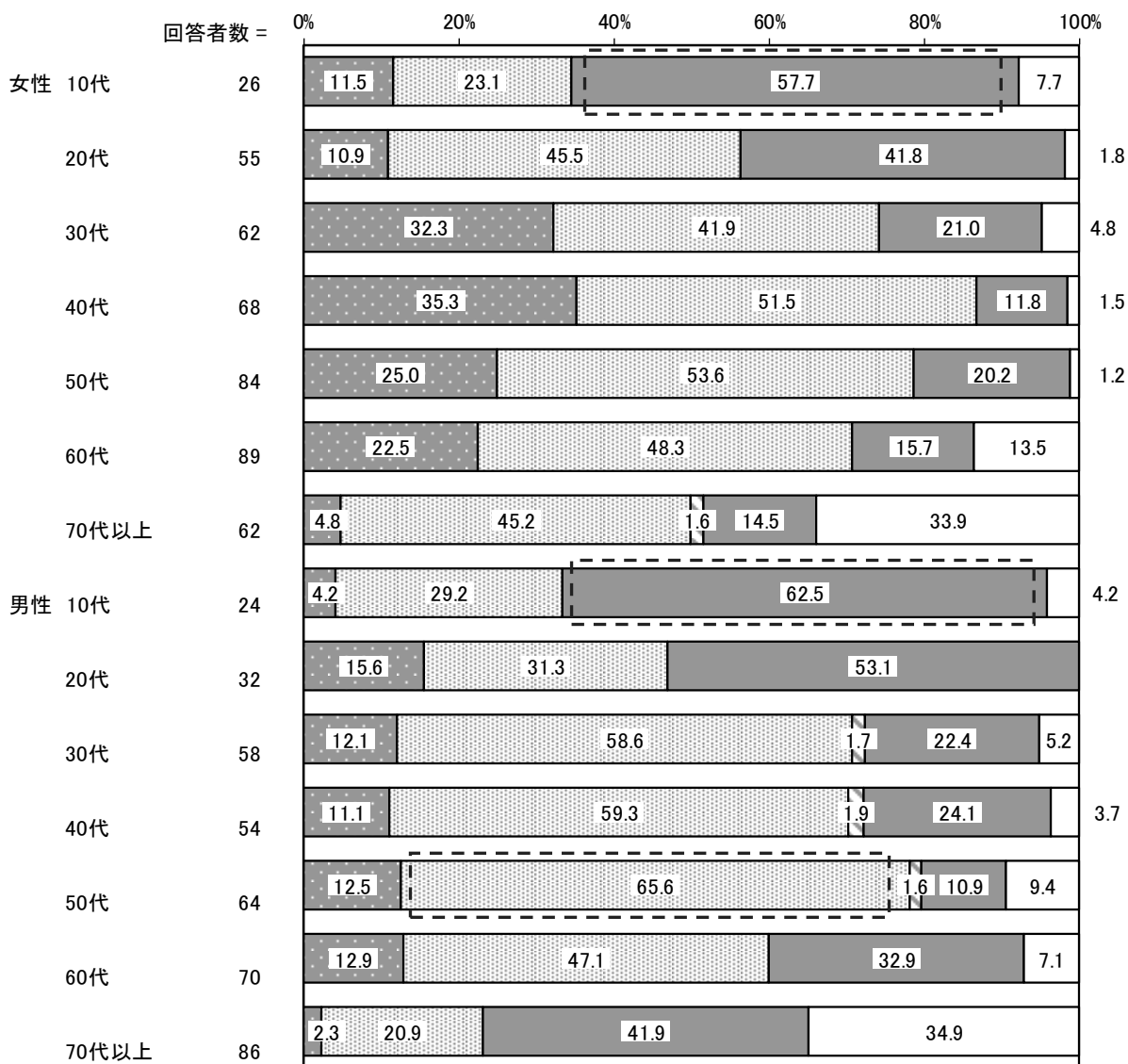
性別で見ると、男性に比べ、女性で「増えた」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「もともととしていない・ない」の割合が高くなっています。

### 【性別】



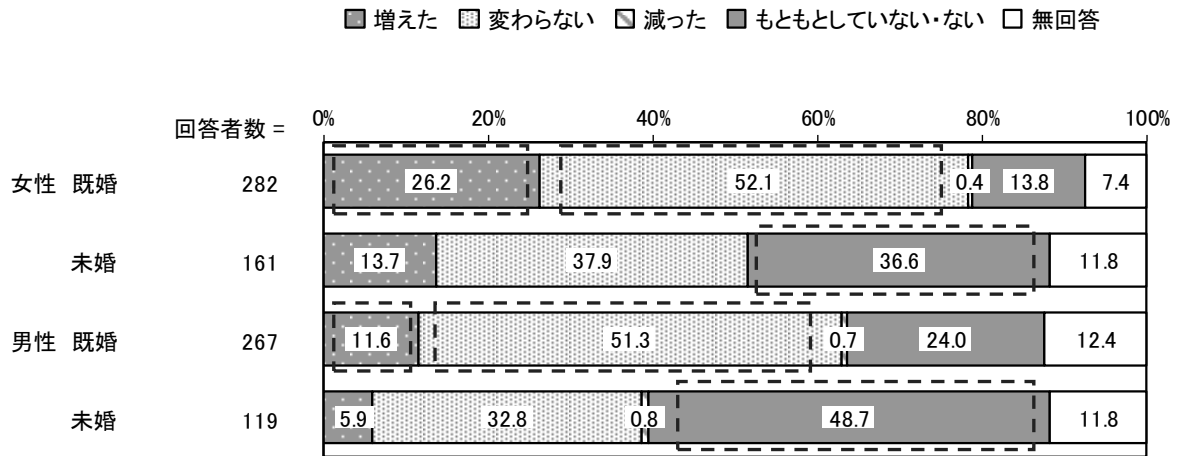
性・年代別で見ると、他に比べ、男性の50代で「変わらない」の割合が高くなっています。また、男女ともに10代で「もともととしていない・ない」の割合が高くなっています。

### 【性・年代別】



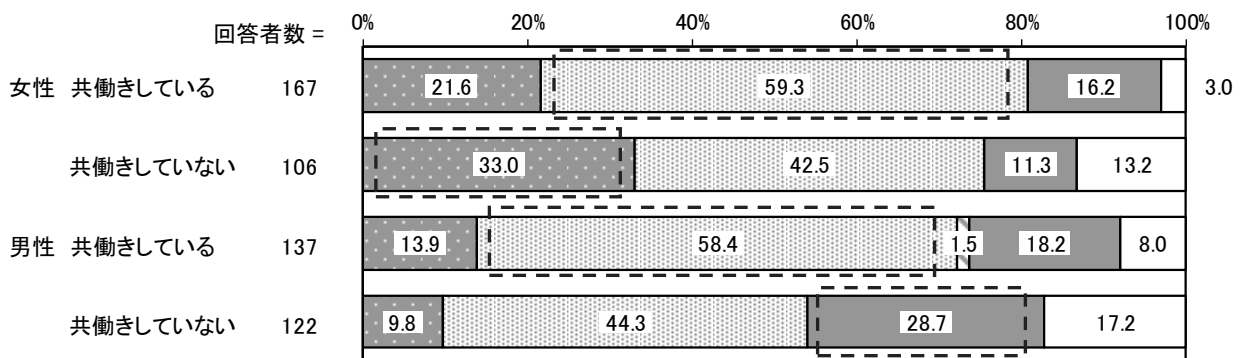
性・婚姻別で見ると、男女ともに既婚で「増えた」「変わらない」の割合が、未婚女性で「もともとしていない・ない」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



性・共働き別で見ると、他に比べ、共働きしていない女性で「増えた」の割合が、共働きしていない男性で「もともとしていない・ない」の割合が高くなっています。また、男女ともに共働きしているで「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・共働き別】



## 7 子どもへの男女共同参画教育について

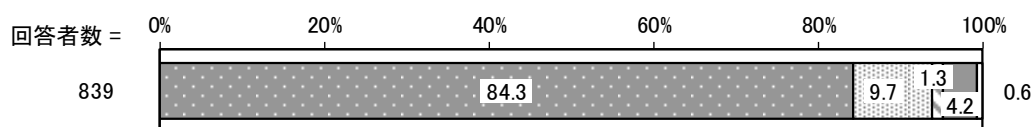
### (1) 子育てについての考え方

問15. 「子育ての方針について、どのように考えますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

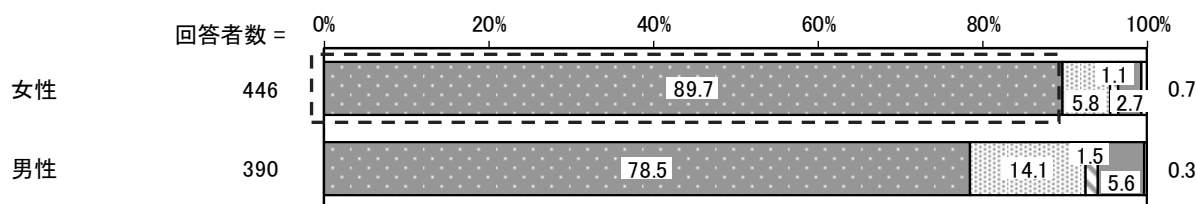
「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい」の割合が84.3%と最も高い。

性別でみると、男性に比べ、女性で「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい」の割合が高い。

- 男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性(その子らしさ)を尊重するのがよい
- ▨ 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい
- その他
- わからない
- 無回答

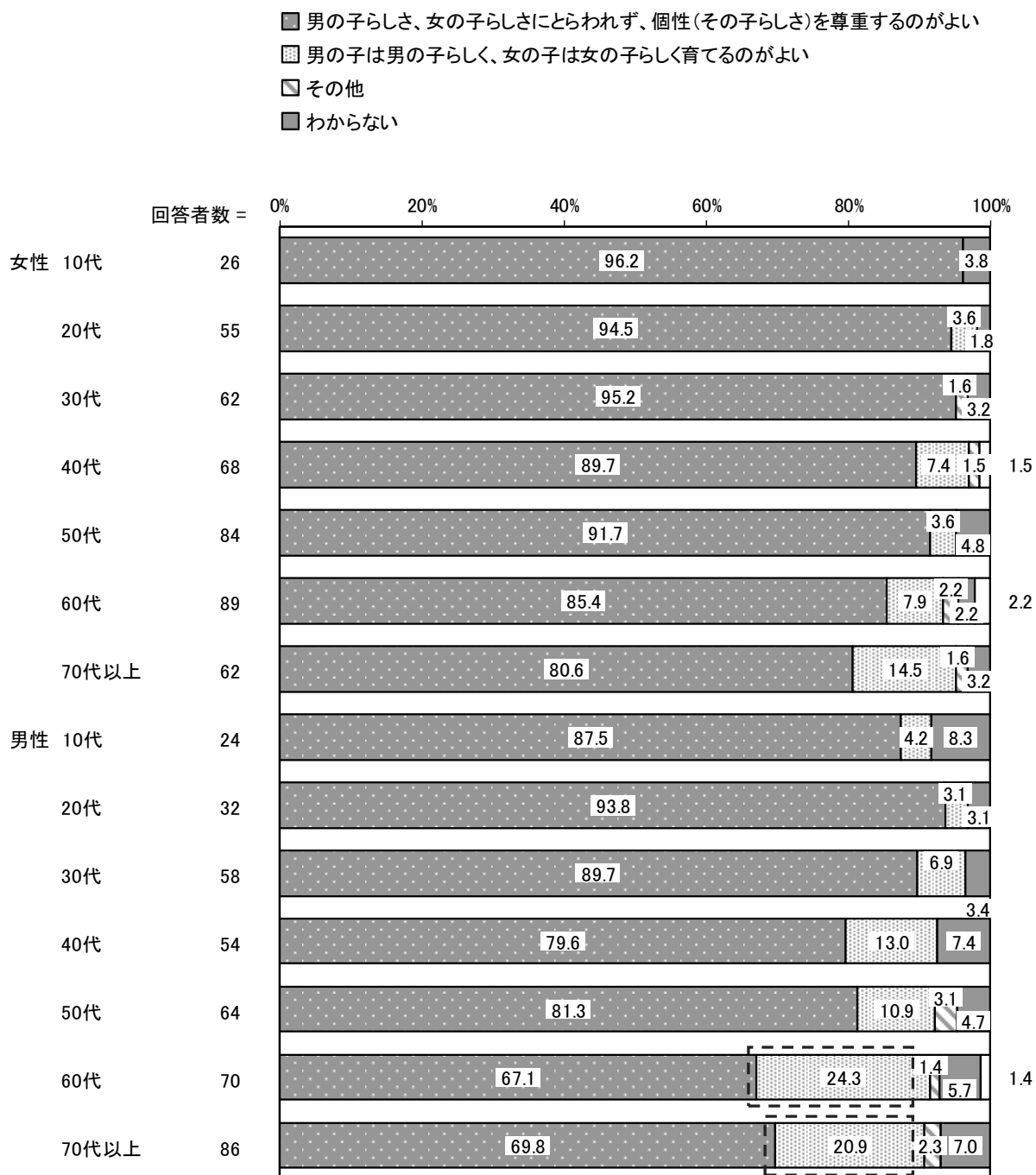


#### 【性別】



性・年代別で見ると、他に比べ、男性 60 代、男性 70 代以上で「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい」の割合が高い。

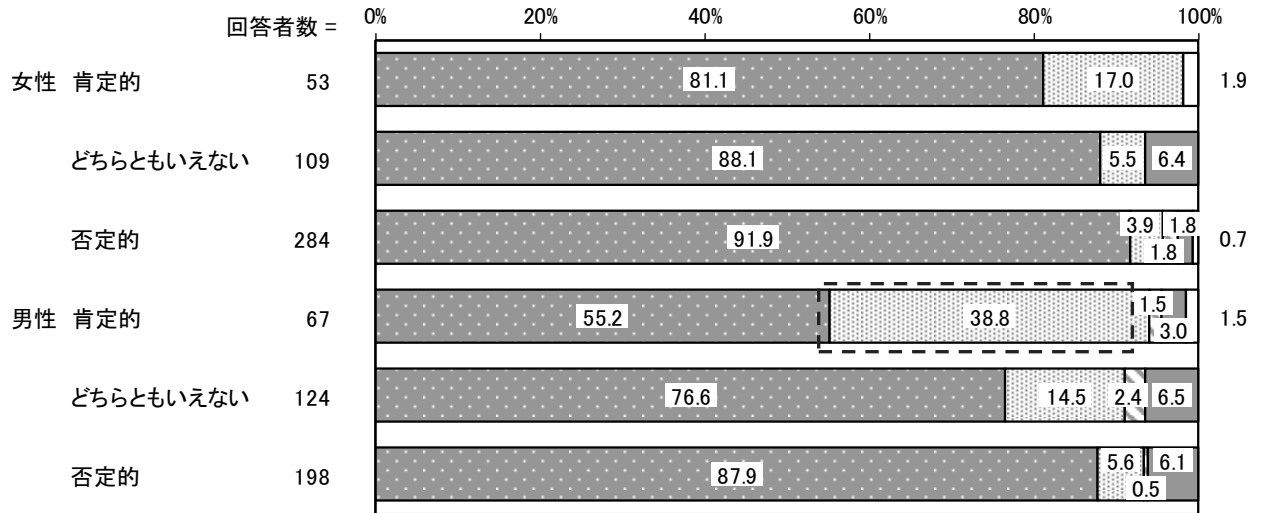
【性・年代別】



性別役割分担意識別でみると、他に比べ、肯定的な男性で「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい」の割合が高い。

【性別役割分担意識別】

- 男の子らしさ、女の子らしさにとられず、個性(その子らしさ)を尊重するのがよい
- ▨ 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい
- その他
- わからない



豊橋市の過去の調査との比較でみると、過去の調査に比べ、令和3年で「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい」の割合が最も高くなっている。

【経年比較】

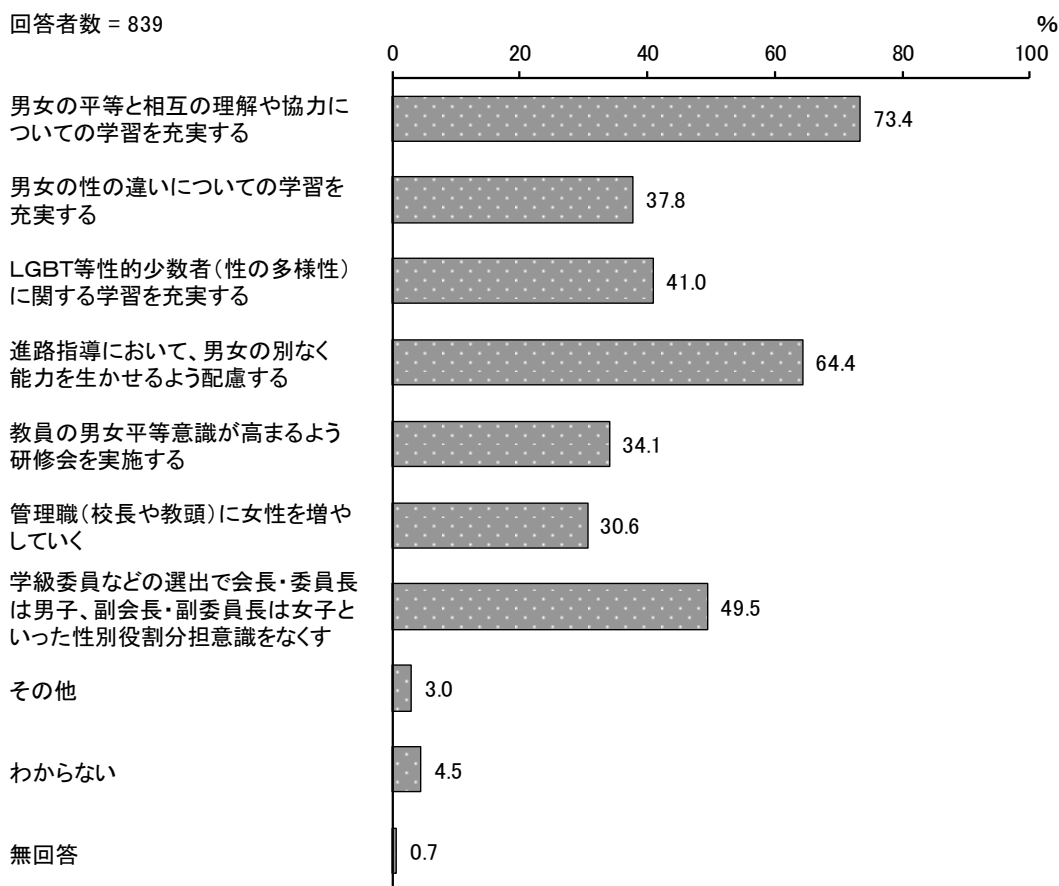
単位：％

	男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性を尊重するのがよい	男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい	その他	わからない	無回答
豊橋市（R03.8）	84.3	9.7	1.3	4.2	0.6
女性	89.7	5.8	1.1	2.7	0.7
男性	78.5	14.1	1.5	5.6	0.3
豊橋市（R01.8）	81.9	10.8	1.8	4.6	0.9
女性	88.2	6.0	1.4	4.1	0.2
男性	73.4	17.7	1.9	5.0	1.9
豊橋市（H28.8）	76.1	14.4	3.3	4.4	1.7
女性	80.4	9.5	4.1	4.3	1.6
男性	70.1	21.3	2.4	4.8	1.4
豊橋市（H26.9）	69.5	20.6	1.9	4.8	3.3
女性	73.0	15.8	2.5	4.8	4.0
男性	65.0	26.4	1.2	4.9	2.5
豊橋市（H23.6）	68.6	22.6	3.3	3.8	1.7
女性	75.5	15.9	4.3	2.7	1.7
男性	60.3	30.9	2.2	5.4	1.3
豊橋市（H20.5）	62.3	28.0	4.1	3.2	2.4
女性	67.7	21.7	5.8	3.4	1.4
男性	56.0	36.7	2.2	3.0	2.2
豊橋市（H17.5）	55.9	33.9	3.3	3.3	3.6
女性	61.6	27.0	3.9	4.1	3.4
男性	48.4	43.5	2.3	2.3	3.5
豊橋市（H13.8）	61.5	29.1	3.4	3.5	2.6
女性	66.9	24.3	3.9	2.8	2.2
男性	54.8	36.2	2.8	3.6	2.6

## (2) 男女平等のための学校教育のあり方

問16. 男女平等の人間関係をつくるために学校教育の場で必要と思うものを次の中からすべて選んで○をつけてください。

「男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」の割合が73.4%と最も高く、次いで「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」の割合が64.4%、「学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす」の割合が49.5%となっている。





性別でみると、男性に比べ、女性で「LGBT等性的少数者（性の多様性）に関する学習を充実する」「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」「学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす」の割合が高い。

【性別】

単位：%

区分	回答者数（件）	男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	男女の性の違いについての学習を充実する	LGBT等性的少数者（性の多様性）に関する学習を充実する	進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する	教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する	管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく	学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす	その他	わからない	無回答
女性	446	73.8	35.4	45.3	67.3	32.7	32.3	53.6	2.5	4.7	1.1
男性	390	73.1	40.5	35.9	61.0	35.6	28.7	44.6	3.6	4.4	0.3

性・年代別で見ると、他に比べ、女性 20 代で「LGBT 等性的少数者（性の多様性）に関する学習を充実する」の割合が高い。

【性・年代別】

単位：%

区分	回答者数（件）	男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	男女の性の違いについての学習を充実する	LGBT 等性的少数者（性の多様性）に関する学習を充実する	進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する	教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する	管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく	学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす	その他	わからない	無回答
女性 10 代	26	88.5	34.6	65.4	65.4	42.3	42.3	50.0	3.8	—	—
20 代	55	81.8	41.8	72.7	65.5	30.9	47.3	56.4	5.5	1.8	—
30 代	62	74.2	45.2	59.7	75.8	40.3	40.3	58.1	3.2	3.2	—
40 代	68	72.1	35.3	54.4	61.8	26.5	29.4	50.0	—	2.9	1.5
50 代	84	69.0	29.8	35.7	69.0	33.3	35.7	56.0	1.2	7.1	—
60 代	89	74.2	34.8	33.7	66.3	29.2	23.6	50.6	3.4	2.2	1.1
70 代以上	62	67.7	29.0	17.7	66.1	33.9	17.7	53.2	1.6	12.9	4.8
男性 10 代	24	66.7	37.5	45.8	54.2	25.0	25.0	29.2	—	8.3	—
20 代	32	71.9	37.5	43.8	53.1	31.3	21.9	43.8	6.3	9.4	—
30 代	58	67.2	51.7	41.4	53.4	41.4	32.8	29.3	5.2	3.4	—
40 代	54	68.5	51.9	44.4	51.9	24.1	24.1	37.0	5.6	3.7	—
50 代	64	76.6	34.4	39.1	64.1	31.3	28.1	50.0	4.7	3.1	—
60 代	70	74.3	40.0	31.4	65.7	35.7	28.6	51.4	2.9	2.9	—
70 代以上	86	80.2	33.7	23.3	70.9	47.7	33.7	55.8	1.2	4.7	—

性・婚姻別で見ると、他に比べ、既婚女性で「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」の割合が高い。

【性・婚姻別】

単位：％

区分	回答者数(件)	男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	男女の性の違いについての学習を充実する	LGBT等性的少数者(性の多様性)に関する学習を充実する	進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する	教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する	管理職(校長や教頭)に女性を増やしていく	学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす	その他	わからない	無回答
女性 既婚	282	71.6	34.4	43.6	70.6	32.3	30.9	55.3	1.8	4.6	1.1
女性 未婚	161	78.3	37.9	49.1	61.5	34.2	35.4	50.3	3.7	5.0	0.6
男性 既婚	267	78.3	41.2	36.3	62.5	39.0	33.0	48.7	3.0	1.9	—
男性 未婚	119	61.3	39.5	35.3	58.0	28.6	20.2	36.1	5.0	9.2	0.8

過去の調査と項目が異なるため、参考とする。

【経年比較】

単位：％

	男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	男女の性の違いについての学習を充実させるよう配慮する	LGBT等性的少数者(性の多様性)に関する学習を充実する	進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する	教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する	管理職(校長や教頭)に女性を増やしていく	学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす	その他	わからない	無回答
豊橋市 (R03.8)	73.4	37.8	41.0	64.4	34.1	30.6	49.5	3.0	4.5	0.7
女性	73.8	35.4	45.3	67.3	32.7	32.3	53.6	2.5	4.7	1.1
男性	73.1	40.5	35.9	61.0	35.6	28.7	44.6	3.6	4.4	0.3

単位：％

	男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	男女の性の違いについての学習を充実させるよう配慮する	進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する	教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する	管理職(校長や教頭)に女性を増やしていく	出席簿の順番など、男女を分ける習慣をなくす	会長は男子、副会長は女子といった性別役割分担意識をなくす	その他	わからない	無回答
豊橋市 (R01.8)	64.5	55.5	25.9	24.6	—	44.9	2.9	5.1	1.9	
女性	63.5	59.6	24.3	24.7	—	45.4	1.9	4.5	2.1	
男性	65.4	50.7	28.8	24.1	—	44.0	3.0	5.8	1.9	
豊橋市 (H28.8)	62.5	56.0	25.5	23.3	—	44.5	3.7	5.9	1.4	
女性	62.3	57.5	23.6	25.4	—	44.7	2.5	6.5	0.9	
男性	62.9	54.1	27.8	20.8	—	44.3	5.5	5.0	1.7	
豊橋市 (H26.9)	57.7	48.7	13.7	14.5	5.5	28.7	2.4	6.5	2.9	
女性	59.5	50.6	12.6	12.8	4.8	27.7	1.7	7.0	3.5	
男性	55.7	46.8	15.1	16.1	6.4	29.1	3.3	6.0	2.3	
豊橋市 (H23.6)	53.3	43.8	15.4	16.2	7.8	27.5	4.3	5.6	3.1	
女性	55.1	46.4	12.9	14.8	6.1	29.7	3.2	6.8	3.0	
男性	51.0	40.2	18.1	18.4	10.2	25.3	5.8	4.3	2.6	
豊橋市 (H20.5)	51.0	47.8	15.3	20.5	6.7	36.1	3.5	—	2.9	
女性	51.8	49.1	14.8	21.4	5.9	34.6	2.5	—	2.3	
男性	50.6	46.0	16.7	18.8	7.7	36.9	5.0	—	3.6	
豊橋市 (H17.5)	51.5	54.3	12.0	18.2	5.9	31.9	2.6	—	4.3	
女性	53.9	54.9	10.7	20.0	5.4	29.3	2.1	—	4.2	
男性	47.7	53.0	14.3	16.4	6.8	36.0	3.5	—	4.2	
豊橋市 (H13.8)	51.0	57.6	13.3	15.7	6.5	31.0	2.1	—	3.8	
女性	52.7	58.8	12.2	17.8	7.1	30.8	1.4	—	3.2	
男性	48.8	55.8	15.2	12.7	5.9	31.0	3.1	—	4.1	

※令和元年調査、平成28年調査では、過去の調査と回答できる個数が異なる。

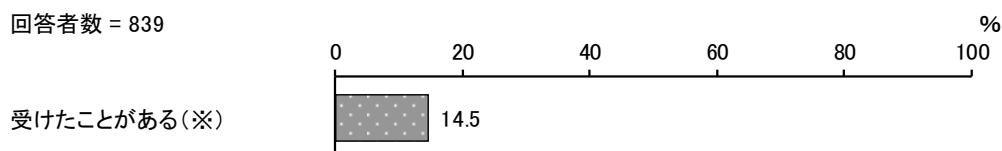
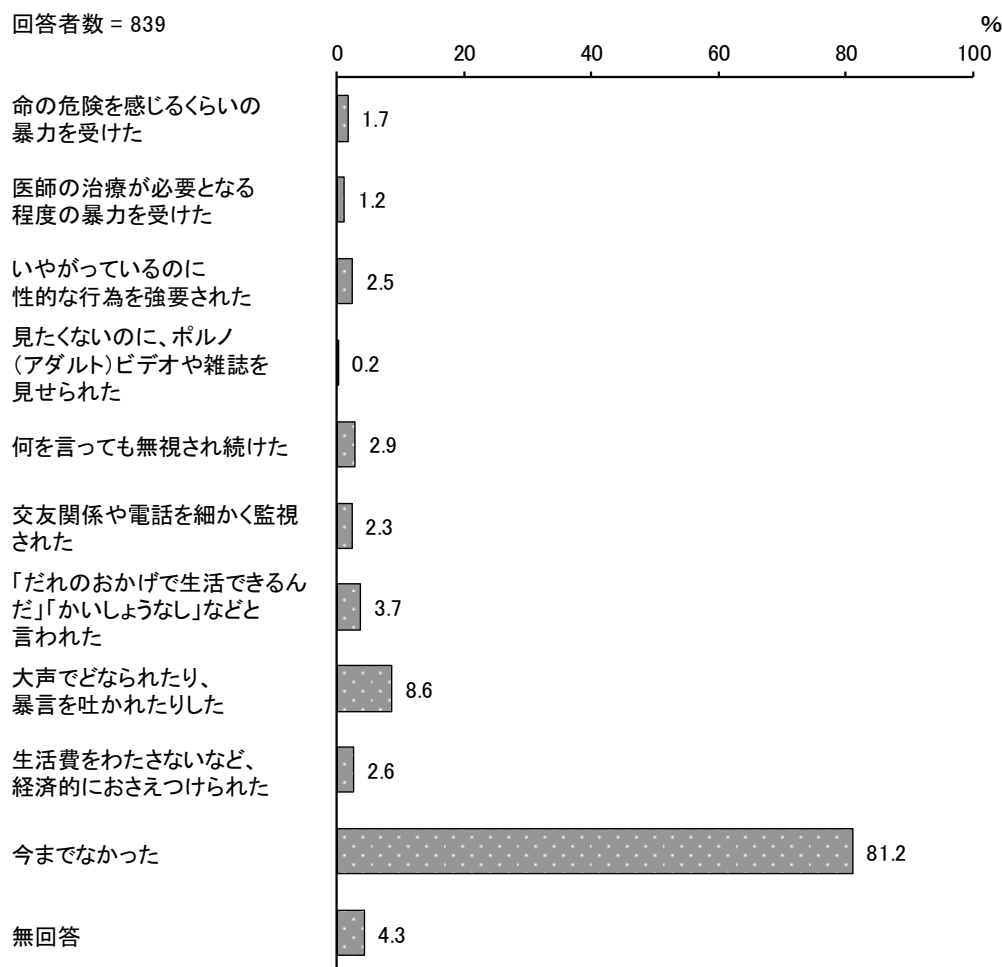
## 8 配偶者等からの暴力について

### (1) 配偶者や交際相手から暴力を受けた経験

問17. これまでに、あなたの配偶者や交際相手から、次のような行為（DV）を受けた経験がありますか。あてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「今までなかった」の割合が81.2%と最も高い。

全体から「今までなかった」と無回答を除いた“何らかの暴力を受けたことがある(※)”人の割合は14.5%となっている。



※ 全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合

性別でみると、男性に比べ、女性で「大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした」の割合が、女性に比べ、男性で「今までなかった」の割合が高い。また、男性に比べ、女性で“何らかの暴力を受けたことがある（※）”割合が高く、20.0%となっている。

【性別】

単位：%

区分	回答者数(件)	命の危険を感じるくらいの暴力を受けた	医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた	いやがっているのに性的な行為を強要された	見たくないのに、ポルノ(アダルト)ビデオや雑誌を見せられた	何を言っても無視され続けた	交友関係や電話を細かく監視された	「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしようなし」などと言われた	大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした	生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた	今までなかった	無回答	何らかの暴力を受けたことがある(※)
女性	446	2.2	2.0	4.5	0.4	3.1	3.1	5.4	12.1	4.7	77.4	2.7	20.0
男性	390	0.8	0.3	—	—	2.6	1.3	1.8	4.4	0.3	86.2	6.2	7.7

※ 全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合

性・年代別で見ると、他に比べ、女性 40 代、女性 50 代で「大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした」の割合が高い。

【性・年代別】

単位：%

区分	回答者数(件)	命の危険を感じるくらいの暴力を受けた	医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた	いやがっているのに性的な行為を強要された	見たくないのに、ポルノ(アダルト)ビデオや雑誌を見せられた	何を言っても無視され続けた	交友関係や電話を細かく監視された	「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしようなし」などと言われた	大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした	生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた	今までなかった	無回答	何らかの暴力を受けたことがある(※)
女性 10代	26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—
20代	55	1.8	—	3.6	—	1.8	5.5	—	3.6	1.8	94.5	—	5.5
30代	62	1.6	3.2	1.6	—	4.8	4.8	6.5	8.1	3.2	82.3	1.6	16.1
40代	68	2.9	2.9	10.3	1.5	2.9	5.9	10.3	22.1	7.4	67.6	—	32.4
50代	84	3.6	2.4	2.4	1.2	4.8	3.6	11.9	19.0	3.6	67.9	3.6	28.6
60代	89	2.2	2.2	7.9	—	3.4	1.1	2.2	10.1	6.7	76.4	5.6	18.0
70代以上	62	1.6	1.6	1.6	—	1.6	—	1.6	11.3	6.5	72.6	4.8	22.6
男性 10代	24	4.2	—	—	—	—	—	4.2	4.2	—	91.7	—	8.3
20代	32	—	—	—	—	—	—	—	3.1	—	96.9	—	3.1
30代	58	1.7	—	—	—	1.7	1.7	—	1.7	—	91.4	5.2	3.4
40代	54	—	—	—	—	7.4	—	1.9	5.6	1.9	88.9	—	11.1
50代	64	—	—	—	—	3.1	4.7	6.3	7.8	—	81.3	6.3	12.5
60代	70	1.4	—	—	—	2.9	1.4	—	2.9	—	87.1	4.3	8.6
70代以上	86	—	1.2	—	—	1.2	—	—	3.5	—	80.2	16.3	3.5

※ 全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合

性・婚姻別で見ると、他に比べ、未婚女性で「生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた」の割合が高い。

【性・婚姻別】

単位：％

区分	回答者数(件)	命の危険を感じるくらいの暴力を受けた	医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた	いやがっているのに性的な行為を強要された	見たくないのに、ポルノ(アダルト)ビデオや雑誌を見せられた	何を言っても無視され続けた	交友関係や電話を細かく監視された	「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしよなし」などと言われた	大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした	生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた	今までなかった	無回答	何らかの暴力を受けたことがある(※)
女性 既婚	282	2.1	1.8	2.8	0.4	3.5	3.2	6.4	13.5	2.8	75.5	3.2	21.3
未婚	161	2.5	2.5	7.5	0.6	2.5	3.1	3.7	9.9	8.1	80.1	1.9	18.0
男性 既婚	267	0.7	0.4	—	—	3.4	1.1	1.5	4.9	0.4	86.5	5.2	8.2
未婚	119	0.8	—	—	—	0.8	1.7	2.5	3.4	—	84.9	8.4	6.7

※全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合



豊橋市の過去の調査との比較でみると、令和元年調査に比べ、令和3年で“何らかの暴力を受けたことがある（※）”の割合が低くなっている。

【経年比較】

単位：%

	命の危険を感じるくらいの暴行を受けた	医師の治療が必要となる程度の暴行を受けた	いやがっているのに性的行為を強要された	見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた	何を言っても無視され続けた	交友関係や電話を細かく監視された	「だれのおかげで生活できるんだ」とか「かいしようなし」と言われた	大声でどなられたり、暴言を吐かれた	生活費をわたされれないなど、経済的におさえつけられた	医師の治療が必要でない程度の暴行を受けた	今までなかった（そのようなことはなかった）	無回答 H20調査では該当なし（そのようなことはなかった）として分析	何らかの暴力を受けたことがある（※）
豊橋市（R03.8）	1.7	1.2	2.5	0.2	2.9	2.3	3.7	8.6	2.6	—	81.2	4.3	14.5
女性	2.2	2.0	4.5	0.4	3.1	3.1	5.4	12.1	4.7	—	77.4	2.7	20.0
男性	0.8	0.3	—	—	2.6	1.3	1.8	4.4	0.3	—	86.2	6.2	7.7
豊橋市（R01.8）	1.5	2.3	3.4	0.9	3.9	3.7	5.1	12.8	3.8	—	74.9	6.1	19.0
女性	2.3	3.3	5.8	1.4	3.3	5.2	6.8	19.0	5.4	—	69.9	4.3	25.8
男性	0.0	0.6	0.3	0.3	4.4	1.4	2.5	4.4	1.4	—	82.3	8.0	9.7
豊橋市（H28.8）	1.1	1.8	2.6	0.6	3.2	2.7	3.5	8.6	2.5	—	78.8	6.4	14.8
女性	1.6	3.1	4.7	1.1	3.2	4.1	5.8	13.9	4.0	—	71.5	7.0	21.5
男性	0.5	0.2	—	—	3.3	1.0	0.7	1.7	0.7	—	88.8	4.8	6.4
豊橋市（H26.9）	0.7	1.6	2.7	0.4	4.0	2.8	4.4	10.5	2.7	—	73.7	9.1	17.2
女性	1.3	2.8	5.0	0.8	4.5	4.1	6.8	15.4	4.6	—	68.2	6.6	25.2
男性	—	0.2	—	—	3.1	1.4	1.7	4.5	0.4	—	80.4	11.8	7.8
豊橋市（H23.6）	1.7	1.4	4.3	0.8	5.6	3.7	5.3	13.2	3.9	—	73.3	4.3	22.4
女性	2.5	2.0	6.6	0.8	4.6	4.3	7.5	17.9	6.3	—	67.8	3.5	28.7
男性	0.6	0.6	1.1	0.6	6.7	2.8	2.4	6.9	0.6	—	80.3	5.2	14.5
豊橋市（H20.5）	1.1	1.9	4.0	0.9	5.9	4.2	5.8	13.9	3.3	3.1	—	76.5	23.5
女性	1.9	3.1	6.2	1.1	5.1	4.2	7.3	18.9	5.5	4.8	—	70.4	29.6
男性	0.2	0.4	1.2	0.6	6.9	4.2	4.0	8.1	0.8	0.8	—	83.7	16.3
豊橋市（H17.5）	0.6	0.9	3.1	0.3	3.7	3.7	4.0	9.7	2.4	3.3	72.2	9.9	17.9
女性	1.0	1.3	5.2	0.3	3.9	3.9	5.4	13.8	3.6	5.2	67.6	8.6	23.8
男性	0.0	0.2	0.2	0.2	3.3	3.3	2.1	4.2	0.7	0.7	78.7	11.4	9.9
豊橋市（H13.8）	1.0	1.4	4.3	0.6	3.5	2.8	3.9	8.3	2.2	3.9	68.5	15.6	15.9
女性	1.8	2.4	6.9	1.0	3.9	3.4	5.7	12.6	3.4	5.9	65.1	12.6	22.3
男性	0.0	0.0	1.0	0.3	2.8	2.1	1.6	3.1	0.5	1.6	74.4	18.3	7.3

※ 全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合

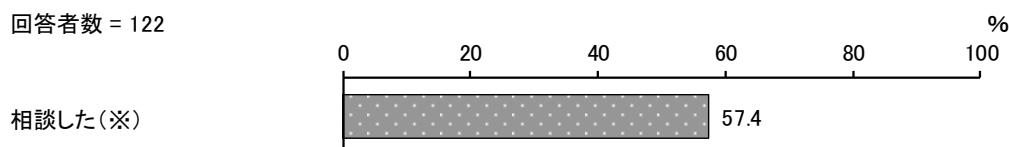
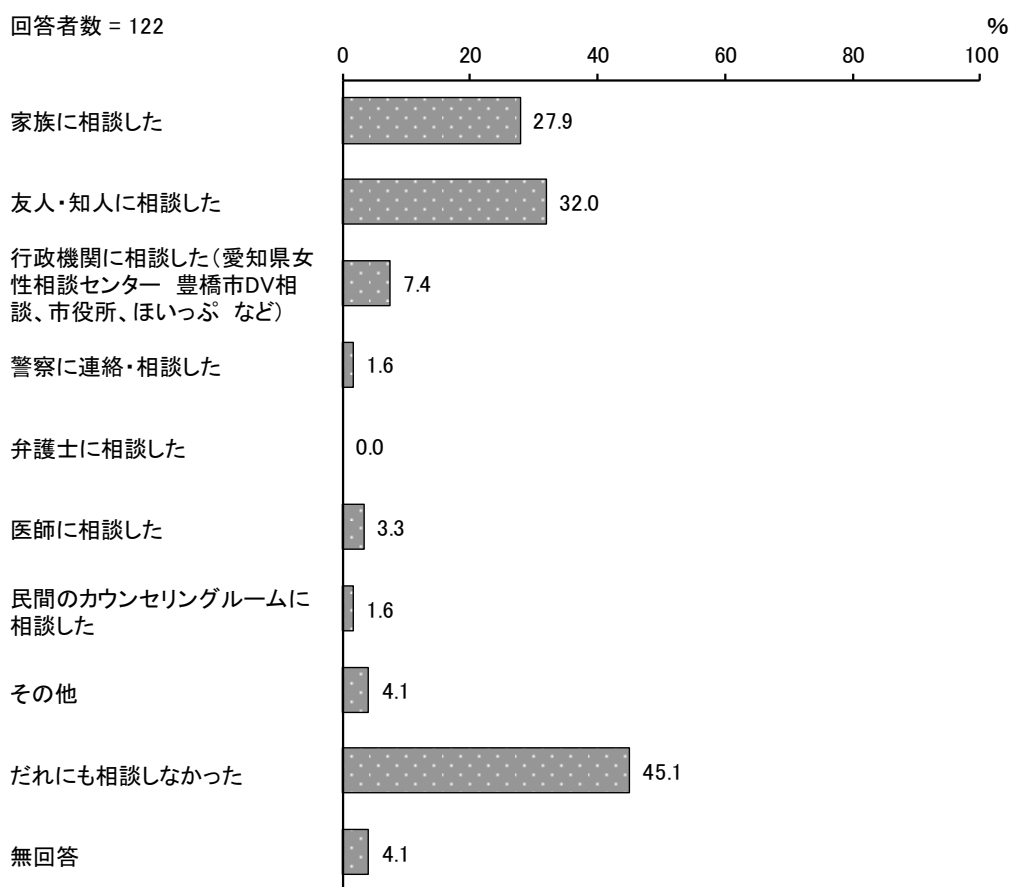
## (2) 暴力行為 (DV) についての相談相手

《問17で、「命の危険を感じるくらいの暴力を受けた」から「生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた」を選んだ方にのみお聞きします》

問17-1. これまでに配偶者や交際相手から受けた行為 (DV) について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「だれにも相談しなかった」の割合が45.1%と最も高く、次いで「友人・知人に相談した」の割合が32.0%、「家族に相談した」の割合が27.9%となっている。

全体から「だれにも相談しなかった」と無回答を除いた“相談した(※)”人の割合は57.4%となっている。



※ 全体から「だれにも相談しなかった」と「無回答」を除いた割合

性別で見ると、男性に比べ、女性で「家族に相談した」「友人・知人に相談した」の割合が高い。また、男女ともに「だれにも相談しなかった」の割合が最も高く、女性で40.4%、男性で63.3%となっている。

【性別】

単位：%

区分	回答者数(件)	家族に相談した	友人・知人に相談した	行政機関に相談した(愛知県女性相談センター、豊橋市DV相談、市役所、ほいっぶなど)	警察に連絡・相談した	弁護士に相談した	医師に相談した	民間のカウンセリングルームに相談した	その他	だれにも相談しなかった	無回答	相談した(※)
女性	89	33.7	37.1	9.0	2.2	—	1.1	1.1	5.6	40.4	2.2	65.2
男性	30	10.0	16.7	—	—	—	10.0	3.3	—	63.3	6.7	33.3

※ 全体から「だれにも相談しなかった」と「無回答」を除いた割合

性・年代別で見ると、他に比べ、女性 50 代、女性 70 代以上で「だれにも相談しなかった」の割合が高い。

【性・年代別】

単位：%

区分	回答者数(件)	家族に相談した	友人・知人に相談した	行政機関に相談した(愛知県女性相談センター、豊橋市DV相談、市役所、ほいっぶなど)	警察に連絡・相談した	弁護士に相談した	医師に相談した	民間のカウンセリングルームに相談した	その他	だれにも相談しなかった	無回答	相談した(※)
女性 10代	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20代	3	33.3	66.7	—	—	—	—	—	—	33.3	—	66.7
30代	10	30.0	40.0	20.0	20.0	—	10.0	—	10.0	30.0	—	70.0
40代	22	45.5	54.5	—	—	—	—	—	—	27.3	—	81.8
50代	24	25.0	29.2	12.5	—	—	—	—	4.2	58.3	—	50.0
60代	16	37.5	31.3	18.8	—	—	—	6.3	12.5	25.0	6.3	75.0
70代以上	14	28.6	21.4	—	—	—	—	—	7.1	57.1	7.1	50.0
男性 10代	2	100.0	—	—	—	—	—	—	—	50.0	—	100.0
20代	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	100.0
30代	2	—	50.0	—	—	—	—	—	—	50.0	—	50.0
40代	6	16.7	16.7	—	—	—	—	—	—	83.3	—	16.7
50代	8	—	25.0	—	—	—	25.0	—	—	50.0	12.5	37.5
60代	6	—	—	—	—	—	16.7	—	—	66.7	16.7	16.7
70代以上	3	—	33.3	—	—	—	—	—	—	66.7	—	33.3

※ 全体から「だれにも相談しなかった」と「無回答」を除いた割合

性・婚姻別で見ると、他に比べ、未婚女性で「家族に相談した」の割合が高い。また、既婚男性で「だれにも相談しなかった」の割合が高い。

【性・婚姻別】

単位：％

区分	回答者数(件)	家族に相談した	友人・知人に相談した	行政機関に相談した(愛知県女性相談センター、豊橋市DV相談、市役所、ほいっぶなど)	警察に連絡・相談した	弁護士に相談した	医師に相談した	民間のカウンセリングルームに相談した	その他	だれにも相談しなかった	無回答	相談した(※)
女性 既婚	60	25.0	38.3	6.7	—	—	1.7	1.7	6.7	41.7	3.3	58.3
未婚	29	51.7	34.5	13.8	6.9	—	—	—	3.4	37.9	—	79.3
男性 既婚	22	9.1	18.2	—	—	—	9.1	—	—	68.2	4.5	31.8
未婚	8	12.5	12.5	—	—	—	12.5	12.5	—	50.0	12.5	37.5

※ 全体から「だれにも相談しなかった」と「無回答」を除いた割合

豊橋市の過去の調査との比較で見ると、令和元年調査に比べ、令和3年調査で「友人・知人」の割合が低くなっている。

【経年比較】

単位：％

	家族	友人・知人	行政機関	警察	弁護士	医師	民間のカウンセリングルーム	その他	だれにも相談しなかった	無回答	相談した(※)
豊橋市 (R03.8)	27.9	32.0	7.4	1.6	-	3.3	1.6	4.1	45.1	4.1	57.4
女性	33.7	37.1	9.0	2.2	-	1.1	1.1	5.6	40.4	2.2	65.2
男性	10.0	16.7	-	-	-	10.0	3.3	-	63.3	6.7	33.3
豊橋市 (R01.8)	32.5	45.2	3.0	4.8	4.8	4.2	3.0	3.0	41.6	0.0	58.4
女性	35.2	48.0	2.4	4.8	1.6	4.8	2.4	3.2	37.6	0.0	62.4
男性	20.0	37.1	0.0	0.0	14.3	0.0	2.9	2.9	57.1	0.0	42.9
豊橋市 (H28.8)	28.6	38.1	3.4	3.4	0.7	2.0	1.4	4.1	41.5	1.4	57.1
女性	31.9	42.9	4.2	4.2	0.8	1.7	1.7	4.2	36.1	0.8	63.1
男性	14.8	18.5	-	-	-	3.7	-	3.7	63.0	3.7	33.3
豊橋市 (H26.9)	30.9	36.6	2.1	2.1	4.1	1.0	0.5	2.1	38.7	2.1	79.4
女性	32.9	40.8	2.6	2.6	4.6	1.3	0.7	2.6	32.9	2.0	88.1
男性	22.5	20.0	-	-	2.5	-	-	-	60.0	2.5	45.0
豊橋市 (H23.6)	27.2	36.2	5.3	2.9	2.5	2.9	2.5	2.5	43.6	1.6	54.8
女性	31.2	40.5	6.4	2.3	2.9	2.3	2.3	2.9	37.6	1.7	60.7
男性	17.9	23.9	3.0	4.5	1.5	4.5	3.0	1.5	59.7	1.5	38.8
豊橋市 (H20.5)	-	-	-	-	-	-	-	-	53.3	6.9	39.9
女性	-	-	-	-	-	-	-	-	51.6	5.8	42.6
男性	-	-	-	-	-	-	-	-	56.1	9.8	34.1
豊橋市 (H17.5)	-	-	-	-	-	-	-	-	29.1	50.3	20.6
女性	-	-	-	-	-	-	-	-	28.8	47.9	23.3
男性	-	-	-	-	-	-	-	-	31.0	57.1	11.9

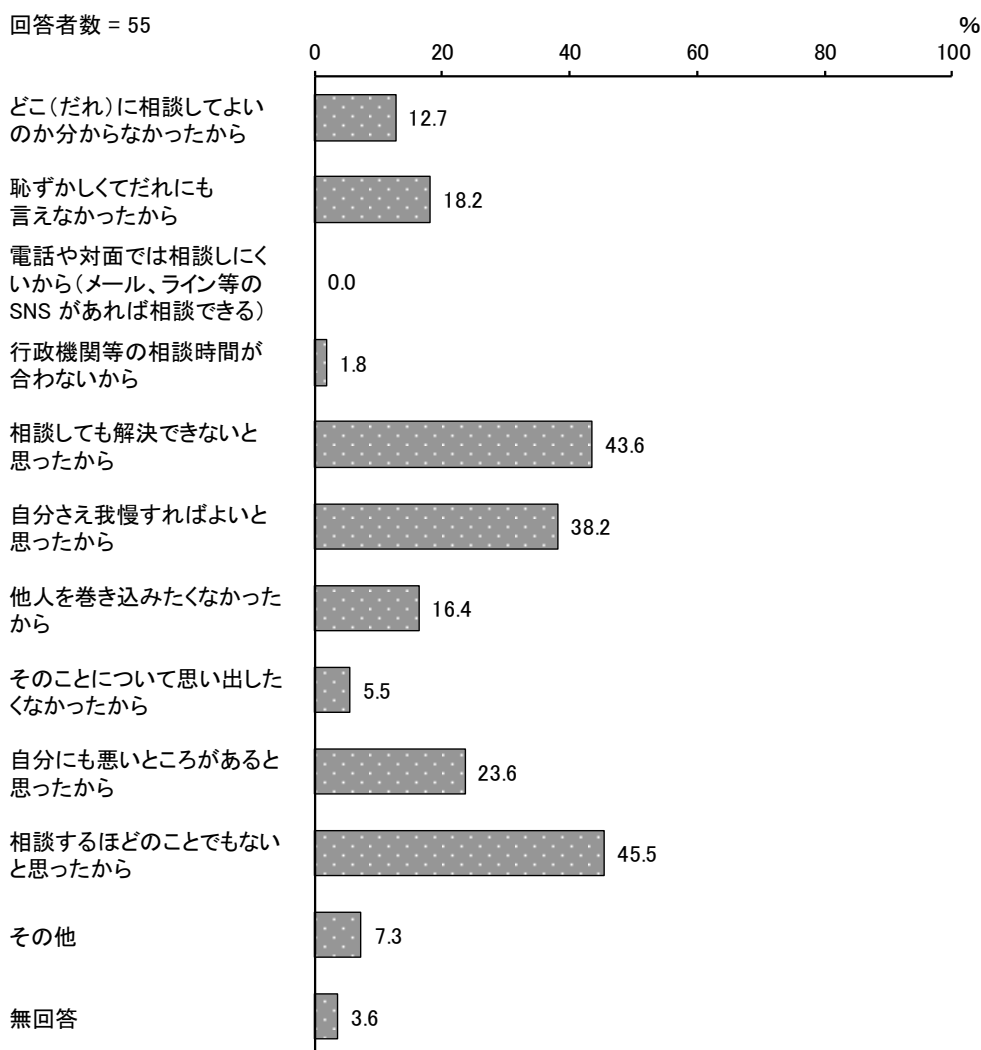
※全体から「誰にも相談しなかった」「無回答」を除いた割合

### (3) 相談をしなかった理由

《問17-1で「だれにも相談しなかった」と答えた方のみお聞きします》

問17-2 だれにも相談しなかった理由として、次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「相談するほどのことでもないと思ったから」の割合が45.5%と最も高く、次いで「相談しても解決できないと思ったから」の割合が43.6%、「自分さえ我慢すればよいと思ったから」の割合が38.2%となっている。



性別でみると、女性に比べ、男性で「どこ（だれ）に相談してよいのか分からなかったから」「他人を巻き込みたくなかったから」「自分にも悪いところがあると思ったから」の割合が高い。

【性別】

単位：%

区分	回答者数（件）	どこ（だれ）に相談してよいのか分からなかったから	恥ずかしくてだれにも言えなかったから	電話や対面では相談しにくいから （メール、ライン等のSNSがあれば相談できる）	行政機関等の相談時間が合わないから	相談しても解決できないと思ったから	自分さえ我慢すればよいと思ったから	他人を巻き込みたくなかったから	そのことについて思い出しなくなかったから	自分にも悪いところがあると思ったから	相談するほどのことでもないと考えたから	その他	無回答
女性	36	8.3	16.7	—	2.8	41.7	36.1	13.9	5.6	16.7	44.4	11.1	2.8
男性	19	21.1	21.1	—	—	47.4	42.1	21.1	5.3	36.8	47.4	—	5.3



過去の調査と項目が異なるため、参考とする。

【経年比較】

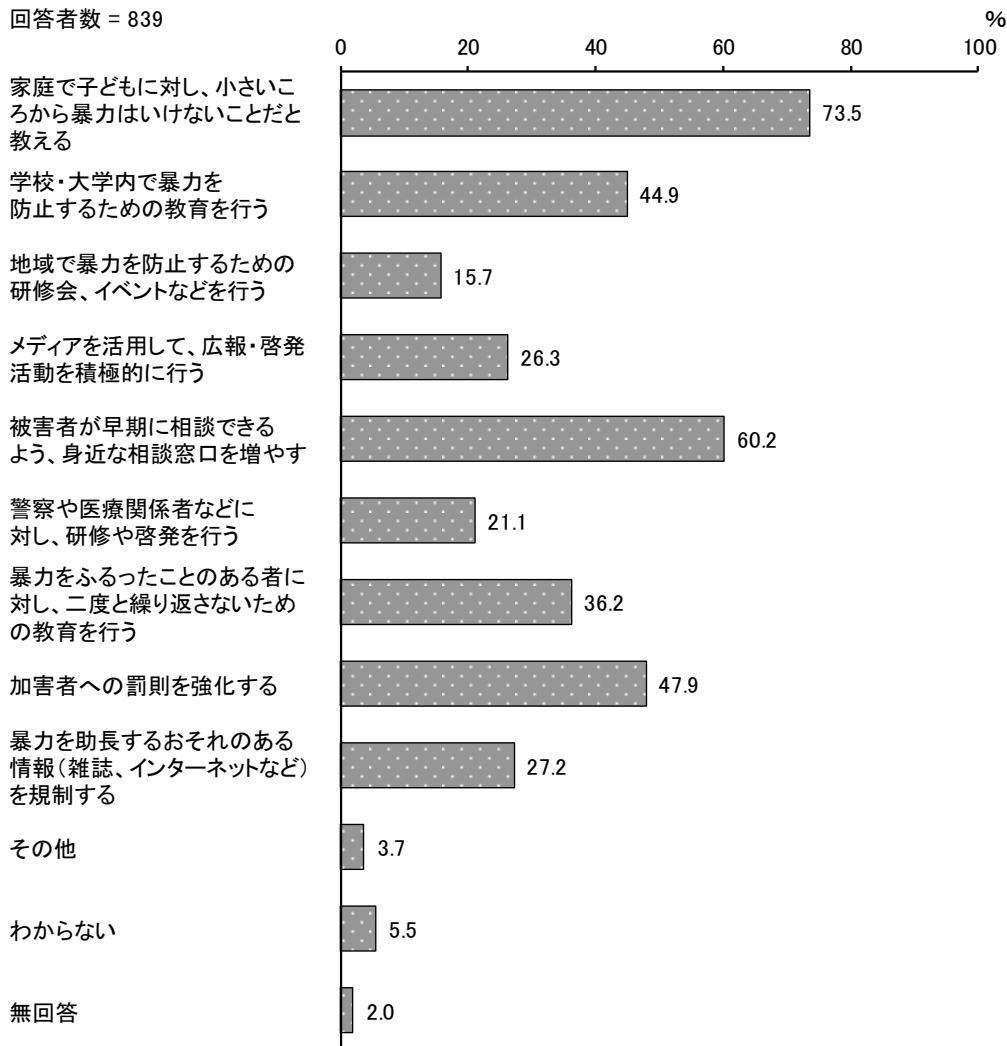
単位：%

	から どこ(だれ)に相談してよいのか分からなかった	恥ずかしくてだれにも言えなかったから	相談しても解決できないと思ったから	相談したことがわかると、もっとひどい暴力をうけると思ったから	相談した相手の言動により、かえって不快な思いをすと思ったから	自分さえ我慢すればよいと思ったから	世間体が悪いから	他人を巻き込みたくなかったから	そのことについて思い出しなくなかったから	自分にも悪いところがあると思ったから	相談するほどのことでもないと思ったから	その他	無回答
豊橋市 (R01.8)	11.6	13.0	42.0	—	8.7	31.9	8.7	13.0	10.1	23.2	44.9	4.3	1.4
女性	10.6	17.0	48.9	—	12.8	38.3	8.5	14.9	10.6	8.5	42.6	6.4	0.0
男性	15.0	5.0	25.0	—	0.0	20.0	10.0	10.0	5.0	50.0	55.0	0.0	5.0
豊橋市 (H28.8)	11.5	14.8	52.5	—	6.6	41.0	13.1	13.1	9.8	31.1	24.6	9.8	—
女性	11.6	16.3	53.5	—	7.0	39.5	9.3	14.0	14.0	25.6	20.9	11.6	—
男性	11.8	11.8	47.1	—	5.9	41.2	23.5	11.8	—	47.1	35.3	5.9	—
豊橋市 (H26.9)	4.0	16.0	38.7	—	4.0	32.0	6.7	14.7	4.0	25.3	44.0	9.3	1.3
女性	6.0	18.0	42.0	—	6.0	38.0	6.0	14.0	6.0	20.0	32.0	10.0	—
男性	—	12.5	33.3	—	—	20.8	8.3	16.7	—	33.3	66.7	8.3	4.2
豊橋市 (H23.6)	5.7	15.1	33.0	0.9	2.8	25.5	6.6	9.4	4.7	30.2	52.8	—	0.9
女性	7.7	18.5	30.8	0.0	4.6	27.7	6.2	9.2	1.5	23.1	49.2	—	1.5
男性	2.5	7.5	37.5	0.0	0.0	22.5	7.5	10.0	10.0	42.5	60.0	—	0.0
豊橋市 (H20.5)	12.2	12.2	41.5	8.2	4.8	30.6	5.4	12.2	8.8	31.3	40.8	2.7	0.0
女性	12.2	10.2	42.9	8.2	4.1	29.6	5.1	11.2	10.2	25.5	38.8	3.1	0.0
男性	13.0	17.4	39.1	8.7	6.5	30.4	6.5	15.2	6.5	43.5	43.5	2.2	0.0
豊橋市 (H17.5)	5.5	29.1	36.4	9.1	3.6	41.8	9.1	12.7	10.9	23.6	29.1	1.8	1.8
女性	4.8	31.0	31.0	11.9	4.8	40.5	9.5	14.3	14.3	19.0	23.8	2.4	0.0
男性	7.7	23.1	53.8	0.0	0.0	46.2	7.7	7.7	0.0	38.5	46.2	0.0	7.7
豊橋市 (H13.8)	6.8	22.7	47.7	6.8	4.5	34.1	13.6	15.9	9.1	36.4	38.6	6.8	2.3
女性	9.1	21.2	54.5	9.1	6.1	33.3	12.1	15.2	12.1	33.3	39.4	3.0	0.0
男性	0.0	30.0	30.0	0.0	0.0	30.0	20.0	20.0	0.0	50.0	40.0	20.0	10.0

#### (4) 男女間における暴力(DV)を防止するために必要なこと

問18. 配偶者や交際相手からの暴力(DV)を防止するために必要と思うものをすべて選んで○をつけてください。

「家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える」の割合が73.5%と最も高く、次いで「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」の割合が60.2%、「加害者への罰則を強化する」の割合が47.9%となっている。



性別でみると、男性に比べ、女性で「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」「加害者への罰則を強化する」「暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、インターネットなど）を規制する」の割合が高い。

【性別】

単位：%

区分	回答者数（件）	暴力はいけないことだと教える	家庭で子どもに対し、小さいころから	学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う	地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う	暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	加害者への罰則を強化する	暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、インターネットなど）を規制する	その他	わからない	無回答
女性	446	76.5	46.0	15.7	28.3	65.7	24.0	40.1	52.7	31.6	4.0	5.2	1.1	
男性	390	70.5	43.8	15.9	24.1	53.8	17.9	31.8	42.6	22.3	3.3	5.9	2.8	

性・年代別でみると、他に比べ、女性 10 代で「地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う」「メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う」の割合が高い。また、女性 30 代で「加害者への罰則を強化する」の割合が高い。

【性・年代別】

単位：％

区分	回答者数(件)	暴力はいけないことだと教える	家庭で子どもに対し、小さいころから	学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う	地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う	暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	加害者への罰則を強化する	暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、インターネットなど)を規制する	その他	わからない	無回答
女性 10代	26	92.3	65.4	42.3	50.0	76.9	23.1	50.0	65.4	42.3	3.8	—	—	
20代	55	78.2	49.1	12.7	29.1	70.9	32.7	50.9	65.5	25.5	3.6	1.8	—	
30代	62	83.9	50.0	21.0	43.5	69.4	32.3	50.0	75.8	32.3	4.8	1.6	—	
40代	68	75.0	39.7	11.8	22.1	70.6	25.0	38.2	54.4	23.5	4.4	2.9	1.5	
50代	84	73.8	45.2	10.7	28.6	58.3	22.6	40.5	54.8	34.5	6.0	8.3	—	
60代	89	71.9	40.4	12.4	18.0	64.0	18.0	34.8	37.1	34.8	3.4	5.6	1.1	
70代以上	62	72.6	46.8	17.7	24.2	59.7	17.7	25.8	30.6	32.3	1.6	11.3	4.8	
男性 10代	24	75.0	45.8	12.5	29.2	50.0	16.7	37.5	45.8	8.3	—	8.3	—	
20代	32	62.5	37.5	12.5	18.8	46.9	12.5	37.5	43.8	12.5	3.1	15.6	—	
30代	58	70.7	46.6	13.8	27.6	51.7	13.8	36.2	63.8	19.0	6.9	3.4	1.7	
40代	54	66.7	51.9	16.7	16.7	53.7	20.4	33.3	40.7	9.3	7.4	3.7	—	
50代	64	73.4	46.9	17.2	26.6	59.4	18.8	28.1	46.9	23.4	1.6	4.7	3.1	
60代	70	70.0	41.4	14.3	21.4	57.1	21.4	31.4	38.6	31.4	4.3	7.1	1.4	
70代以上	86	73.3	39.5	19.8	27.9	53.5	18.6	27.9	29.1	32.6	—	4.7	7.0	

性・婚姻別で見ると、他に比べ、未婚女性で「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」の割合が高い。

【性・婚姻別】

単位：％

区分	回答者数(件)	暴力はいけないことだと教える	家庭で子どもに対し、小さいころから	学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う	地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う	暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	加害者への罰則を強化する	暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、インターネットなど)を規制する	その他	わからない	無回答
女性 既婚	282	76.2	45.7	14.9	28.0	62.8	23.4	39.7	51.1	31.9	5.0	6.0	1.1	
未婚	161	77.6	47.2	17.4	29.2	70.8	25.5	41.6	55.9	31.7	2.5	3.7	0.6	
男性 既婚	267	74.2	43.8	16.1	24.0	55.8	18.7	29.2	41.9	25.8	3.0	3.7	1.1	
未婚	119	63.9	45.4	16.0	25.2	51.3	16.8	37.8	45.4	15.1	4.2	10.1	5.9	

豊橋市の過去の調査との比較でみると、令和元年調査に比べ、令和3年調査で「学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う」「地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う」「暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う」の割合が増加している。

【経年比較】

単位：％

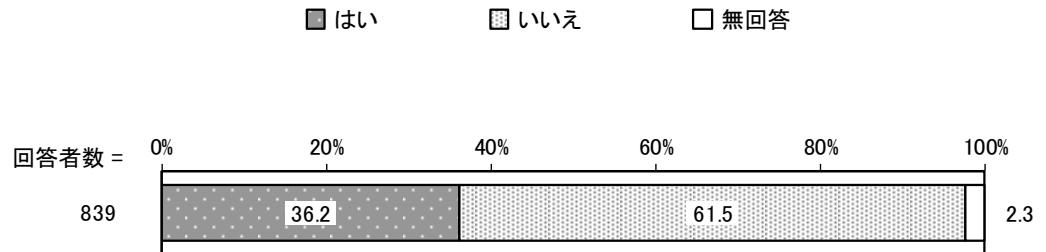
	暴力をふるったことのある者に対し、小さいころから家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える	学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う	地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う	暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	加害者への罰則を強化する	暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を規制する	その他	わからない	無回答
豊橋市（R03.8）	73.5	44.9	15.7	26.3	60.2	21.1	36.2	47.9	27.2	3.7	5.5	2.0
女性	76.5	46.0	15.7	28.3	65.7	24.0	40.1	52.7	31.6	4.0	5.2	1.1
男性	70.5	43.8	15.9	24.1	53.8	17.9	31.8	42.6	22.3	3.3	5.9	2.8
豊橋市（R01.8）	73.1	38.6	10.4	26.9	56.3	18.6	28.3	43.7	26.9	3.4	3.7	2.7
女性	74.4	39.0	7.8	29.9	61.4	18.8	30.5	41.6	27.6	3.1	3.1	2.5
男性	70.9	37.7	13.9	22.4	50.7	19.1	24.9	46.0	24.9	3.6	4.4	3.3
豊橋市（H28.8）	76.7	36.8	11.1	25.5	53.9	19.1	30.9	40.8	26.1	3.7	3.5	2.5
女性	78.6	37.7	9.9	24.1	54.8	17.3	33.7	37.7	30.5	3.2	3.2	2.7
男性	74.6	36.1	12.7	28.0	52.9	21.1	27.5	45.5	20.6	4.5	3.8	1.9
豊橋市（H26.9）	76.2	32.7	9.0	20.6	51.5	16.1	28.0	36.6	28.1	3.1	4.0	3.8
女性	78.9	35.5	7.3	21.1	55.6	16.3	30.7	35.8	32.7	2.5	3.6	3.6
男性	72.8	28.9	11.1	20.2	46.8	16.3	25.0	37.9	22.7	3.9	4.5	3.9

## (5) 豊橋市 DV 相談の認知度

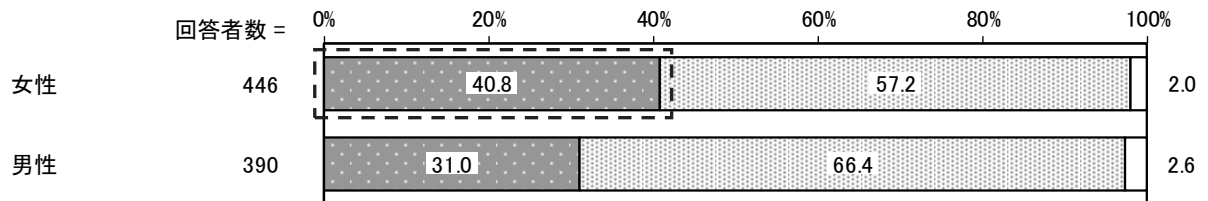
問 19. 豊橋市に DV 相談（電話相談・面接相談）があることを知っていましたか。

「はい」の割合が 36.2%、「いいえ」の割合が 61.5%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高い。

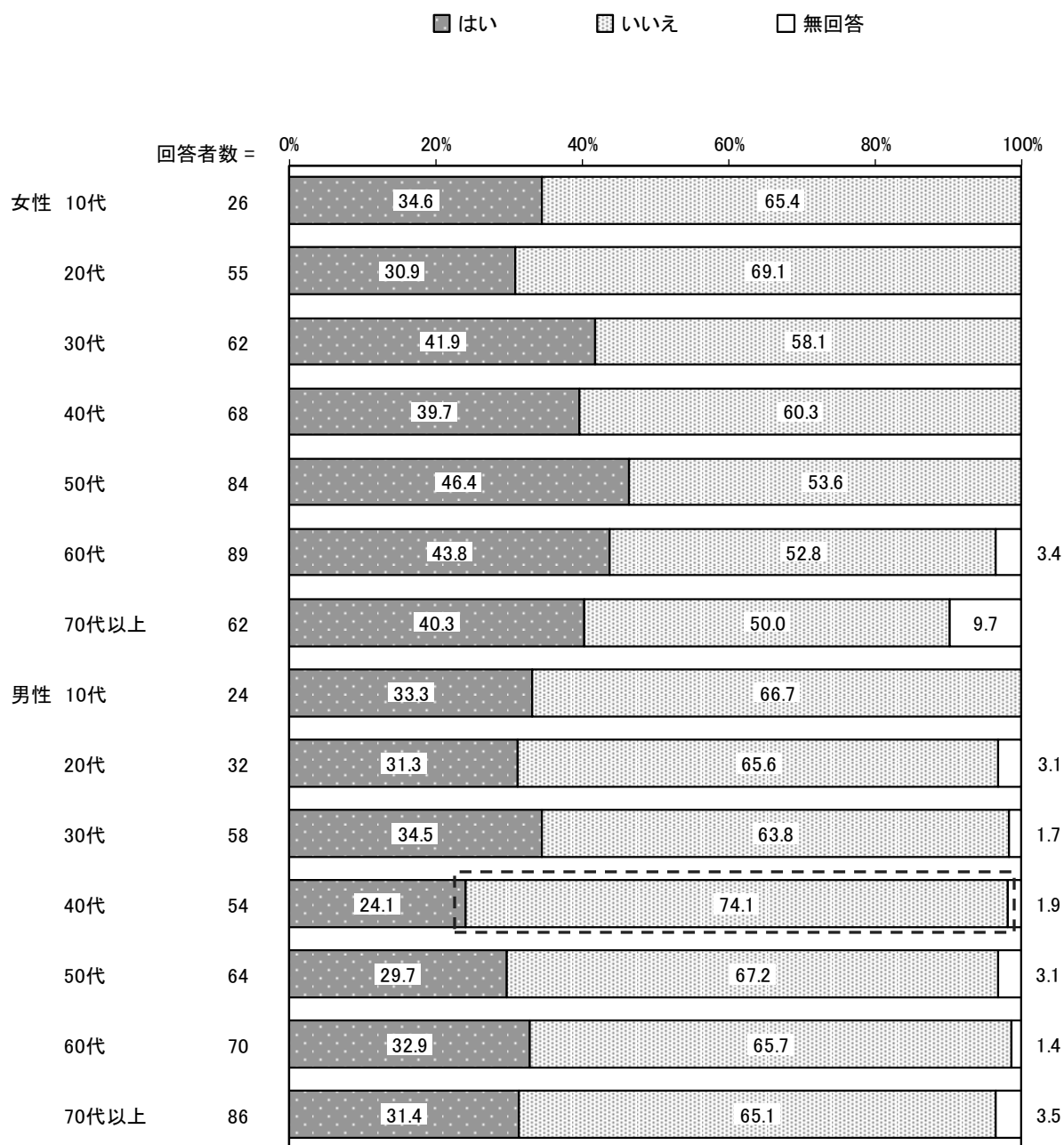


### 【性別】



性・年代別で見ると、他に比べ、男性40代で「いいえ」の割合が高い。

【性・年代別】





豊橋市の過去の調査との比較でみると、令和元年調査に比べ、令和3年調査で「はい」の割合が増加している。

【経年比較】

単位：％

	はい	いいえ	無回答
豊橋市（R03.8）	36.2	61.5	2.3
女性	40.8	57.2	2.0
男性	31.0	66.4	2.6
豊橋市（R01.8）	30.2	67.6	2.2
女性	34.2	64.1	1.6
男性	24.4	72.6	3.0
豊橋市（H28.8）	32.9	61.9	5.3
女性	37.8	57.5	4.7
男性	26.3	68.2	5.5
豊橋市（H26.9）	28.8	65.1	6.0
女性	33.7	60.2	6.1
男性	23.3	70.9	5.8

## 9 豊橋市男女共同参画センター「パルモ」について

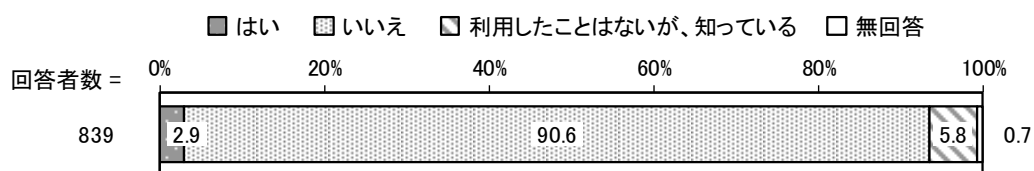
### (1) 男女共同参画センター「パルモ」の利用の有無

問20. 豊橋市男女共同参画センター「パルモ」を利用したことがありますか。

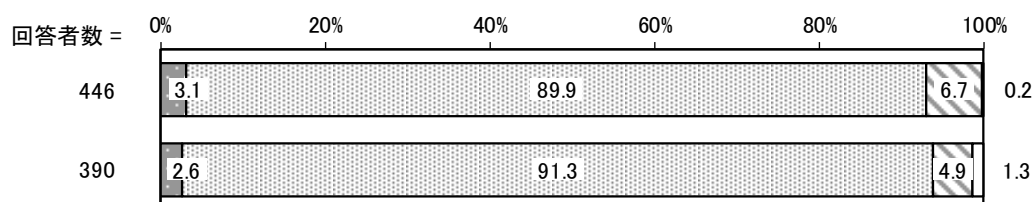
「いいえ」の割合が90.6%と最も高い。

性別でみると、大きな差異はみられない。

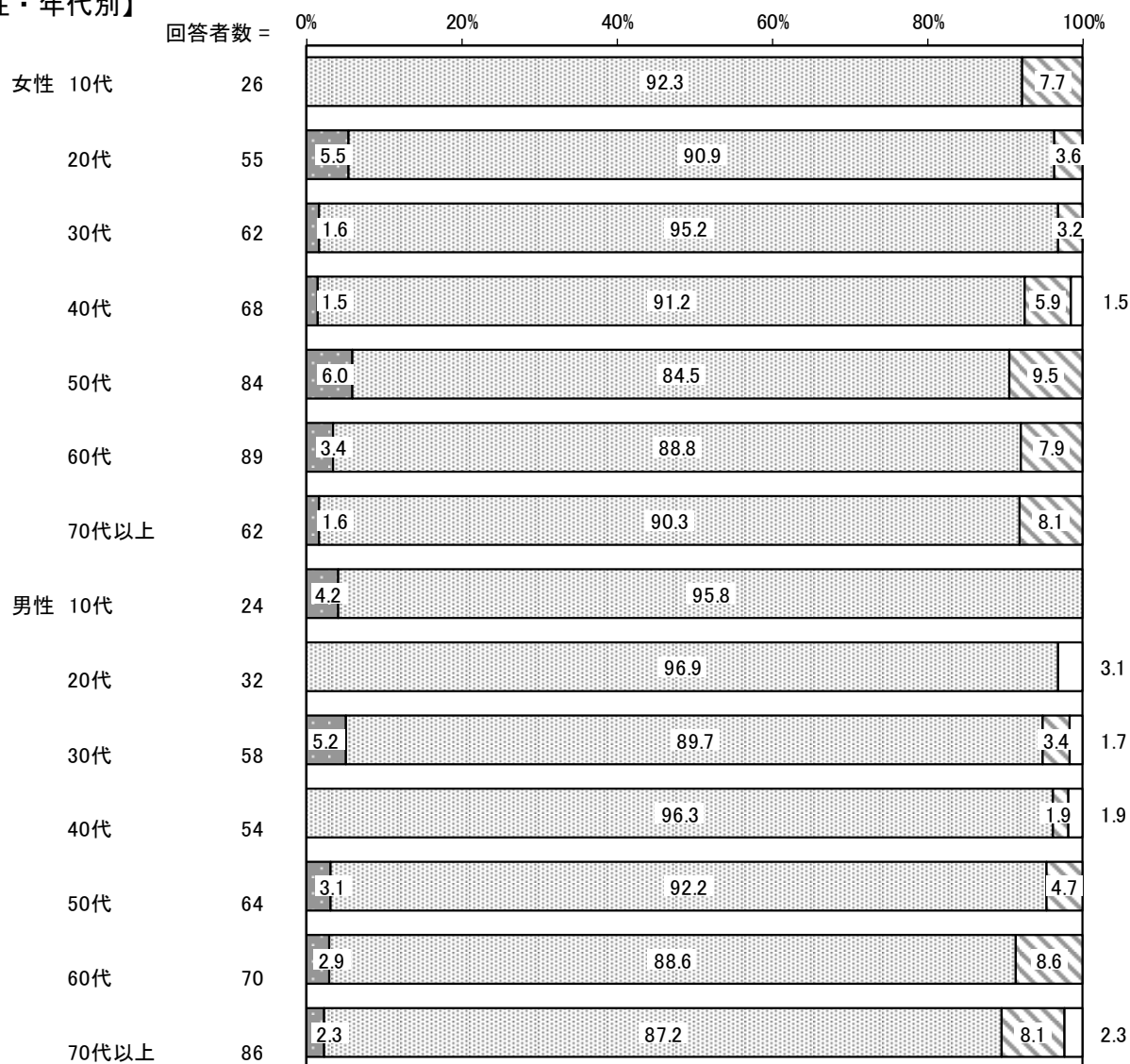
性・年代別でみると、大きな差異はみられない。



#### 【性別】



#### 【性・年代別】



過去の調査と項目が異なるため、参考とする。

【経年比較】

単位：％

	はい	いいえ	無回答
豊橋市（R01.8）	2.5	93.0	4.5
女性	3.7	92.6	3.7
男性	1.1	93.1	5.8
豊橋市（H28.8）	3.5	92.5	3.9
女性	5.6	89.9	4.5
男性	1.0	96.2	2.9
豊橋市（H26.9）	6.2	87.1	6.7
女性	7.5	85.9	6.6
男性	4.9	88.7	6.4
豊橋市（H23.6）	4.2	93.2	2.6
女性	5.5	92.5	2.0
男性	2.2	95.2	2.6
豊橋市（H20.5）	9.4	83.4	7.1
女性	13.1	80.2	6.7
男性	5.0	87.3	7.7
豊橋市（H17.5）	8.9	85.4	5.7
女性	11.2	85.5	3.3
男性	5.4	85.5	9.1
豊橋市（H13.8）	11.8	81.4	6.8
女性	16.2	79.7	4.1
男性	6.2	84.5	9.3

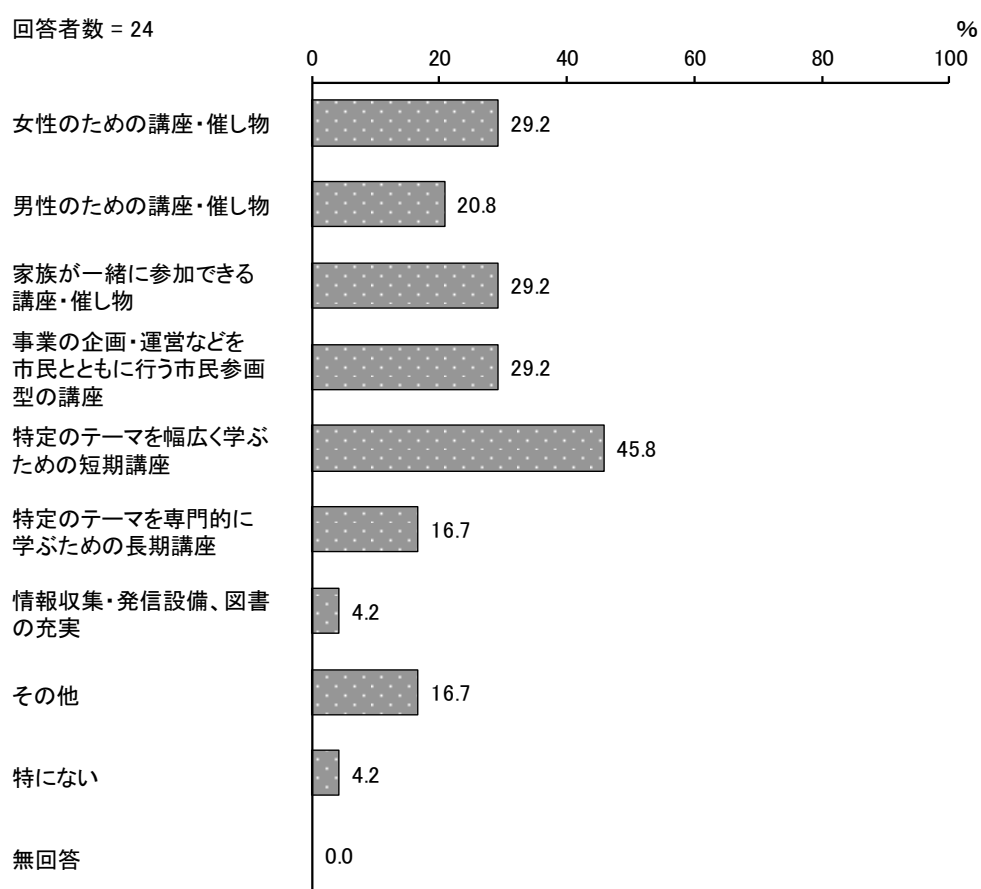
## (2) 充実してほしい内容

《問20で「はい」と答えた方のみお聞きします》

問20-1. 今後、男女共同参画センターの事業として、どんなことを充実してほしいと思いますか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座」の割合が45.8%と最も高く、次いで「女性のための講座・催し物」、「家族と一緒に参加できる講座・催し物」、「事業の企画・運営などを市民とともに進める市民参画型の講座」の割合が29.2%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で「女性のための講座・催し物」「特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座」「特定のテーマを専門的に学ぶための長期講座」の割合が高い。



### 【性別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	女性のための講座・催し物	男性のための講座・催し物	家族と一緒に参加できる講座・催し物	事業の企画・運営などを市民とともに進める市民参画型の講座	特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座	特定のテーマを専門的に学ぶための長期講座	情報収集・発信設備、図書の充実	その他	特になし	無回答
女性	14	42.9	21.4	28.6	35.7	57.1	21.4	7.1	14.3	—	—
男性	10	10.0	20.0	30.0	20.0	30.0	10.0	—	20.0	10.0	—

豊橋市の過去の調査との比較でみると、令和元年調査と比べ、令和3年調査では「特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座（1～3回）」の割合が増加している。

【経年比較】

単位：%

	女性のための講座	男性のための講座	家族と一緒に参加できる催し物・講座	事業の企画・運営などを市民とともに行う市民参画型の講座	特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座（1～3回）	特定のテーマを専門的に学ぶための長期講座	情報の収集・発信、図書の内容（※1）	開館日時や催し物の曜日・時間をかえてほしい	地域に出向いて講座	その他	特にない	無回答
豊橋市（R03.8）	29.2	20.8	29.2	29.2	45.8	16.7	4.2	—	—	16.7	4.2	—
女性	42.9	21.4	28.6	35.7	57.1	21.4	7.1	—	—	14.3	—	—
男性	10.0	20.0	30.0	20.0	30.0	10.0	—	—	—	20.0	10.0	—
豊橋市（R01.8）	31.8	22.7	31.8	31.8	22.7	18.2	18.2	—	—	0.0	4.5	0.0
女性	33.3	11.1	33.3	33.3	27.8	22.2	22.2	—	—	0.0	5.6	0.0
男性	25.0	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
豊橋市（H28.8）	31.4	17.1	45.7	14.3	48.6	20.0	31.4	—	—	5.7	11.4	2.9
女性	35.5	16.1	51.6	16.1	51.6	22.6	35.5	—	—	6.5	6.5	3.2
男性	—	25.0	—	—	25.0	—	—	—	—	—	50.0	—
豊橋市（H26.9）	20.0	11.4	41.4	14.3	31.4	12.9	15.7	—	—	7.1	18.6	1.4
女性	24.4	6.7	35.6	8.9	42.2	17.8	8.9	—	—	6.7	17.8	2.2
男性	12.0	20.0	52.0	24.0	12.0	4.0	28.0	—	—	8.0	20.0	—
豊橋市（H23.6）	20.0	13.3	37.8	20.0	51.1	28.9	15.6	—	—	6.7	15.6	2.2
女性	21.2	9.1	39.4	21.2	57.6	33.3	18.2	—	—	6.1	9.1	3.0
男性	10.0	30.0	40.0	20.0	40.0	20.0	10.0	—	—	10.0	30.0	0.0
豊橋市（H20.5）	—	15.3	37.8	10.8	34.2	15.3	23.4	11.7	14.4	10.8	15.3	4.5
女性	—	14.3	39.3	7.1	38.1	16.7	21.4	13.1	11.9	8.3	16.7	4.8
男性	—	20.0	32.0	24.0	24.0	12.0	32.0	8.0	24.0	16.0	8.0	4.0
豊橋市（H17.5）	—	17.0	25.5	12.8	28.7	24.5	28.7	12.8	16.0	4.3	14.9	5.3
女性	—	13.0	24.6	13.0	36.2	26.1	33.3	17.4	18.8	5.8	11.6	1.4
男性	—	30.4	30.4	13.0	8.7	21.7	17.4	0.0	8.7	0.0	21.7	13.0
豊橋市（H13.8）	—	8.3	16.9	6.7	14.4	6.4	20.2	5.2	9.0	4.1	16.9	35.9
女性	—	7.1	15.8	6.7	17.9	8.3	23.5	7.7	12.0	3.2	15.4	32.5
男性	—	10.1	19.1	6.2	9.8	4.1	15.5	2.3	5.2	5.7	18.6	39.8

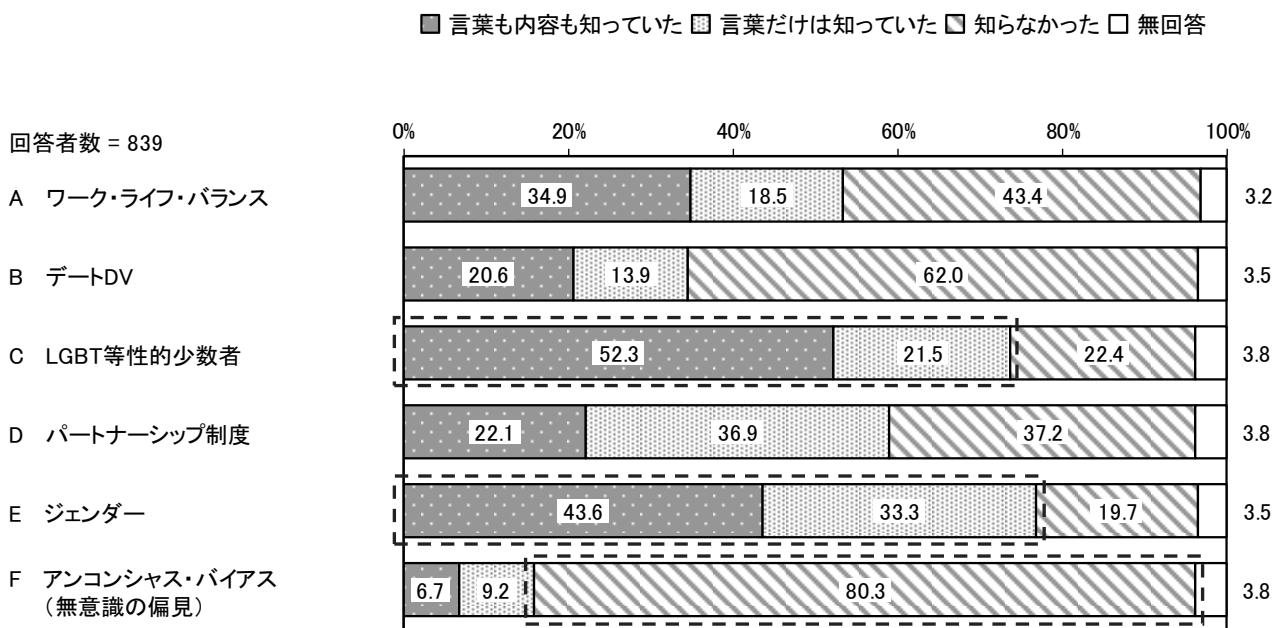
※1：平成20年以前の選択肢は「情報収集・発信の充実」

## 10 男女共同参画社会について

### (1) 用語の認知度

問21. 次の用語について知っていましたか。A～Fのそれぞれの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

『C LGBT等性的少数者』『E ジェンダー』で「言葉も内容も知っていた」と「言葉だけは知っていた」をあわせた“知っていた(※)”の割合が高く、7割を超えている。一方、『F アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)』で「知らなかった」の割合が高く、約8割となっている。

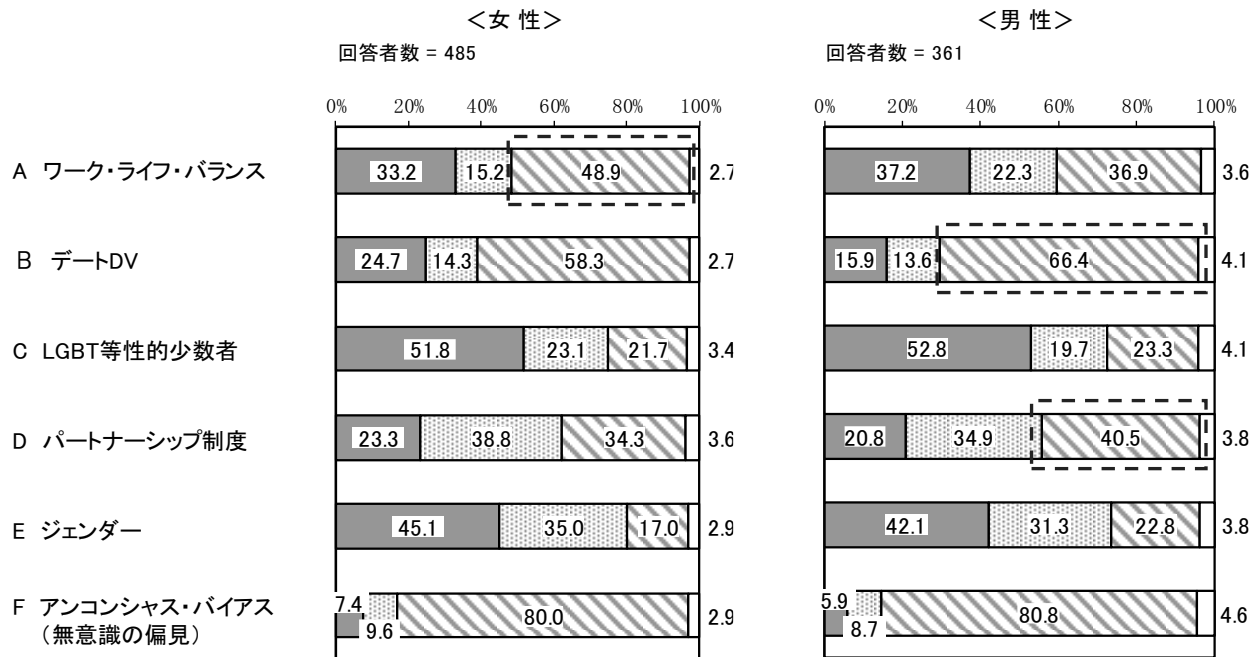


※「言葉も内容も知っていた」と「言葉だけは知っていた」の計

性別でみると、男性に比べ、女性で『A ワーク・ライフ・バランス』を「知らなかった」の割合が高い。また、女性に比べ、男性で『B デートDV』『D パートナーシップ制度』を「知らなかった」の割合が高い。

【性別】

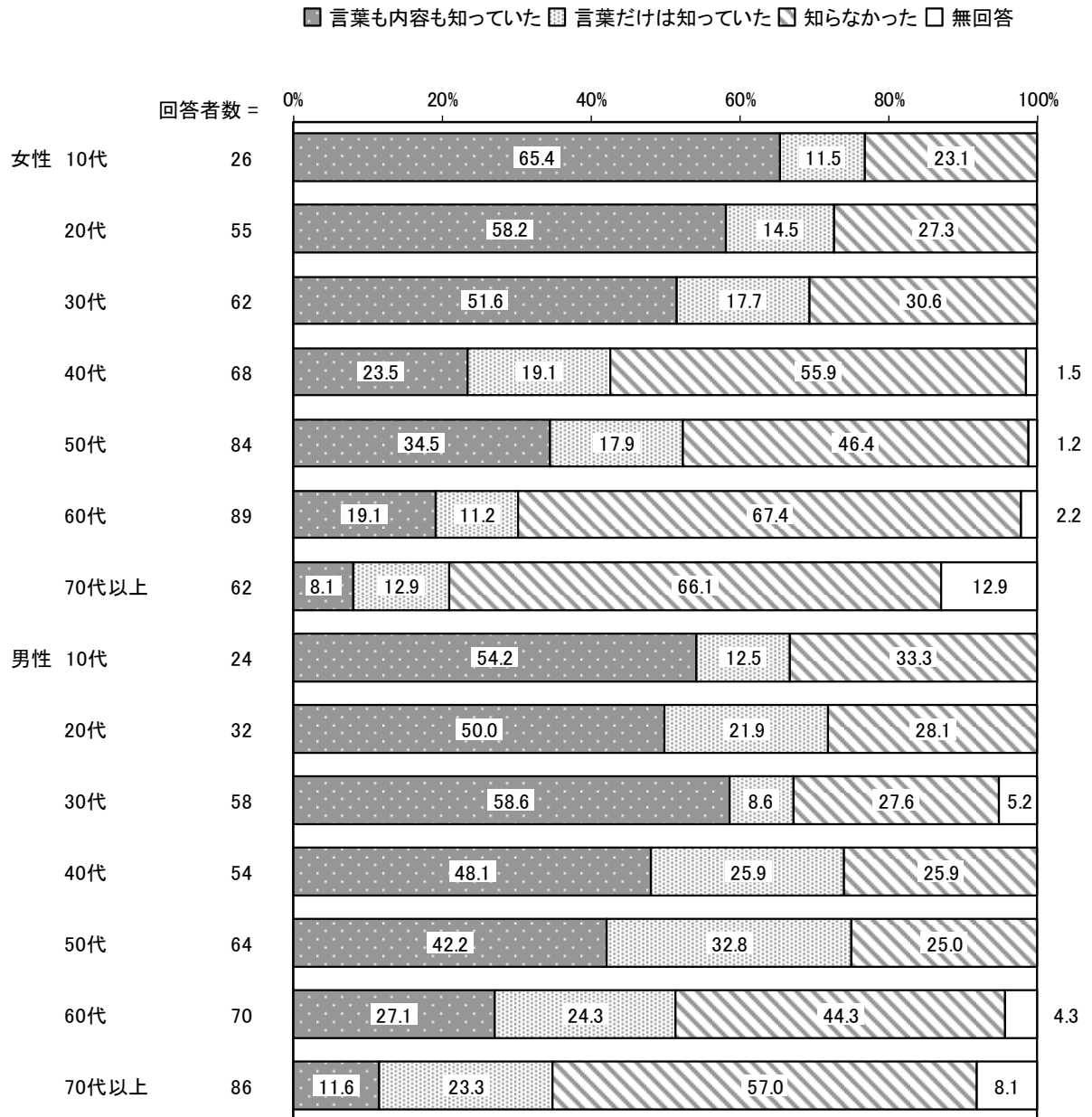
■ 言葉も内容も知っていた □ 言葉だけは知っていた ▨ 知らなかった □ 無回答



## A ワーク・ライフ・バランス

性・年代別で見ると、男女ともに、年齢が上がるにつれ、「知らなかった」の割合が、高くなる傾向にある。

### 【性・年代別】

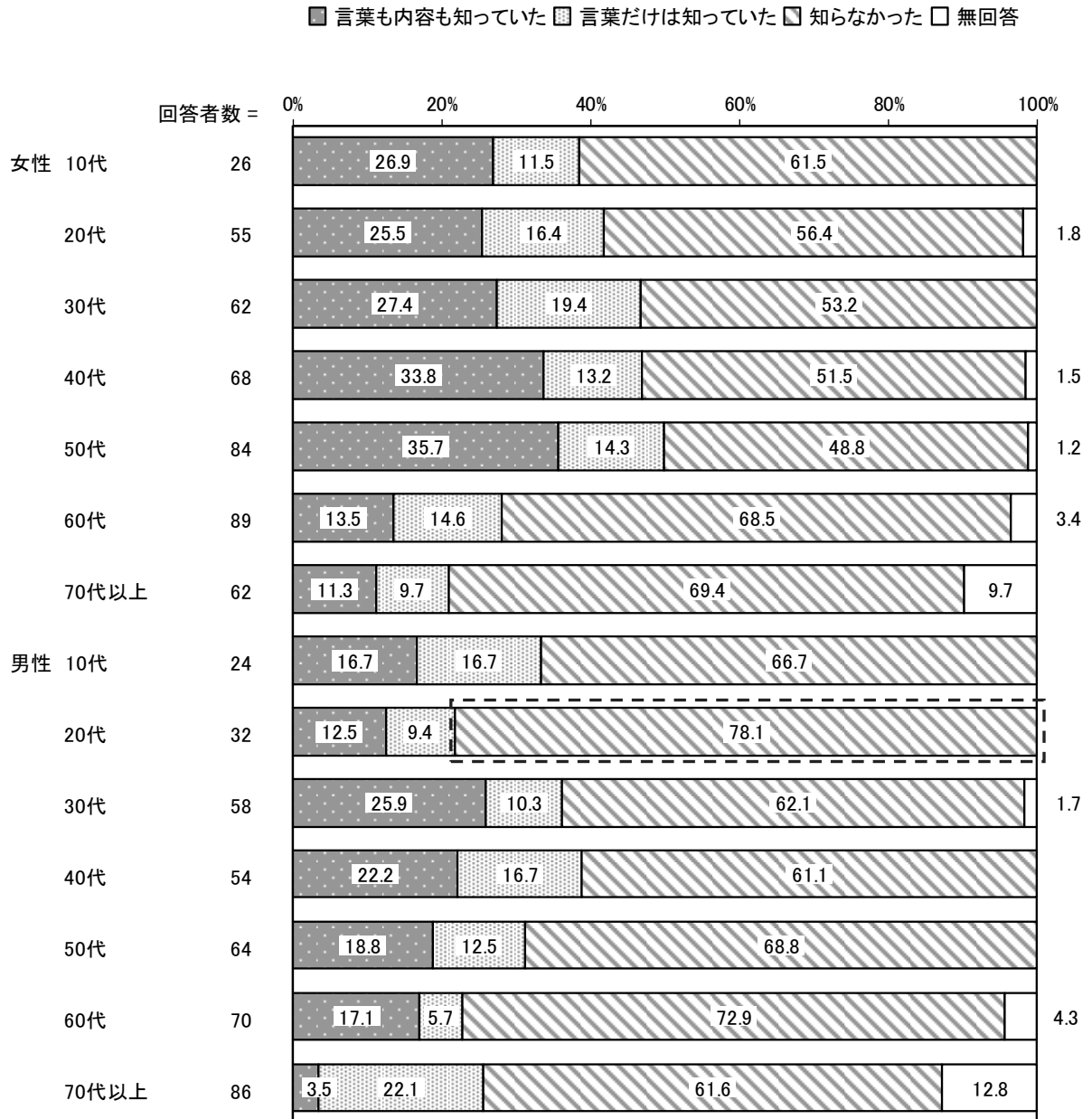




## B デートDV

性・年代別で見ると、他に比べ、男性20代で「知らなかった」の割合が高い。

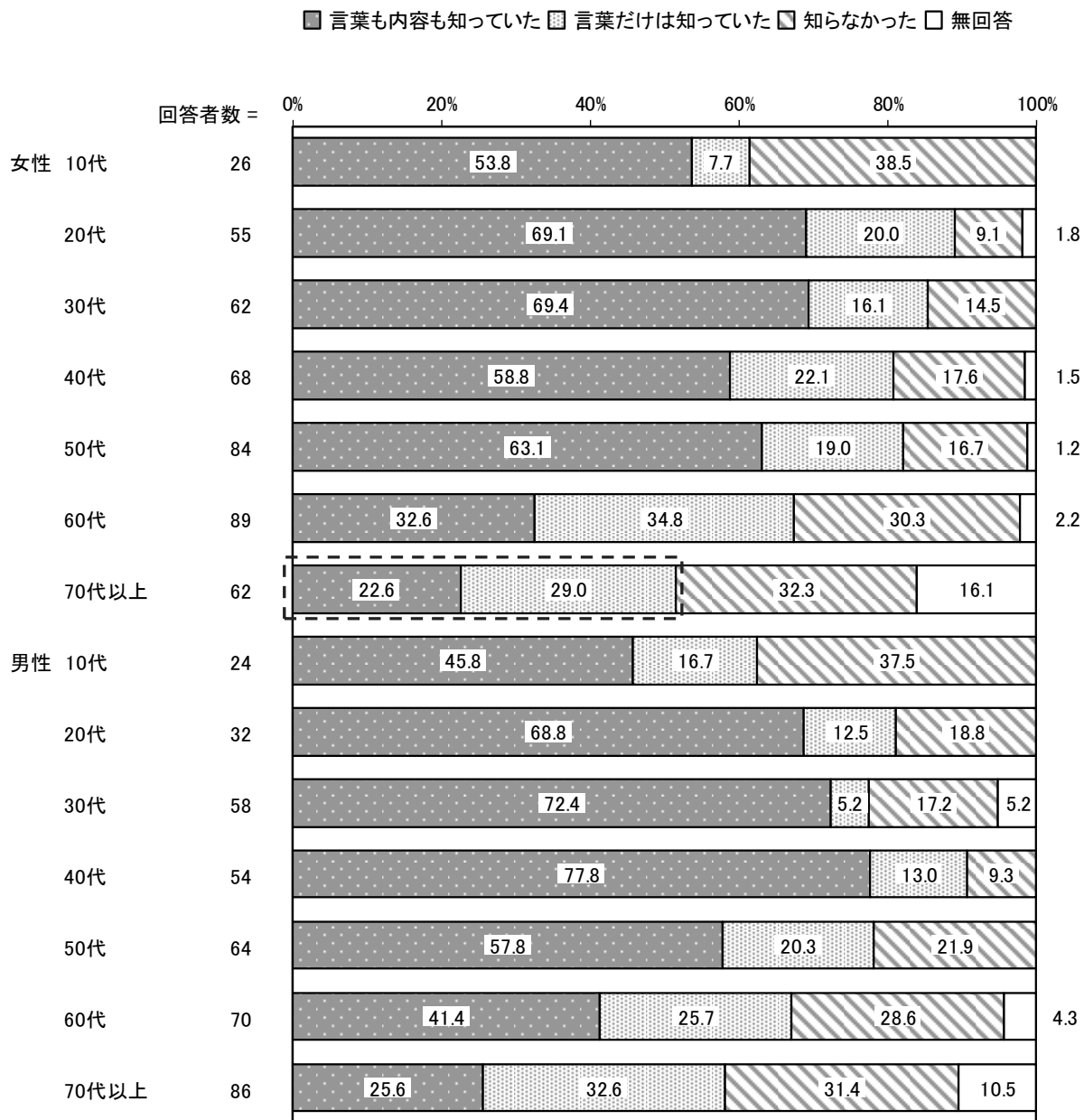
### 【性・年代別】



### C LGBT等性的少数者

性・年代別で見ると、他に比べ、女性70代以上で“知っていた”の割合が低い。

#### 【性・年代別】

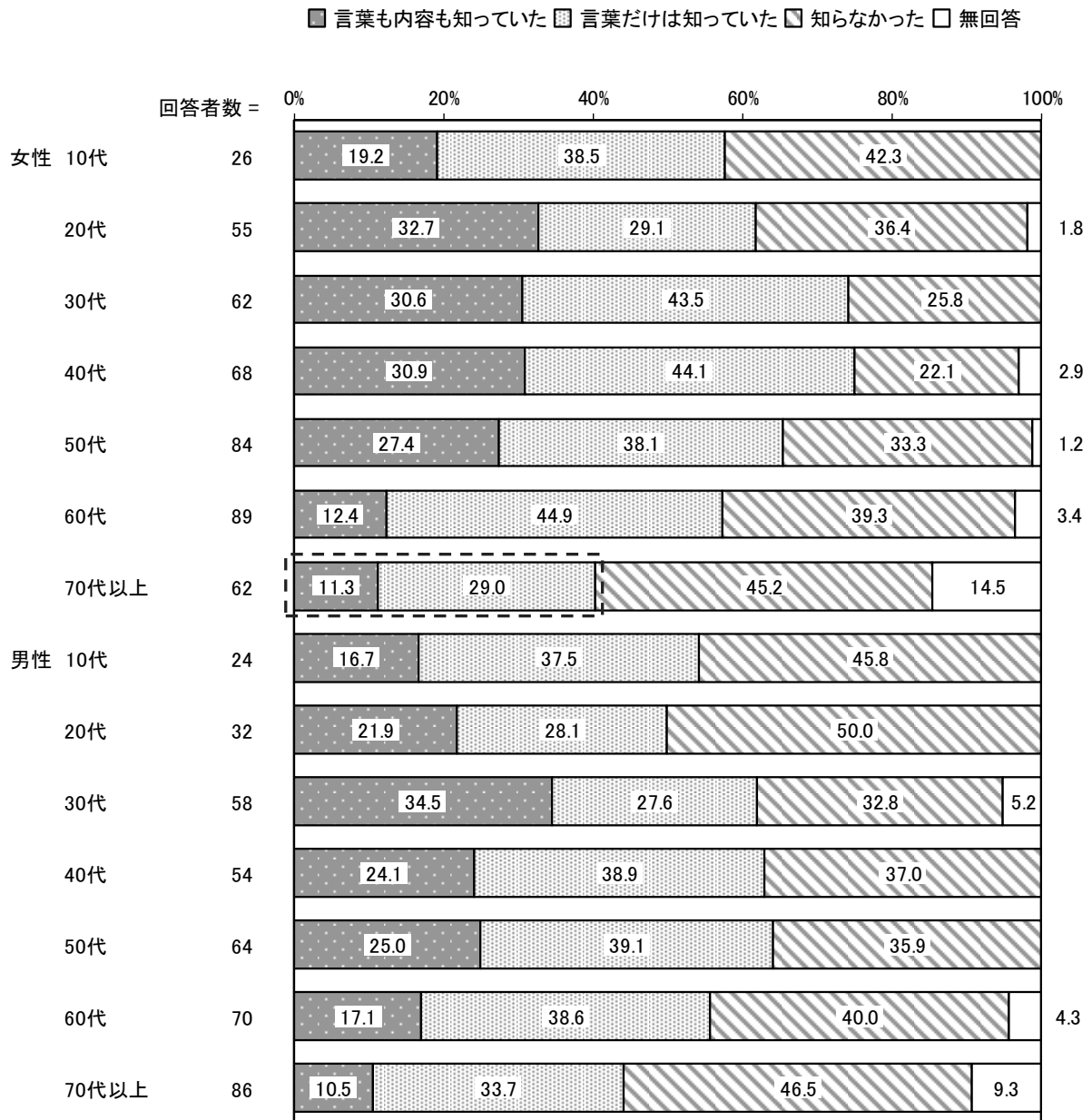


※「言葉も内容も知っていた」と「言葉だけは知っていた」の計

## D パートナーシップ制度

性・年代別で見ると、他に比べ、女性 70 代以上で“知っていた”の割合が低い。

### 【性・年代別】

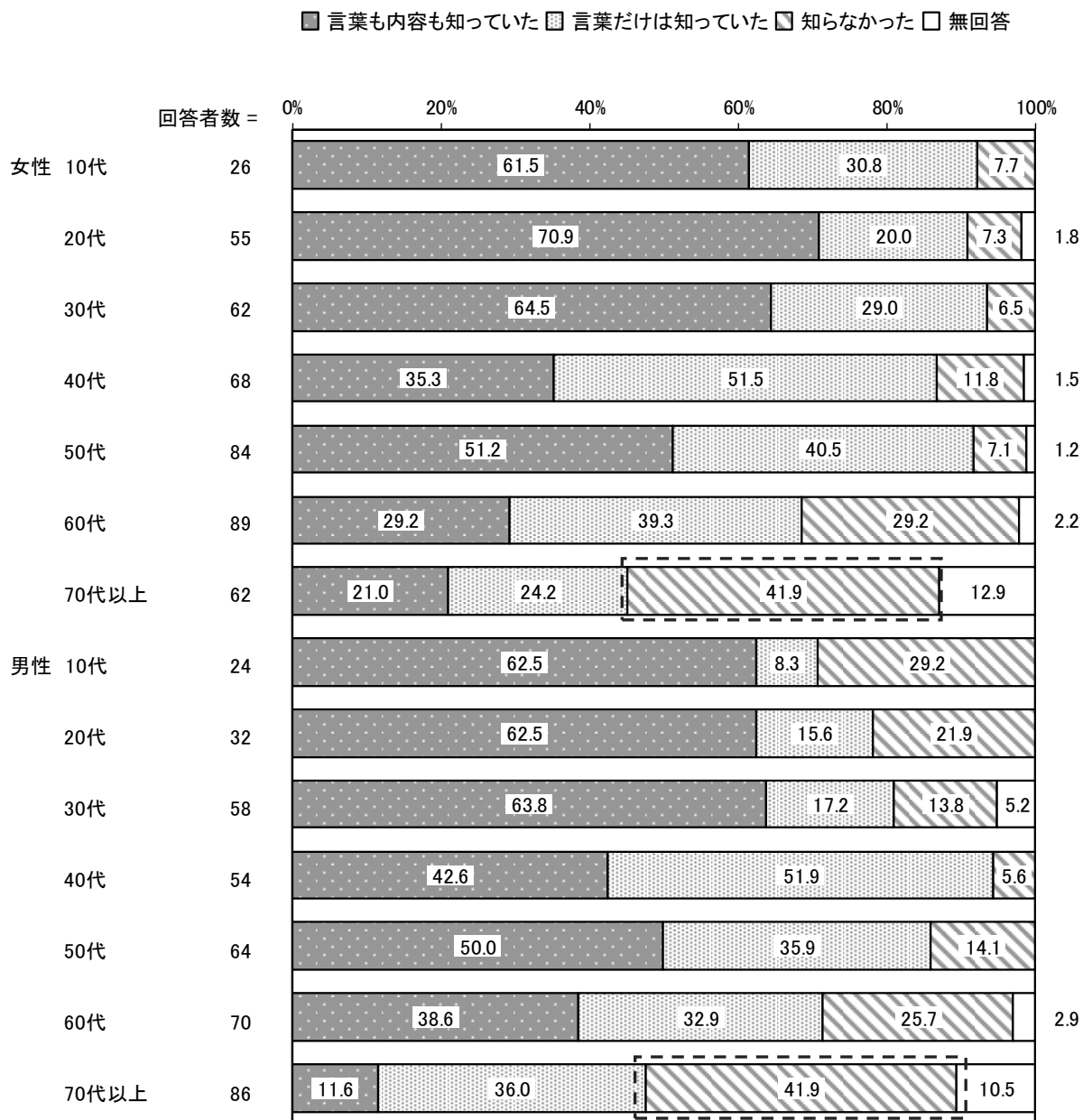


※「言葉も内容も知っていた」と「言葉だけは知っていた」の計

## E ジェンダー

性・年代別で見ると、他に比べ、男女ともに70代以上で「知らなかった」の割合が高い。

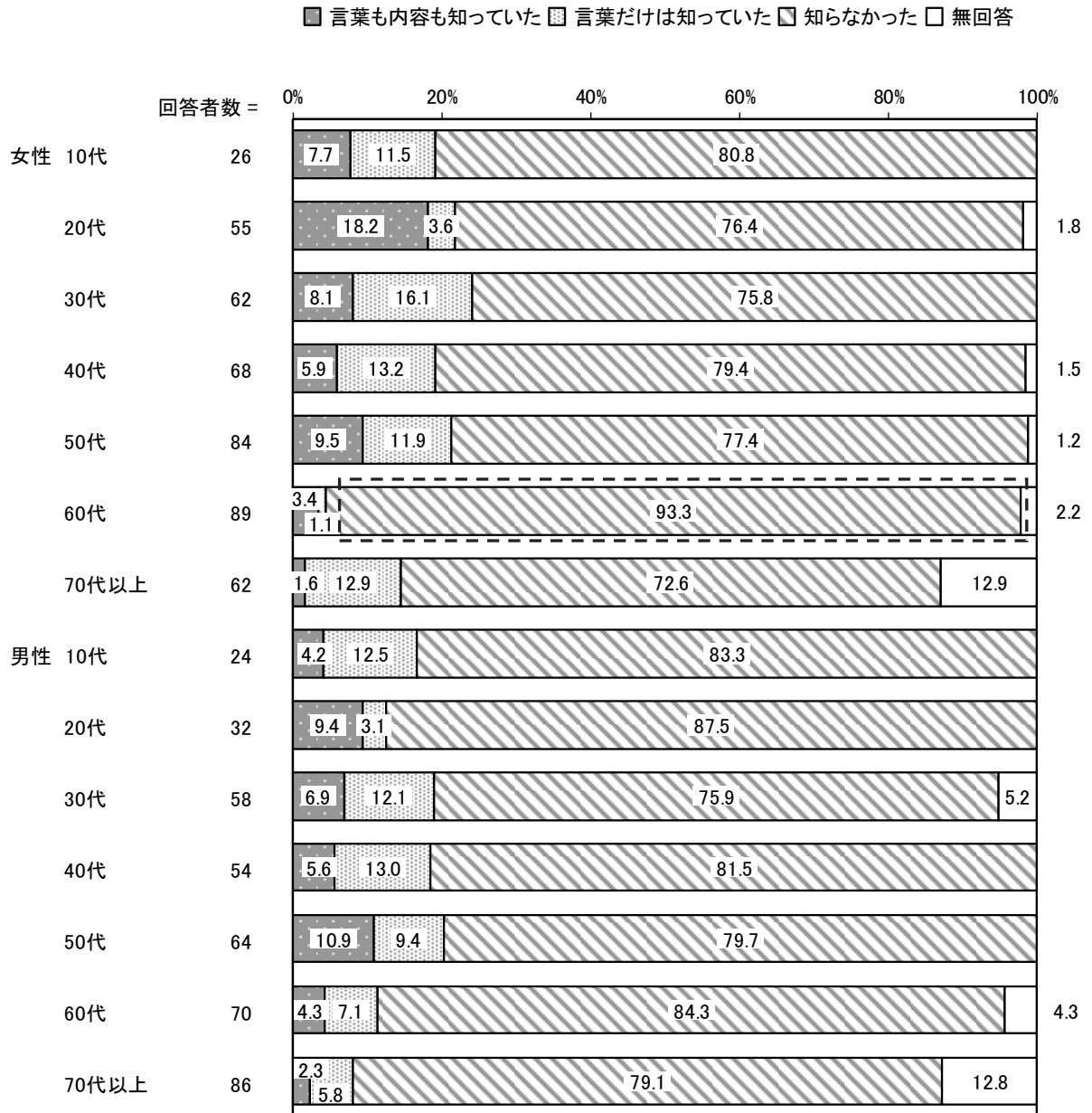
### 【性・年代別】



## F アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）

性・年代別で見ると、他に比べ、女性 60代で「知らなかった」の割合が高い。

### 【性・年代別】



豊橋市の過去の調査との比較でみると、令和元年と比較し、“知っている（※）”の割合が『A ワーク・ライフ・バランス』、『B デートDV』、『C LGBT等性的少数者』で高くなっている。

【経年比較】

A ワーク・ライフ・バランス

単位：％

	言葉も内容も 知っていた	言葉だけは 知っていた	知らなかった	無回答
豊橋市（R03.8）	34.9	18.5	43.4	3.2
女性	33.2	15.2	48.9	2.7
男性	37.2	22.3	36.9	3.6
豊橋市（R01.8）	21.3	22.7	48.2	7.9
女性	20.4	23.1	49.7	6.8
男性	22.4	23.0	44.9	9.7
豊橋市（H28.8）	15.2	27.6	47.8	9.4
女性	15.3	26.3	47.6	10.8
男性	15.3	29.4	48.8	6.5
豊橋市（H26.9）	10.9	24.1	57.9	7.1
女性	11.1	24.7	56.2	8.0
男性	10.5	23.3	60.2	6.0
豊橋市（H23.6）	7.2	28.9	58.8	5.1
女性	6.3	28.4	60.9	4.5
男性	8.4	29.4	57.2	5.0

※「言葉も内容も知っていた」と「言葉だけは知っていた」の計

## B デートDV

単位：％

	言葉も内容も 知っていた	言葉だけは 知っていた	知らなかった	無回答
豊橋市（R03.8）	20.6	13.9	62.0	3.5
女性	24.7	14.3	58.3	2.7
男性	15.9	13.6	66.4	4.1
豊橋市（R01.8）	14.6	18.1	60.1	7.2
女性	17.5	19.2	57.3	6.0
男性	10.2	16.3	64.3	9.1
豊橋市（H28.8）	15.1	16.6	58.8	9.5
女性	20.4	16.6	52.6	10.5
男性	8.1	17.0	67.7	7.2
豊橋市（H26.9）	10.6	17.6	65.2	6.7
女性	13.6	19.9	59.2	7.3
男性	6.6	15.0	72.6	5.8

## C LGBT等性的少数者

単位：％

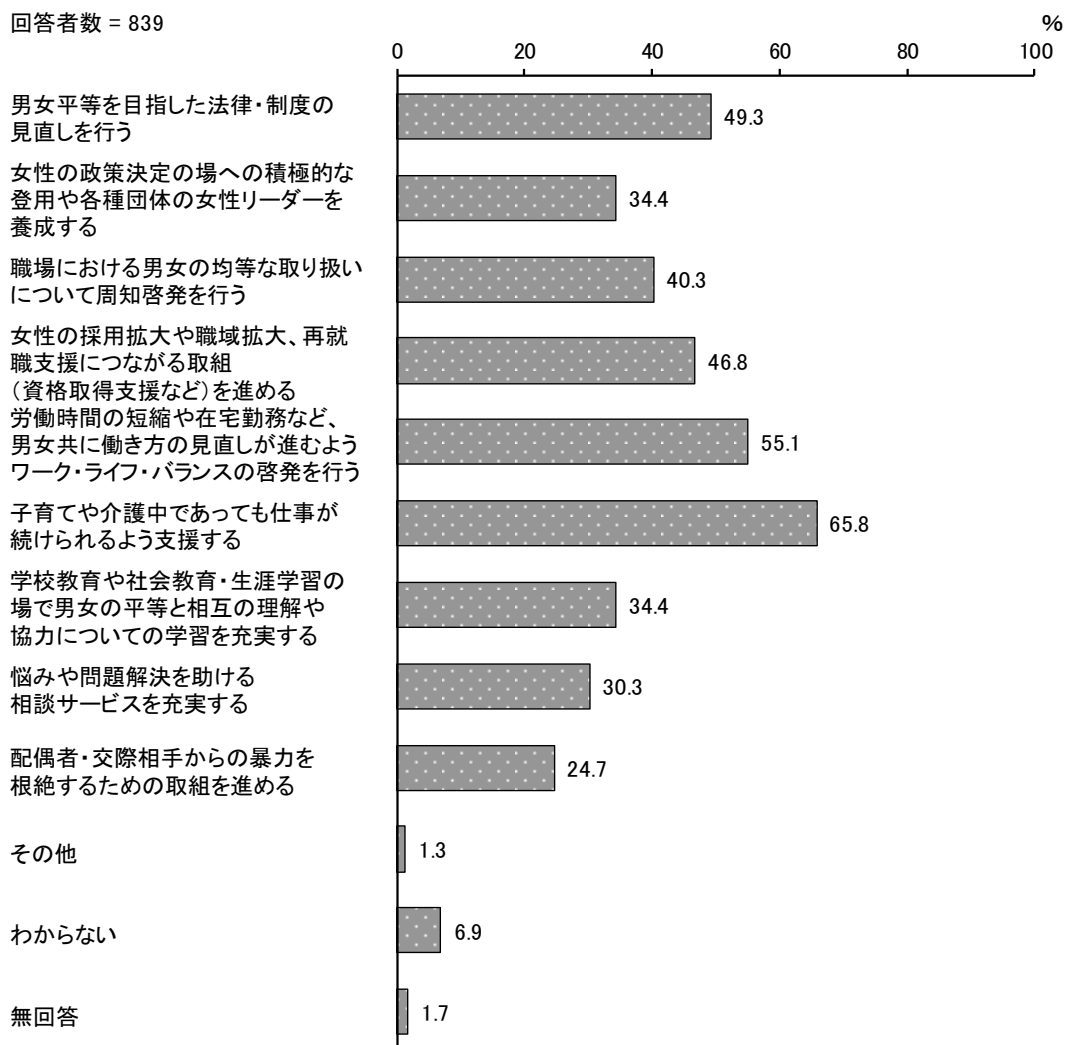
	言葉も内容も 知っていた	言葉だけは 知っていた	知らなかった	無回答
豊橋市（R03.8）	52.3	21.5	22.4	3.8
女性	51.8	23.1	21.7	3.4
男性	52.8	19.7	23.3	4.1
豊橋市（R01.8）	30.9	27.8	34.6	6.8
女性	32.2	26.0	36.1	5.8
男性	28.3	30.5	33.0	8.3
豊橋市（H28.8）	22.5	19.0	49.1	9.3
女性	25.9	17.8	46.1	10.1
男性	18.4	21.1	53.3	7.2

## (2) 男女共同参画社会実現のために行政に望むこと

問22. 男女共同参画社会の実現のために、行政（国・県・市）はどのようなことに力を入れればよいと思いますか。次の中からすべて選んで○をつけてください。

「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」の割合が65.8%と最も高く、次いで「労働時間の短縮や在宅勤務など、男女共に働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う」の割合が55.1%、「男女平等を目指した法律・制度の見直しを行う」の割合が49.3%となっている。

回答者数 = 839





性別でみると、男性に比べ、女性で「労働時間の短縮や在宅勤務など、男女共に働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う」「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」「配偶者・交際相手からの暴力を根絶するための取組を進める」の割合が高い。

【性別】

単位：％

区分	回答者数(件)	男女平等を目指した法律・制度の見直しを行う	女性の政策決定の場への積極的な登用や各種団体の女性リーダーを養成する	職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う	女性の採用拡大や職域拡大、再就職支援につながる取組(資格取得支援など)を進める	労働時間の短縮や在宅勤務など、男女共に働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う	子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する	配偶者・交際相手からの暴力を根絶するための取組を進める	その他	わからない	無回答
女性	446	49.8	35.0	41.3	49.8	60.3	72.0	35.0	32.5	28.0	0.7	5.4	1.6
男性	390	48.7	33.8	39.2	43.6	49.2	58.7	33.8	27.2	20.5	2.1	8.7	1.8

性・年代別でみると、他に比べ、女性 10 代で「学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」の割合が高い。

【性・年代別】

単位：%

区分	回答者数(件)	男女平等を目指した法律・制度の見直しを行う	女性の政策決定の場への積極的な登用や各種団体の女性リーダーを養成する	職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う	女性の採用拡大や職域拡大、再就職支援につながる取組(資格取得支援など)を進める	労働時間の短縮や在宅勤務など、男女共に働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う	子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する	配偶者・交際相手からの暴力を根絶するための取組を進める	その他	わからない	無回答
女性 10代	26	57.7	34.6	34.6	38.5	65.4	76.9	57.7	46.2	34.6	—	3.8	—
20代	55	47.3	36.4	40.0	60.0	74.5	74.5	30.9	34.5	30.9	3.6	3.6	1.8
30代	62	53.2	45.2	46.8	59.7	72.6	82.3	50.0	35.5	38.7	—	1.6	1.6
40代	68	48.5	33.8	38.2	61.8	70.6	80.9	29.4	23.5	25.0	—	1.5	—
50代	84	56.0	35.7	42.9	42.9	63.1	69.0	31.0	29.8	31.0	—	6.0	—
60代	89	39.3	32.6	40.4	46.1	48.3	65.2	28.1	25.8	21.3	1.1	5.6	4.5
70代以上	62	53.2	27.4	41.9	37.1	35.5	61.3	35.5	45.2	21.0	—	14.5	1.6
男性 10代	24	45.8	25.0	29.2	29.2	41.7	58.3	25.0	29.2	25.0	—	29.2	—
20代	32	40.6	15.6	37.5	43.8	56.3	43.8	34.4	25.0	21.9	3.1	6.3	3.1
30代	58	51.7	32.8	39.7	37.9	63.8	58.6	34.5	27.6	24.1	3.4	8.6	—
40代	54	42.6	33.3	33.3	46.3	50.0	59.3	27.8	24.1	22.2	3.7	7.4	—
50代	64	57.8	34.4	37.5	43.8	48.4	67.2	39.1	25.0	17.2	3.1	6.3	4.7
60代	70	45.7	34.3	41.4	41.4	44.3	62.9	42.9	24.3	14.3	—	5.7	1.4
70代以上	86	51.2	44.2	46.5	52.3	44.2	55.8	27.9	33.7	23.3	1.2	9.3	1.2

過去の調査と項目が異なるため、参考とする。

【経年比較】

単位：％

	男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う	女性を政策決定の場に積極的に登用する	各種団体の女性のリーダーを養成する	職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う	女性の採用拡大や職域拡大を進める	女性の再就職支援につながる取組(資格取得支援など)を進める	労働時間の短縮や在宅勤務など、働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う	子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	学校の教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	女性の生き方に関する情報提供や交流・教育の場を充実する	男性の生き方に関する情報提供や交流・教育の場を充実する	悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する	各国の女性との交流や情報提供などの国際交流を推進する	広報誌やパンフレットなどによる男女の平等と相互の理解や協力についてPRする	家庭における暴力を根絶するための取組を進める	その他	特になし	無回答
豊橋市 (R01.8)	30.3	17.0	8.2	20.7	16.0	17.5	39.2	48.2	18.1	7.0	2.4	13.4	1.8	5.4	5.3	2.5	3.8	7.7
女性	29.7	15.3	8.0	19.8	15.9	19.2	40.4	52.2	18.1	6.8	2.1	14.6	1.6	5.8	5.4	1.9	3.5	7.4
男性	30.5	18.8	8.9	22.4	15.5	15.2	37.4	43.5	18.0	7.5	3.0	12.2	2.2	5.3	5.5	2.5	4.2	8.3
豊橋市 (H28.8)	29.5	17.8	9.2	22.2	22.0	—	55.7	44.1	23.6	8.7	—	15.2	2.6	5.6	—	2.5	3.5	5.9
女性	26.5	16.8	8.5	20.9	24.1	—	56.0	49.2	23.2	9.7	—	15.1	2.2	5.4	—	1.8	2.3	7.0
男性	34.2	19.4	9.6	24.2	19.6	—	55.7	37.8	24.4	6.9	—	15.1	3.3	6.0	—	3.6	5.0	3.8